東北大学定年退職教員業績目録第 2020－37 号

荒井　啓行　教授　業績目録

令和 3 年 3 月
東北大学史料館

老年医学分野

荒井　啓行

ARAI Hiroyuki　　教授

加齢医学研究所　脳科学研究部門　老年医学分野

出身学校

東北大学・医学部　　1980年 卒業

出身大学院

東北大学・医学研究科・神経内科学　博士課程　　1986年 修了

略歴

1980年―1981年　山形県長井市総合病院
1982年―1986年　東北大学大学院医学研究科　大学院生
1986年―1987年　群馬大学医学部神経内科　医員
1987年―1988年　米国ミシガン州立大学生化学研究所　留学
1988年―1991年　米国ペンシルバニア大学神経病理学部門　留学
1991年―1993年　群馬県本島総合病院　神経内科　医長
1993年―1994年　東北大学医学部附属病院老人科　医員
1994年―1999年　東北大学医学部附属病院老人科　助手
1999年―2003年　東北大学医学部附属病院老人科　助教授
2003年―2007年　東北大学大学院医学系研究科 先進漢方治療医学講座　教授
2006年―2007年　東北大学大学院医学系研究科 老年病態学分野（兼務）　教授
2006年―2017年　東北大学病院 老年科 科長
2008年―現在　東北大学加齢医学研究所 老年医学分野　教授
2017年―現在　東北大学病院 加齢・老年病科 科長

所属学会

日本老年医学会 理事　(2009/04-), 日本認知症学会　理事 (2005/04-), 日本神経学会　代議員 (2001/04- 評議員), 日本内科学会 (1994/04-), 東北老年期認知症研究会 (2005/04-2011/10 世話人), 宮城老年医療フォーラム 世話人 (2006/04- 2010/04), 東北 Aging Science フォーラム (2011/04- 世話人), 日本老年医学会 東北支部長　(2008/04-), 日本老年期認知症研究会 (2008/04- 世話人), 宮城医療フォーラム (2010/04- 世話人), 青葉区認知症セミナー (2010/04- 世話人), 老年症候群フォーラム 世話人　(2011/04-2012/03), 東北 Aging Science フォーラム (2011/12- 世話人), 米国老年医学会 (2008/04-), 日本認知症予防学会　理事

学会活動

日本神経学会　評議員	2001年 ― 現在
日本認知症学会　理事	2005年 ― 現在
第 59 回 日本東洋医学会学術集会　会頭	2008年 ― 2008年
第 19 回 日本老年医学会東北地方会　会長	2008年 ― 2008年
第 28 回日本認知症学会学術集会　会長	2009年 ― 2009年
日本老年医学会　理事	2009年 ― 現在
World-wide ADNI Co-Organizer　会長	2009年 ― 2009年
第 26 回 日本老年医学会 東北地方会　会長	2015年 ― 2015年
第 19 回 高齢者介護・看護・医療フォーラム　会長	2015年 ― 2015年
第 6 回 日本認知症予防学会　会長	2016年 ― 2016年
第 61 回 日本老年医学会学術集会　会長	2019年 ― 2019年

専門分野

認知症, 老年病学

研究キーワード

認知症, 老年医学

報道

蛋白の一種アポ E4：脳細胞の死に関係か（その他　新聞　読売新聞）	1994年12月
アルツハイマー病客観的診断可能に（その他　新聞　読売新聞）	1995年7月
Brain protein linked to Alzheimer's（その他　新聞　Daily Yomiuri Wednesday）	1995年8月
痴呆症との闘い、脳脊髄液調べ早期診断（その他　新聞　河北新報）	1995年8月
Tau protein may be positive marker for Alzheimer ' s（その他　新聞　Clinical Laboratory News）	1995年12月
アルツハイマー病近く克服（その他　新聞　毎日新聞）	2001年2月

高ホモシステイン血症は無症候性脳梗塞の独立したリスクファクター（その他　新聞　メディカルトリビューン）	2001年7月
正しく理解し、痴呆症克服（その他　新聞　河北新報）	2002年3月
物忘れシンポジウム in 仙台（その他　新聞　河北新報）	2002年3月
アルツハイマー初期を確実に診断（その他　新聞　河北新報）	2003年6月
日本痴呆学会シンポジウム　Mild Cognitive I m pairment とアルツハイマー病の早期発見（その他　新聞　メディカルトリビューン）	2003年10月
アルツハイマーを早期診断　発症前の病変部画像化（その他　新聞　朝日新聞）	2004年3月
[日本国内] 生活大事てん：認知症の診断法　問診基に症状みる（企画協力　新聞　朝日新聞）	2006年6月
[日本国内] なるほど健康雑学 · 東北大リレー講座 10：高齢者の肺炎　脳を活性化 誤嚥を防ぐ（企画協力　新聞）	2006年8月
[日本国内] なるほど健康雑学 · 東北大リレー講座 11：実践できる認知症予防法（企画協力　新聞）	2006年8月
[日本国内] なるほど健康雑学 · 東北大リレー講座 12：東西医学の統合「合わせ技」で効果大（企画協力　新聞）	2006年9月
[日本国内] いきいき生活：脳内老人斑 撮影に成功 早期治療「あと 5〜10 年で可能か」（出演 · 執筆　新聞）	2006年9月
[日本国内] アルツハイマー病（出演 · 執筆　テレビ　NHK ニュース）	2006年9月
[日本国内] アルツハイマー病発症前に画像診断　早期治療に道（出演 · 執筆　新聞　日本経済新聞　夕刊）	2006年10月
[日本国内] アルツハイマー病　発症前察知　研究相次ぐ（出演 · 執筆　新聞　日本経済新聞）	2007年1月
[日本国内] 認知症を正しく知って一人ひとりに最適な治療を（出演 · 執筆　新聞　読売新聞）	2007年4月
[日本国内] 「軽度認知障害」発見に家族の目　脳脊髄液の検査で診断　進行遅らせる降圧剤も（出演 · 執筆　新聞　朝日新聞）	2007年5月
[日本国内] アルツハイマー国際研究（出演 · 執筆　新聞　朝日新聞）	2007年7月
[日本国内] 新診断手法を開発（その他　新聞　日本経済新聞）	2008年2月
早期発見治療法の開発進む（その他　新聞　河北新報）	2008年3月
[日本国内] 東洋医学会市民公開講座　ストレスから体を守る（その他　新聞　河北新報）	2008年6月
[日本国内] 漢方外来広がる大学病院（その他　新聞　日本経済新聞）	2008年8月
アルツハイマー病 発症前脳画像で診断（その他　新聞　河北新報）	2009年3月
[日本国内] アルツハイマー病早期発見へ（その他　新聞　朝日新聞）	2009年4月
[日本国内] 認知症の妄想　徘徊を改善（その他　新聞　読売新聞）	2009年11月
[日本国内] 漢方薬が保険から外れる？（その他　新聞　産経新聞）	2009年12月
[日本国内] 物忘れドックへ行ってみた（その他　雑誌　文藝春秋）	2010年2月
10 年ぶりの新薬登場間近（出演 · 執筆　新聞　日経メディカル）	2010年4月
[日本国内] 「東北大学の新世紀」アルツハイマー病の制圧（出演 · 執筆　テレビ　東日本放送）	2010年4月
[日本国内] シニアライフと認知症（出演 · 執筆　その他　TBS ラジオ）	2010年5月
[日本国内] 認知症難民（中）（その他　新聞　河北新報社）	2010年10月
[日本国内] 認知症長寿社会　知っておきたい？ 医療編-22　「アルツハイマー病」（その他　新聞　信濃毎日新聞）	2010年10月
「認知症難民」敬遠される合併症、受け入れ先わずか（その他　新聞　河北新報）	2010年10月
[日本国内] アルツハイマー病新薬続々（その他　新聞）	2011年6月
漢方スペシャル　漢方薬「抑肝散」の BPSD 軽減効果（その他　テレビ　NHK 夜なのにあさイチ）	2012年2月
心筋に蓄積するアミロイドの生体画像化に成功（その他　新聞　東北大学ニュース）	2012年4月
脳脊髄液バイオマーカーが認知症診断を目的にはじめて保険収載となりました（その他　新聞　東北大学ニュース）	2012年4月
元気健康フェア　In　とうほく「脳とこころの健康科学」（出演 · 執筆　新聞　河北新報）	2012年4月
認知症（その他　新聞　読売新聞）	2012年4月
早めに対処したいー認知症と物忘れー（出演 · 執筆　その他　日医ニュース）	2012年5月
元気健康フェア In とうほく「脳老化と認知症医療」（出演 · 執筆　新聞　河北新報）	2012年5月
脳とこころの健康医学（出演 · 執筆　新聞　河北新報）	2012年5月
健康の医学教室 長寿社会と認知症（その他　新聞　河北ウィークリーせんだい）	2012年10月
松本で認知症学術集会（出演 · 執筆　新聞　信濃毎日新聞）	2013年11月
認知症（出演 · 執筆　新聞　読売新聞）	2013年11月
原因究明新薬開発に挑む（出演 · 執筆　新聞　河北新報）	2014年10月

シリーズ　予防医療を考える（Vol.1 認知症）（出演・執筆　新聞　日本経済新聞）	2014年11月
医療拗ね産す　熊本の被災地で「きれいな口」で体調改善（出演・執筆　新聞　読売新聞）	2016年5月
「認知症の正しい理解」と「成年後見制度の活用法」を学ぶ（出演・執筆　新聞　リビング仙台）	2016年6月
シリーズ東北大学病院　老年科（出演・執筆　新聞　河北新報）	2016年8月
第 6 回日本認知症予防学会学術集会（出演・執筆　新聞　シルバー新聞）	2016年9月
気になる症状すっきり診断「認知症と向き合う」（出演・執筆　新聞　河北新報）	2017年7月
2016 年生まれ→ 90 歳まで生存割合（出演・執筆　新聞　日本経済新聞）	2017年7月
平均寿命（その他　新聞）	2017年7月
ハート・リングフォーラム「口から考える認知症」（出演・執筆　新聞　読売新聞）	2017年10月
グローバル化する認知症 ー予防と共生に向けてー　口から考える認知症（その他　新聞）	2017年10月
フレイル予防　徐々に浸透（出演・執筆　新聞　河北新報）	2017年12月
学会トピック　第 36 回日本認知症学会学術集会「有効な薬剤開発を目指して認知症早期段階の定義確立を進む」（出演・執筆　新聞　日経メディカル NEWS）	2017年12月
研究室探訪「老年医学」（出演・執筆　新聞　河北新報）	2017年12月
アルツハイマー型認知症への超音波治療（出演・執筆　新聞）	2018年8月
認知症の根治薬 相次ぐ開発中止（その他　新聞　朝日新聞）	2019年8月

学外の社会活動

平成７年度東北大学医学部奨学賞 受賞講演会（講演会・セミナー）	1996年1月　― 1996年1月
サンド老化および老年医学研究基金受賞講演会（講演会・セミナー）	1996年6月　― 1996年6月
塩釜医師会生涯研修会講演（講演会・セミナー）	1996年7月　― 1996年7月
アルツハイマー病の診断と考え方（講演会・セミナー）	1996年9月　― 1996年9月
第１回臨床痴呆研究会教育講演（講演会・セミナー）	1997年2月　― 1997年2月
塩釜医師会生涯研修会講演（講演会・セミナー）	1997年6月　― 1997年6月
笹川医学医療研究財団研究発表会（講演会・セミナー）	1997年7月　― 1997年7月
市民医学公開講座（公開講座）	1998年5月　― 1998年5月
第 3 回 日本老年医学会主催市民公開講演会（公開講座）	1998年9月　― 1998年9月
第 14 回 郡山 脳・心・腎勉強会（講演会・セミナー）	1999年7月　― 1999年7月
第４回 神経内科セミナー特別講演（講演会・セミナー）	1999年11月 ― 1999年11月
宮城県柴田郡医師会定期講演会（講演会・セミナー）	2000年1月　― 2000年1月
広南臨床研究会特別講演（講演会・セミナー）	2000年5月　― 2000年5月
第９回 岩手細胞生物学懇話会（講演会・セミナー）	2000年6月　― 2000年6月
脳梗塞後遺症治療の 21 世紀展望特別講演（講演会・セミナー）	2001年3月　― 2001年3月
21 世紀の老年期痴呆を考える研修会（講演会・セミナー）	2001年5月　― 2001年5月
第 23 回 ビーエフ研究所定期講演会（講演会・セミナー）	2001年6月　― 2001年6月
第１回 鹿児島 AD 研究会特別講演（講演会・セミナー）	2001年10月 ― 2001年10月
国立長寿医療研究センターセミナー（講演会・セミナー）	2001年12月 ― 2001年12月
第３回 長崎地方研究会特別講演（講演会・セミナー）	2002年2月　― 2002年2月
鳥取県西部医師会特別講演会（講演会・セミナー）	2002年3月　― 2002年3月
宮城県気仙沼保健福祉講演会（講演会・セミナー）	2002年3月　― 2002年3月
福島県相馬郡医師会特別講演会（講演会・セミナー）	2002年3月　― 2002年3月
名古屋神経内科痴呆研究会特別講演（講演会・セミナー）	2002年6月　― 2002年6月
第 21 回 ニセコカンファランス（講演会・セミナー）	2002年9月　― 2002年9月
宮城県亘理郡医師会特別講演会（講演会・セミナー）	2002年9月　― 2002年9月
東北薬科大学卒後教育セミナー講演会（講演会・セミナー）	2002年9月　― 2002年9月
第 14 回 中部老年期痴呆研究会（講演会・セミナー）	2002年10月 ― 2002年10月
福岡市南区内科医会学術講演会（講演会・セミナー）	2002年11月 ― 2002年11月
鳥取大学保健学科生体制御学特別セミナー（講演会・セミナー）	2002年11月 ― 2002年11月
第２回 高知県地方研究会（講演会・セミナー）	2003年2月　― 2003年2月
第７回 福岡臨床痴呆研究会（講演会・セミナー）	2003年3月　― 2003年3月
第 17 回 東北老年期脳障害研究会（講演会・セミナー）	2003年3月　― 2003年3月
第 207 回 久留米大学神経懇話会（講演会・セミナー）	2003年5月　― 2003年5月
名取・岩沼医師会学術講演会（講演会・セミナー）	2003年5月　― 2003年5月
第８回 香川老年痴呆研究会（講演会・セミナー）	2003年7月　― 2003年7月
第１回 老人科病診連携研究会（講演会・セミナー）	2003年7月　― 2003年7月
2003 年世界アルツハイマーデー記念シンポジウム クリニカル・カンファレンスセミナー（講演会・セミナー）	2003年7月　― 2003年7月
塩釜医師会生涯研修会（講演会・セミナー）	2003年7月　― 2003年7月

第 17 回 老年期痴呆研究会（講演会・セミナー）	2003年7月 ― 2003年7月
第 2 回 A β 研究会（講演会・セミナー）	2003年10月 ― 2003年10月
第 2 回 群馬脳機能研究会（講演会・セミナー）	2003年10月 ― 2003年10月
第 2 回 老年診療の病診連携を考える会（講演会・セミナー）	2003年11月 ― 2003年11月
鳥取大学保健学科生体制御学特別セミナー（講演会・セミナー）	2003年11月 ― 2003年11月
第 5 回 漢方の集い in 仙台（講演会・セミナー）	2004年1月 ― 2004年1月
さくらだ学校短期講座（講演会・セミナー）	2004年1月 ― 2004年1月
北九州市精神保健センター定例講演会（講演会・セミナー）	2004年2月 ― 2004年2月
熊本市 市民公開講座（公開講座）	2004年2月 ― 2004年2月
平成 16 年度 医学部新入生歓迎特別講演（講演会・セミナー）	2004年4月 ― 2004年4月
ヤンセンファーマ CNS フォーラム 2004（講演会・セミナー）	2004年7月 ― 2004年7月
第一製薬（株）講演会（講演会・セミナー）	2004年9月 ― 2004年9月
宮城県国保連合会特別講演会（講演会・セミナー）	2004年10月 ― 2004年10月
平成 16 年度 宮城県医師会秋季医学講座（講演会・セミナー）	2004年11月 ― 2004年11月
ヤンセンファーマ学術セミナー（講演会・セミナー）	2004年11月 ― 2004年11月
鳥取大学保健学科生体制御学大学院特別セミナー（講演会・セミナー）	2004年11月 ― 2004年11月
ヤンセンファーマ 社内研究会（講演会・セミナー）	2004年12月 ― 2004年12月
第 14 回 新潟臨床痴呆懇話会（講演会・セミナー）	2005年3月 ― 2005年3月
第 19 回 愛媛痴呆研究会（講演会・セミナー）	2005年6月 ― 2005年6月
第 5 回 北海道アルツハイマー痴呆研究会（講演会・セミナー）	2005年7月 ― 2005年7月
第 99 回 福島県北漢方医学研究会（講演会・セミナー）	2005年7月 ― 2005年7月
第 14 回 北海道老年病漢方研究会（講演会・セミナー）	2005年8月 ― 2005年8月
第 14 回 盛岡内科医師会例会（講演会・セミナー）	2005年9月 ― 2005年9月
第 90 回 東洋医学フォーラム（講演会・セミナー）	2005年9月 ― 2005年9月
第 4 回 鳥取県東部医師会痴呆疾患研究会（講演会・セミナー）	2005年11月 ― 2005年11月
第 9 回 21 世紀の痴呆を考える会（講演会・セミナー）	2005年11月 ― 2005年11月
第 397 回 北九州精神科集団会（講演会・セミナー）	2005年11月 ― 2005年11月
Tsumura Dementia conference（講演会・セミナー）	2005年11月 ― 2005年11月
認知症学術講演会（講演会・セミナー）	2005年12月 ― 2005年12月
太田市学術講演会（講演会・セミナー）	2006年3月 ― 2006年3月
ツムラ学術講演会（講演会・セミナー）	2006年3月 ― 2006年3月
統合医療を考える市民フォーラム（講演会・セミナー）	2006年4月 ― 2006年4月
新潟大学大学院特別講義（講演会・セミナー）	2006年6月 ― 2006年6月
内科懇話会（講演会・セミナー）	2006年7月 ― 2006年7月
西播磨臨床漢方研究会（講演会・セミナー）	2006年7月 ― 2006年7月
十和田市市民健康講座（公開講座）	2006年10月 ― 2006年10月
第 50 回 BNM 研究会（講演会・セミナー）	2006年11月 ― 2006年11月
東北薬化大学大学大学院特別講演（講演会・セミナー）	2006年11月 ― 2006年11月
第 6 回 沖縄「全人的医療」研究会（講演会・セミナー）	2007年1月 ― 2007年1月
みやぎシニアカレッジ修了記念講演（講演会・セミナー）	2007年2月 ― 2007年2月
第 4 回 OSAKA 漢方研究会（講演会・セミナー）	2007年2月 ― 2007年2月
第 10 回 静岡高齢者医療セミナー（講演会・セミナー）	2007年3月 ― 2007年3月
認知症フォーラム（講演会・セミナー）	2007年6月 ― 2007年6月
第 13 回 埼玉北部認知症懇話会（講演会・セミナー）	2007年6月 ― 2007年6月
EBM 漢方 in 香川（講演会・セミナー）	2007年7月 ― 2007年7月
第 29 回 茨城県東洋医学研究会学術講演会（講演会・セミナー）	2008年7月 ― 2008年7月
第 181 回 内科懇話会（講演会・セミナー）	2008年7月 ― 2008年7月
神戸高齢者プライマリーケア講演会（講演会・セミナー）	2008年7月 ― 2008年7月
平安京漢方セミナー講演会（講演会・セミナー）	2008年8月 ― 2008年8月
宮城画像研究会（講演会・セミナー）	2008年9月 ― 2008年9月
第 27 回日本認知症学会市民公開講座（公開講座）	2008年11月 ― 2008年11月
ツムラ漢方フォーラム（講演会・セミナー）	2008年12月 ― 2008年12月
第 15 回 岐阜東洋医学研究会（講演会・セミナー）	2009年1月 ― 2009年1月
市民フォーラム「医療と市民をつなぐ会」（公開講座）	2009年4月 ― 2009年4月
第 1 回 青葉区認知症研究会（講演会・セミナー）	2009年6月 ― 2009年6月
第 6 回 長岡認知症フォーラム（講演会・セミナー）	2009年8月 ― 2009年8月
第 6 回 アルミニウムと健康フォーラム（講演会・セミナー）	2009年10月 ― 2009年10月
東北ブレインアタック 2009（講演会・セミナー）	2009年10月 ― 2009年10月
第 5 回 加齢医学研究会（講演会・セミナー）	2010年1月 ― 2010年1月
出雲クリニカルカンファレンス（講演会・セミナー）	2010年1月 ― 2010年1月

第 12 回 宮城神経内科医会（講演会・セミナー）	2010年3月 ― 2010年3月
つくば老年医学研究会（講演会・セミナー）	2010年7月 ― 2010年7月
第１回 Chiba Dementia Conference（講演会・セミナー）	2010年9月 ― 2010年9月
第６回 加齢学研究会（講演会・セミナー）	2011年1月 ― 2011年1月
老年期医療学術講演会（講演会・セミナー）	2011年2月 ― 2011年2月
第 14 回認知症を語る会（講演会・セミナー）	2011年2月 ― 2011年2月
会津医学会学術講演会（講演会・セミナー）	2011年3月 ― 2011年3月
第 22 回 神経内科認知症研究会（講演会・セミナー）	2011年6月 ― 2011年6月
三浦半島認知症病診連携会（講演会・セミナー）	2011年7月 ― 2011年7月
認知症フォーラム in 多摩（講演会・セミナー）	2011年9月 ― 2011年9月
第１回 大阪老年病研究会（講演会・セミナー）	2011年9月 ― 2011年9月
宮城県臨床内科医会（講演会・セミナー）	2011年11月 ― 2011年11月
浦和認知症セミナー（講演会・セミナー）	2011年11月 ― 2011年11月
栗原市医師会学術講演会（講演会・セミナー）	2011年12月 ― 2011年12月
仙台市医師会学術講演会（講演会・セミナー）	2012年1月 ― 2012年1月
石巻市医師会学術講演会（講演会・セミナー）	2012年1月 ― 2012年1月
レミニール発売１周年記念講演会 in 別府（講演会・セミナー）	2012年2月 ― 2012年2月
第７回 中江病院病診連携の集い（講演会・セミナー）	2012年3月 ― 2012年3月
第６回 EWTOPIA75 ／ Kyushu 検討会（講演会・セミナー）	2012年3月 ― 2012年3月
第４回 元気・健康フェア in とうほく（公開講座）	2012年4月 ― 2012年4月
気仙沼医療系職員スキルアップ研修（講演会・セミナー）	2012年5月 ― 2012年5月
加美郡医師会学術講演会（講演会・セミナー）	2012年7月 ― 2012年7月
仙台市医師会学術部勉強会（講演会・セミナー）	2012年9月 ― 2012年9月
河北「健康の医学教室」市民講座（公開講座）	2012年9月 ― 2012年9月
健康長寿医療フォーラム（講演会・セミナー）	2012年11月 ― 2012年11月
公立黒川病院院内研修会（講演会・セミナー）	2012年12月 ― 2012年12月
公立黒川病院院内研修会（講演会・セミナー）	2013年1月 ― 2013年1月
陸前高田病院院内研修会（講演会・セミナー）	2013年3月 ― 2013年3月
日医生涯教育協力講座（講演会・セミナー）	2013年3月 ― 2013年3月
第３回雲南脳疾患懇話会（講演会・セミナー）	2013年3月 ― 2013年3月
奥出雲町認知症講演会（講演会・セミナー）	2013年3月 ― 2013年3月
第５回元気！ 健康！ フェア in とうほく（公開講座）	2013年4月 ― 2013年4月
第 103 回　東松島いきいき健康講座（公開講座）	2013年9月 ― 2013年9月
群馬中央総合病院地域連携カンファランス（講演会・セミナー）	2013年9月 ― 2013年9月
東北労災病院院内カンファレンス（講演会・セミナー）	2013年10月 ― 2013年10月
老年病研究会（講演会・セミナー）	2013年10月 ― 2013年10月
スマートエイジングカレッジ講義（公開講座）	2014年1月 ― 2014年1月
第 14 回動脈硬化教育フォーラム市民公開講座（公開講座）	2014年2月 ― 2014年2月
認知症疾患治療研究会（講演会・セミナー）	2014年2月 ― 2014年2月
栗原市病院事業「看護研修会」（講演会・セミナー）	2014年3月 ― 2014年3月
第６回元気！ 健康！ フェア in とうほく（公開講座）	2014年4月 ― 2014年4月
第１回 日本老年医学会プレスセミナー（講演会・セミナー）	2014年5月 ― 2014年5月
日本病院薬剤師会 東北ブロック第４回学術大会（講演会・セミナー）	2014年5月 ― 2014年5月
鳥取県西部医師会認知症疾患センター研修事業（講演会・セミナー）	2014年8月 ― 2014年8月
東北大学脳科学センター市民講座（公開講座）	2014年9月 ― 2014年9月
第 16 回応用薬理シンポジウム市民講演会（公開講座）	2014年12月 ― 2014年12月
地域医療を考える会（講演会・セミナー）	2014年12月 ― 2014年12月
第 47 回 ドクターサーチみやぎ健康セミナー市民公開講座（公開講座）	2015年2月 ― 2015年2月
第７回元気！ 健康！ フェア in とうほく（公開講座）	2015年4月 ― 2015年4月
第 20 回 中・四国老年期認知症研究会（講演会・セミナー）	2015年4月 ― 2015年4月
第 147 回 日本医学会シンポジウム（講演会・セミナー）	2015年6月 ― 2015年6月
第 47 回 日本動脈硬化学会 市民公開講座（公開講座）	2015年7月 ― 2015年7月
第 17 回 東北大学病院医学講座（講演会・セミナー）	2015年8月 ― 2015年8月
仙台西多賀病院講演会（講演会・セミナー）	2015年11月 ― 2015年11月
河北新報社「健康の医学講座」（講演会・セミナー）	2015年11月 ― 2015年11月
認知症予防・治療・介護の最前線シンポジウム 2015（講演会・セミナー）	2015年11月 ― 2015年11月
日医生涯教育協力講座セミナー（講演会・セミナー）	2015年12月 ― 2015年12月
第８回 元気・健康フェア in とうほく（公開講座）	2016年4月 ― 2016年4月
ベネッセ地域医療セミナー　市民講座（公開講座）	2016年5月 ― 2016年5月
公益社団法人日本顕微鏡学会 第 72 回学術講演会（公開講座）	2016年6月 ― 2016年6月

ベネッセ地域医療セミナー市民講座（公開講座）	2016年6月　— 2016年6月
第６回 川島隆太教授のテレビいきいき脳体操セミナー 「スマート・エイジングといきいき脳ライフ！」（公開講座）	2016年8月　— 2016年8月
東北大学スマートエイジングカレッジ（講演会・セミナー）	2016年8月　— 2016年8月
第 23 回 東北大学医学祭市民公開講座（公開講座）	2016年10月 — 2016年10月
宮城県予防医学協会推進会議（講演会・セミナー）	2016年11月 — 2016年11月
認知症の予防・治療・介護の最前線シンポジウム 2016（講演会・セミナー）	2016年11月 — 2016年11月
第 9 回元気！ 健康！ フェア in とうほく（公開講座）	2017年4月　— 2017年4月
第 7 回 川島隆太教授のテレビいきいき脳体操セミナー　東北大学 知のフォーラム（公開講座）	2017年5月　— 2017年5月
東北大学スマートエイジングカレッジ（講演会・セミナー）	2017年6月　— 2017年6月
第 29 回 長崎認知症研究会（講演会・セミナー）	2017年7月　— 2017年7月
認知症対策プロジェクト（公開講座）	2017年8月　— 2017年8月
ハート・リングフォーラム「口から考える認知症」2017 in 東京（公開講座）	2017年9月　— 2017年9月
平成 29 年度老人保健施設管理医師総合診療研修会Ⅱ期（講演会・セミナー）	2017年10月 — 2017年10月
高知県認知症研究会（講演会・セミナー）	2017年11月 — 2017年11月
第 11 回 The KAITEKI 講演会（講演会・セミナー）	2017年12月 — 2017年12月
第 37 回 日本看護学学会学術集会 市民フォーラム（公開講座）	2017年12月 — 2017年12月
第８回 認知症 BPSD 研究会（講演会・セミナー）	2018年3月　— 2018年3月
第 10 回元気！ 健康！ フェア in とうほく（公開講座）	2018年4月　— 2018年4月
プレカンファランス（その他）	2018年6月　— 2018年6月
市民公開講座「いきいき脳体操セミナー」（公開講座）	2018年7月　— 2018年7月
栗原市医師会学術講演会（講演会・セミナー）	2018年8月　— 2018年8月
千里ライフサイエンスセミナー M3（講演会・セミナー）	2018年9月　— 2018年9月
東北大学スマートエイジングカレッジ（講演会・セミナー）	2019年2月　— 2019年2月
第 11 回 元気・健康フェア in とうほく（公開講座）	2019年4月　— 2019年4月
第８回 認知症予防学会米子研修会（講演会・セミナー）	2019年7月　— 2019年7月
老いと認知症 ～ 予防と共生を考える　フォーラム（公開講座）	2019年11月 — 2019年11月
認知症と Kampo セミナー in 松山（講演会・セミナー）	2019年11月 — 2019年11月
第７回 認知症の予防・治療・介護の最前線シンポジウム（講演会・セミナー）	2019年11月 — 2019年11月

行政機関・企業・ＮＰＯ等参加

[日本国内] 文部科学省 科学技術省（国）　学術。審査会専門委員　委員	2005年4月　—2008年3月

オープンキャンパス・研究所公開等

加齢医学研究所集談会（公開授業・講演）	2008年6月　— 2008年6月
加齢医学研究所　東京シンポジウム（公開授業・講演）	2008年11月 — 2008年11月
第 1 回加齢医学研究所 市民公開講座（公開授業・講演）	2009年10月 — 2009年10月
東北ブレインアタック（公開授業・講演）	2009年10月 — 2009年10月
第５回　東北大学病院　市民公開講座「認知症」（公開授業・講演）	2010年10月 — 2010年10月
第 5 回 東北大学病院　市民公開講座（公開授業・講演）	2010年10月 — 2010年10月
加齢医学研究所　70 周年記念式典（公開授業・講演）	2011年11月 — 2011年11月
加齢医学研究所 創立 70 周年記念国際シンポジウム（公開授業・講演）	2011年11月 — 2011年11月
東北医学会特別講演会（公開授業・講演）	2013年2月　— 2013年2月
東北大学病院 認知症講演会　認知症の制圧と最新医療（公開授業・講演）	2013年10月 — 2013年10月
第 141 回東北大学加齢医学研究所集団会（公開授業・講演）	2014年4月　— 2014年4月
第 143 回東北大学加齢医学研究所集団会（公開授業・講演）	2015年1月　— 2015年1月
第 147 回東北大学加齢医学研究所集団会（公開授業・講演）	2017年2月　— 2017年2月
Tohoku forum for creatirity the matic program 2017 Aging Science Institute of Development, Aging and Cancer Tohoku University（公開授業・講演）	2017年3月　— 2017年3月
第 149 回東北大学加齢医学研究所集団会（公開授業・講演）	2018年1月　— 2018年1月

学内活動

漢方内科長	2005年4月　— 2007年12月
老年科長	2006年4月　— 現在
[大学院入試関連] 医・研究科委員会委員	2006年4月　— 現在
[管理運営関連] 医・講座・分野の在り方に関する委員会委員	2007年4月　— 2008年2月
[管理運営関連] 加・運営会議委員	2008年1月　— 現在
老年医学研究会の開催	2010年4月　— 2011年3月
老年医学研究会の開催	2011年4月　— 現在

学位授与数

博士	10人
修士	0人
学士	0人
法務博士（専門職）	0人
修士（専門職）	0人
短期大学士	0人
準学士	0人
専門士	0人
論文博士	8人

担当授業科目

(全学教育)

[実習 · 少人数教育] 基礎ゼミ：高齢化社会を生き抜く	2007年 ― 2007年
体と健康	2011年 ― 2011年
アルツハイマー病はナニモノだ	2015年 ― 現在
アルツハイマー病はナニモノだ	2016年 ― 現在
内科学Ⅱ（呼吸器 · 老人）	2017年 ― 2017年
内科学Ⅱ（呼吸器 · 老人）	2018年 ― 2018年
内科学Ⅱ（呼吸器 · 老人）	2019年 ― 2019年
内科学Ⅱ（呼吸器 · 老人）	2020年 ― 2020年

(学部教育)

医学科５年次　第３次修練	1997年 ― 現在
[講義] 薬 · 薬学概論１	2006年 ― 2006年
[講義] 医 · 内科学 II（呼吸器 · 老人)	2006年 ― 2007年
[講義] 医 · 卒前最終講義	2006年 ― 2007年
[臨床医学修練] 医 · 臨床医学修練（３次）	2006年 ― 2007年
[高次修練] 医 · 高次医学修練	2006年 ― 2007年
[その他教育] 老年医学	2007年 ― 2008年
[講義] 医 · 内科学 II（呼吸器 · 老人）	2007年 ― 2008年
[講義] 医 · 薬理学 I	2007年 ― 2008年
[臨床医学修練] 医 · 臨床医学修練（３次）	2007年 ― 2008年
[高次修練] 医 · 高次医学修練	2007年 ― 2008年
[臨床医学修練] 医 · 臨床医学修練（３次）	2008年 ― 2009年
[高次修練] 医 · 高次医学修練	2008年 ― 2009年
[講義] 医 · 内科学 II（呼吸器 · 老人）	2008年 ― 2009年
[臨床医学修練] 医 · 臨床医学修練（３次）	2009年 ― 2010年
[高次修練] 医 · 高次医学修練	2009年 ― 2010年
[講義] 医 · 内科学 II（呼吸器 · 老人）	2009年 ― 2010年
[臨床医学修練] 医 · 臨床医学修練（３次）	2010年 ― 2011年
[高次修練] 医 · 高次医学修練	2010年 ― 2011年
[講義] 医 · 内科学 II（呼吸器 · 老人）	2010年 ― 2011年
薬理学 II「認知症治療薬」	2010年 ― 2013年
[臨床医学修練] 医 · 臨床医学修練（３次）	2011年 ― 2012年
[高次修練] 医 · 高次医学修練	2011年 ― 2012年
内科学 II[加齢 · 老年」（ア）加齢と老年医療総論	2011年 ― 現在
老年保健看護学　高齢者医療と認知症	2011年 ― 現在
歯学部　５年生　特別講義	2011年 ― 現在
福島県立医科大２年	2011年 ― 現在
老年保健看護学「高齢者医療と認知症」	2012年 ― 2012年
歯学部５年生特別講義	2012年 ― 2012年
第３次修練　加齢と老年医学	2012年 ― 現在
薬理学 II「認知症治療薬」	2012年 ― 現在
内科学 II「加齢 · 老年」　（ア）加齢と老年医療総論	2013年 ― 2013年
第３次修練「加齢と老年医学」	2013年 ― 2013年
老年保健看護学　高齢者医療と認知症	2013年 ― 2013年
歯学部５年生　特別講義	2013年 ― 2013年
最終講義「アルツハイマー病の制圧と分子イメージング」	2013年 ― 2013年
内科学 II「加齢 · 老年」　（ア）加齢と老年医療総論	2014年 ― 2014年
臨床医学紹介「アルツハイマー病を知る」	2014年 ― 2014年

薬剤学２	2016年 ― 2016年
歯学部５年生特別講義	2016年 ― 2016年
内科学Ⅱ（呼吸器・老人）	2016年 ― 2016年
薬理学Ⅱ	2017年 ― 2017年
薬理学Ⅱ	2018年 ― 2018年
薬理学Ⅱ	2019年 ― 2019年
薬理学Ⅱ	2020年 ― 2020年
(大学院教育)	
修士課程　修士コース「認知症克服のプロセスを考える」	2015年 ― 現在
(他大学)	
[他大学及び他研究科の講義等] 薬理学	2006年 ― 2007年
[他大学及び他研究科の講義等] 生理学	2006年 ― 2007年
[他大学及び他研究科の講義等] 保健科学	2006年 ― 2007年
[他大学及び他研究科の講義等] 内科学	2006年 ― 2007年
[他大学及び他研究科の講義等] 老年医学	2007年 ― 2008年
生化学	2011年 ― 2011年
特殊医療学講義　「高齢者の薬物治療学」	2011年 ― 現在
特殊医療学講義「アルツハイマー病序論」	2011年 ― 現在
病態生化学「アルツハイマー病への挑戦」	2012年 ― 2012年
特殊医療学講義　（ア）高齢者の薬物治療学	2012年 ― 2012年
特殊医療学講義　（イ）アルツハイマー病序論	2012年 ― 2012年
医学科特別講義	2012年 ― 2012年
M3 臨床統合講義　認知症	2012年 ― 2012年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2012年 ― 現在
病態生化学「アルツハイマー病への挑戦」	2013年 ― 2013年
特殊医療学講義　（ア）高齢者の薬物治療学	2013年 ― 2013年
特殊医療学講義（イ）アルツハイマー病序論	2013年 ― 2013年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2013年 ― 2013年
福島県立医科大学４年　高齢者総合診療「老年医学総論」「認知症の診断と治療」	2014年 ― 2014年
島根大学医科学３年特別講義	2014年 ― 現在
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2014年 ― 2014年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2015年 ― 2015年
福島県立医科大学２年	2016年 ― 2016年
島根大学医学科３年特別講義	2016年 ― 2016年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2016年 ― 2016年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2017年 ― 2017年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2018年 ― 2018年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2019年 ― 2019年
同志社大学生命医科学研究科修士課程トプセミナー	2020年 ― 2020年

国際会議　発表・講演

Herpes simplex virus infection and apolipoprotein E4 allele in Alzheimer ’ s disease[27th Annual Meeting of Society for Neuroscience]
（1997年10月25日 -- 1997年10月25日，アメリカ合衆国）口頭（一般）

Herpes simplex virus infection as a risk factor of Alzheimer’s disease[6 th. International Conference on Alzheimer ’ s Disease and Related Disorders]
（1998年7月18日 -- 1998年7月18日，オランダ）口頭（一般）

Detection and characterization of phosphorylated tau in cerebrospinal fluid. Round Table Discussion.[6th International Conference on Alzheimer’s disease and related disorders.]
（1998年7月20日 -- 1998年7月20日，オランダ，Amsterdam,）口頭（一般）

Mutation in the alpha-synuclein gene among sporadic Parkinson ’ s disease, Alzheimer ’ s disease, and dementia with Lewy bodies[18th Annual Meeting of Society for Neuroscience]
（1998年11月7日 -- 1998年11月7日，アメリカ合衆国）口頭（一般）

Prediction of progression to Alzheimer ’ s disease with total and phospho-tau levels of CSF in patients with Mild Cognitive Impairment.[Current Concepts in Mild Cognitive Impairment meeting.]
（1999年6月25日 -- 1999年6月25日，アメリカ合衆国，Chicago）口頭（一般）

Tau and phospho-tau in cerebrospinal fluid as a potential biomarker of Alzheimer ’ s disease. Workshop; Imaging and Biological Markers for Diagnosis and Progression of Alzheimer ’ s Disease,[National Institute on Aging]
（1999年9月28日 -- 1999年9月28日，アメリカ合衆国）口頭（一般）

Mild hyperhomocysteinemia is an independent risk of silent stroke. A community-based study [19 th Annual Meeting of Society for Neuroscience]
(1999年10月23日 -- 1999年10月23日, アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Molecular and Bio-markers in the diagnosis and monitoring the progression of Alzheimer ' s disease.The special symposium on Alzheimer ' s disease: How to inhibit the progression of Alzheimer ' s Disease [The 3rd International Congress of Neuropsychiatry,]
(2000年4月10日 -- 2000年4月10日, 日本国, Kyoto) 口頭（一般）
A Practical Method to Predict Rate of Cognitive Decline in Mild to Moderate Alzheimer ' s Disease. [7th. International Conference on Alzheimer ' s Disease and Related DisordersJuly]
(2000年7月9日 -- 2000年7月9日, アメリカ合衆国) 口頭（一般）
ntemortem diagnosis of dementia with Lewy bodies using 18F-Fluorodopa positron emission tomography. Symposium; Catecholamine and diseases. [The 5th international catecholamne symposium.]
(2001年4月5日 -- 2001年4月5日, 日本国, Kyoto) 口頭（一般）
Cerebrospinal fluid tau phosphorylated at threonine 231 is an early biological marker for Alzheimer ' s disease and shows improved disease discrimination over total tau. Symposium; Paradigms and bio-markers of Alzheimer ' s disease. [17th World Congress of the International Association of Gerontology]
(2001年7月5日 -- 2001年7月5日, カナダ, Vancouver) 口頭（一般）
Phosphorylated tau in human cerebrospinal fluid is a diagnostic marker for Alzheimer 's disease. Symposium; Paradigms and bio-markers of Alzheimer ' s disease. [17th World Congress of the International Association of Gerontology.]
(2001年7月5日 -- 2001年7月5日, カナダ, Vancouver) 口頭（一般）
From CSF total tau to phosphorylated tau at threonine 231 in the diagnosis of Alzheimer ' s disease-early and differential diagnosis of AD. Symposium; Methodology and clinical applicability of CSF markers in the diagnosis and the monitoring the progression of Alzheimer ' s disease. [7th World Congress of Biological Psychiatry.]
(2001年7月9日 -- 2001年7月9日, ドイツ) 口頭（一般）
CSF-tau protein phosphorylated at serine 199 in Alzheimer ' s disease- a large scale and multicenter study. Symposium; Methodology and clinical applicability of CSF markers in the diagnosis and the monitoring the progression of Alzheimer ' s disease. [7th World Congress of Biological Psychiatry.]
(2001年7月9日 -- 2001年7月9日, ドイツ) 口頭（一般）
CSF and Neuroimaging features in mild cognitive impairment. [MCI global advisory panel,]
(2001年9月9日 -- 2001年9月9日, フランス) 口頭（一般）
CSF-tau, phospho-tau and A β 1-42 profiles in Alzheimer ' s disease and mild cognitive impairment. Symposium; Bio-markers of Alzheimer7s disease. [8th World Congress of Alzheimer ' s disease.]
(2002年7月25日 -- 2002年7月25日, スウェーデン) 口頭（一般）
Perspectives in Alzheimer ' s disease diagnosis. [The 30th NIPS International Conference on " Frontiers of Biological Electron Microscopy "]
(2003年3月11日 -- 2003年3月11日, 日本国, Okazaki) 口頭（一般）
PET studies [The 3rd International Workshop on dementia with Lewy bodies and Parkinson ' s disease dementia (DLB/PDD)]
(2003年9月18日 -- 2003年9月18日, イギリス) 口頭（一般）
BF-168: In vivo imaging probe for amyloid plaques and neurofibrillary tangles [Society for Neuroscience, the 2003 Annual Meeting]
(2003年11月9日 -- 2003年11月9日, アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Role of chronic sinusitis in cognitive functioning in the elderly [7th Asia/Oceania Resional Congress of Gerontology]
(2003年11月24日 -- 2003年11月24日, 日本国) 口頭（一般）
Clinical applications of biomarkers in Alzheimer ' s disease. From CSF to imaging amyloid. [Satellite Symposium of the International Congress of Biological Psychiatry.]
(2004年2月10日 -- 2004年2月10日, オーストラリア) 口頭（一般）
Increased risk for silent brain infarction and deep white matter lesions in alcoholic patients. [Satellite Symposium of the International Congress of Biological Psychiatry]
(2004年2月11日 -- 2004年2月11日, オーストラリア) 口頭（一般）
CSF-tau and A β peptides in frontotemporal dementia. [Alzheimer ' s disease and related disorders.]
(2004年2月11日 -- 2004年2月11日, アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Novel 18F-labeled PET Tracers for Detecting Amyloid Plaques and Neurofibrillary Tangles in the Brain [The 9th International Conference on Alzheimer's Disease and Related Disorders]
(2004年7月17日 -- 2004年7月17日, アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Development of novel PET tracer for in vivo detection of amyloid plaques. [The 7th International Conference on Alzheimer's and Parkinson's Disease]
(2005年3月9日 -- 2005年3月9日, イタリア) 口頭（一般）

In Vivo Imaging Amyloid Plaques in the Brain Using BF-227 [2005 Abstract Viewer/Itinerary Planner. Society for Neuroscience 35th Annual Meeting]
（2005年11月12日 -- 2005年11月12日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Early diagnosis and treatment of cognitive impairment. [2nd Taiwan Geriatric Psychiatry Society Meeting.]
（2006年3月12日 -- 2006年3月12日，タイ）口頭（一般）
Diagnosis, treatment and prevention of cognitive impairment and dementia. 6th Japan-Korea Joint Symposium, [48th Annual meetinf of Japan Geriatrics Society.]
（2006年7月7日 -- 2006年7月7日，日本国，Kanazawa）口頭（一般）
18F-labeled ethenyl-benzoxazole derivatives for in vivo detection of amyloid plaques in the brain [ICAD2006]
（2006年7月14日 -- 2006年7月14日，スペイン）口頭（一般）
Novel Benzoxazole Derivatives for In Vivo Imaging of Amyloid Plaques in the Brain. The Society for Molecular Imaging [The Fifth Annual Meeting,]
（2006年8月30日 -- 2006年8月30日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
In vivo imaging of amyloid plaques in the brain: [11C] BF-227 PET study. [The 6th Annual Meeting of International College of Geriatric Psychoneuropharmacology (ICGP)]
（2006年10月3日 -- 2006年10月3日，日本国）口頭（一般）
Yi-Gan-San in the treatment of DLB-related BPSD. [The 4th internationnal workshop of DLB and PDD,]
（2006年11月3日 -- 2006年11月3日，日本国，Yokohama）口頭（一般）
In vivo detection of amyloid deposits in normals, mild cognitive impairment and Alzheimer's disease patients using [11C] BF-227 and PET [Human Amyloid Imaging]
（2007年5月4日 -- 2007年5月4日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
"Beyond magic bullets to AB: Targeting multiple neurodegenerative pathwsays for Alzheimer drug discovery" [International conerence on prevention of dementia]
（2007年6月9日 -- 2007年6月11日，アメリカ合衆国，ワシントンD.C.）口頭（一般）
In vivo detection of amyloid deposits in Alzheimer ' s disease patients using [11C] BF-227 PET [Brain ' 07]
（2007年10月14日 -- 2007年10月14日，日本国）口頭（一般）
Noninvasive detection of amyloid deposits in the patients with Alzheimer ' s disease using [11C] BF-227 PET. [IPA 2007]
（2007年10月14日 -- 2007年10月14日，日本国）口頭（一般）
Inpact of Blunted Perception of Dyspnea on Medical Care Use and Expenditure in Community Dwelling Elderly People [ATS· 2008]
（2008年5月16日 -- 2008年5月16日，カナダ）口頭（一般）
In vivo imaging of brain amyloid deposits using BF-227 and its derivative [SNM 2008 Annual Meeting]
（2008年6月14日 -- 2008年6月14日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
PET imaging of brain amyloid deposits using BF-227 and its derivative [Alzheimer ' s Imaging Consortium Pre-conference]
（2008年7月26日 -- 2008年7月26日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
PET imaging of brain amyloid deposits using BF-227 and its derivative. [Alzheimer ' s Association International Conference on Alzheimer ' s Disease 2008]
（2008年7月27日 -- 2008年7月27日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Noninversive detection of Amyloid deposits by near infrared fluorescence probe THK-265. [Alzheimer ' s Association International Conference on Alzheimer ' s Disease 2008]
（2008年7月27日 -- 2008年7月27日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Non-invasive detection of amyloid-β deposits by near-infrared fluorescence imaging. [XI Workshop on Apotosis in Biology and Medicine]
（2008年9月12日 -- 2008年9月12日，日本国）口頭（一般）
Imaging and biomarker developmento in Alzheimer's duisease andn related disorders. [The Joing Symposiumu of the 4th International symposium of Institutes Network and Osaka University]
（2009年1月31日 -- 2009年2月1日，日本国，大阪市）口頭（招待· 特別）
Imaging and Biomarker development in Alzheimer's disease and related disorders [Mini-Workshop Neuroimanging:Modeling &data-basing]
（2009年2月3日 -- 2009年2月3日，日本国，仙台市）口頭（招待· 特別）
Imaging and biomarker development in Alzheimer 's disease and related disorders. [International Conference on Alzheimer ' s disease]
（2009年2月27日 -- 2009年2月27日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Imaging and biomarker development in Alzheimer's disease and related disorders [第 8 回脳血管国際会議]
（2009年7月2日 -- 2009年7月2日，日本国，仙台市）口頭（招待· 特別）
Non-invasive detection of α-synuclein deposits in human brain using [11C] BF227-PET [2009 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)]
（2009年7月14日 -- 2009年7月14日）口頭（一般）
PET imaging for mild cognitive impairment with FDG and beta-amyloid tracer, 11C-BF-227 [2009 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)]
（2009年7月15日 -- 2009年7月15日，イタリア）口頭（一般）

Current status of J-ADNI and biomarker development in Alzheimer's disease [Center for Neurodegenerative]
(2009年8月25日 -- 2009年8月25日，アメリカ合衆国，Pennsylvania) 口頭（招待・特別）
[11C] BF-227 PET Study in Protein Conformational Diseases. [ANM'09 Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine,]
(2009年10月10日 -- 2009年10月10日，スペイン) 口頭（一般）
[18F] FACT PET is Useful for Noninvasive Detection of Amyloid Plaques in Alzheimer 's Disease [ANM'09 Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine,]
(2009年10月10日 -- 2009年10月10日，スペイン) 口頭（一般）
Quantitative Analysis of Amyloid Deposition in Alzheimer ' s Disease Patients and Healthy Volunteers Using PET and [11C] BF-227. [The 2009 International Symposium on Early Detection and Rehabilitation Technology of Dementia-DRD2009]
(2009年12月11日 -- 2009年12月11日，日本国) 口頭（一般）
Binding and pharmacokinetic properties of novel 18F-labeled agents for in vivo imaging of tau pathology in Alzheimer ' s disease. [2010 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)]
(2010年7月12日 -- 2010年7月12日，アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Amyloid PET in mild cognitive impairment and Alzheimer's disease with [11C] BF-227: comparison to voxel-based morphometric MRI. [2010 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)]
(2010年7月12日 -- 2010年7月12日，アメリカ合衆国) 口頭（一般）
PET amyloid imaging in mild cognitive impairment and Alzheimer's disease using novel amyloid ligand [18F] FACT - the hydroxylated BF-227 derivative [2010 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)]
(2010年7月12日 -- 2010年7月12日，アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Characteristics of the Baseline Plasma Homocysteine levels and it's correlation with brain structures and cognition in Japanese -ADNI(J-ADNI)Cohort [2010 国際認知症学会]
(2010年7月13日 -- 2010年7月13日，アメリカ合衆国) 口頭（一般）
Kampo medicine towards fighting Alzheimer's disease [The second Workshop on Aging and Aged Societies in Est Asia]
(2011年2月12日 -- 2011年2月12日，日本国) 口頭（招待・特別）
最新の日本における認知症研究 [GE Healthcare adrisory board meeting]
(2011年2月25日 -- 2011年2月26日，シンガポール) 口頭（招待・特別）
日本での認知症の現状について [スウェーデン、東京大学　高齢社会シンポジウム]
(2011年9月22日 -- 2011年9月22日，スウェーデン) シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
Traditional Medicine in the Treatment of Dementia and Alzheimer's Disease [Global Leaderchip for New Drug Discovery and Development]
(2011年11月9日 -- 2011年11月9日，韓国，Incheon) 口頭（招待・特別）
Current status of dementia research in Japan [The international symposium for 70th Anniversary of Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University]
(2011年11月28日 -- 2011年11月29日，，Sendai City) 口頭（招待・特別）
Wavelength-dependent selective detection of tau pathology in Alzheimer 's disease using a novel fluorescent probe THK-1188 [Alzheimer ' s Association International Conference (AAIC) 2012]
(2012年7月14日 -- 2012年7月14日，カナダ) 口頭（一般）
Plenary Lecture: Biomarker development and redefining dementia and Alzheiemr's disease [International program of neuroimaging educational course of Tohoku University]
(2012年10月4日 -- 2012年10月4日，，Sendai City) 口頭（招待・特別）
[18F] THK-5105 and [18F] THK-5117 as possible PET probes for in vivo detection of tau pathology in Alzheimer ' s disease [7th Human Amyloid Imaging meeting.]
(2013年1月6日 -- 2013年1月6日) 口頭（一般）
Dementia and Sarcopneia [The 8th Internatiolan Symposium on Geriatrics and Gerontology]
(2013年2月16日 -- 2013年2月16日，，Ohbu City) 口頭（一般）
Binding of the Novel PET Tracer [18F] THK-5117 Reflects the Amount of Tau in Alzheimer ' s Disease Brain. [The 11th International Conference on Alzheimer's & Parkinson's disease]
(2013年3月5日 -- 2013年3月5日) 口頭（一般）
PET imaging of tau pathology in patients with Alzheimer's disease using 18F-THK5117. [Clinical Trials on Alzheimer's Disease (CtaD) 2013]
(2013年11月14日 -- 2013年11月14日，アメリカ合衆国) 口頭（一般）
In vivo selective imaging of tau pathology in Alzheimer's disease with 18F-THK5117 [SNMMI 2014 Annual Meeting]
(2014年6月9日 -- 2014年6月9日) 口頭（一般）
Characterization of [18F] THK-5351, a novel PET tracer for imaging tau pathology in Alzheimer ' s disease. [EANM 2014]
(2014年7月12日 -- 2014年7月12日，スウェーデン) 口頭（一般）

Comparison of 18F-THK5117 and 11C-PiB PET images in the patients with Alzheimer ’ s disease.［AAIC 2014］
（2014年7月14日 -- 2014年7月14日，スウェーデン）口頭（一般）
Binding characterization of tau PET tracer 18F-THK5117 in non-Alzheimer’s neurodegenerative diseases［AAIC 2014］
（2014年7月14日 -- 2014年7月14日，スウェーデン）口頭（一般）
Accumulation of the novel tau imaging tracer, 18F-THK5117 is associated with brain atrophy in Alzheimer’s disease.［AAIC 2014］
（2014年7月14日 -- 2014年7月14日，スウェーデン）口頭（一般）
First-in-human PET study of a novel tau tracer [18F] THK-5351.［9th Human Amyloid Imaging 2015］
（2015年1月16日 -- 2015年1月16日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Validation of automated analysis of tracer binding on THK tau PET images.［9th Human Amyloid Imaging 2015］
（2015年1月16日 -- 2015年1月16日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
PET imaging of tau deposits in Alzheimer’s disease patients using 18F-THK5105 and 18F-THK5117.［Human Amyloid Imaging 2014］
（2015年1月16日 -- 2015年1月16日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Clinical PET study of a novel tau PET tracer [18F] THK-5351 in patients with Alzheimer ’s disease.［ADPD 2015］
（2015年3月20日 -- 2015年3月20日，フランス）口頭（一般）
PET imaging of tau pathology in mild cognitive impairment and Alzheimer’s disease with [18F] THK-5351［SNMMI 2015 Annual Meeting］
（2015年6月8日 -- 2015年6月8日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Longitudinal [C-11] BF-227 PET study in MSA-C patients.［19th International Congress of Parkinson’s Disease and Movement Disorders］
（2015年6月14日 -- 2015年6月14日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Validation of the binding specificity of tau PET tracer [18F] THK-5351 on postmortem human brain samples［AAIC 2015］
（2015年7月22日 -- 2015年7月22日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Distribution of tau pathology in the patients with mild cognitive impairment and Alzheimer ’ s disease measured with [18F] THK-5351 PET［AAIC 2015］
（2015年7月22日 -- 2015年7月22日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Distinct patterns of [18F] THK-5351 retention in AD and non-AD tauopathies.［The 10th Human Amyloid Imaging (HAI) meeting,］
（2016年1月13日 -- 2016年1月13日）口頭（一般）
Metabolite analysis of tau PET tracer [18F] THK-5351［The 10th Human Amyloid Imaging (HAI) meeting,］
（2016年1月13日 -- 2016年1月13日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Thinking about dementia,［1st Geriatric Innovation Forum］
（2016年1月23日 -- 2016年1月23日，日本国，Nagoya）口頭（一般）
[F-18] THK5351 Retention Is Associated with the Progression of Brain Atrophy in Patients with Alzheimer ’ s Disease［AAIC 2016］
（2016年7月22日 -- 2016年7月22日，カナダ）口頭（一般）
Population aging and dementia,［Presentation to Dr. Viroj from Chulalongkorn University］
（2016年8月2日 -- 2016年8月2日，日本国，Sendai）口頭（一般）
Longitudinal analysis of [18F] THK5351 tau PET images in patients with Alzheimer ’ s disease and corticobasal syndrome［CTAD 2016］
（2016年11月10日 -- 2016年11月10日，アメリカ合衆国）口頭（一般）
Developing reliable biomarker toward prevention and preemptive therapy of Alzheimer ’ s disease and dementia［Tohoku Forum for Creativity］
（2017年5月19日 -- 2017年5月19日，日本国，Sendai）口頭（一般）
Successful reduction of off-target binding of quinoline derivatives as tau-selective PET tracers［Alzheimer’s Association International Conference］
（2017年7月15日 -- 2017年7月15日，イギリス）口頭（一般）
Structure-binding relationship of quinoline derivatives on monoamine oxidase B.［The 12th Human Amyloid Imaging (HAI) meeting］
（2018年1月17日 -- 2018年1月17日）口頭（一般）
Potential application of 18F-THK5351 and its derivatives for PET imaging of astrogliosis in human brain［AAIC 2018］
（2018年7月21日 -- 2018年7月21日）口頭（一般）
Development of a novel 18F-labeled PET tracer for imaging astrogliosis.［AAIC2019］
（2019年7月15日 -- 2019年7月15日，アメリカ合衆国）口頭（一般）

Non-invasive detection of α-synuclein deposits in human brain using [11C] BF227-PET.[2009 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)]
（2019年7月15日 -- 2019年7月15日，イタリア）口頭（一般）
Preclinical characterization of [18F] SNFT-1, a novel tau PET tracer with little off-target binding.[The 14th Human Amyloid Imaging (HAI) meeting,]
（2020年1月17日 -- 2020年1月17日，アメリカ合衆国）口頭（一般）

国内会議　発表・講演

アルツハイマー病における生物学的診断マーカー [第 11 回日本 ME 学会秋季大会シンポジウム]
（1997年11月21日 -- 1997年11月21日）口頭（一般）
老年痴呆と遺伝子多型 [第 35 回日本老年医学会総会シンポジウム]
（1998年6月18日 -- 1998年6月18日）口頭（一般）
痴呆症の診断マーカーとしての脳脊髄液タウ蛋白 [第 17 回日本痴呆学会シンポジウム]
（1998年10月2日 -- 1998年10月2日）口頭（一般）
アルツハイマー病の薬物療法 - 女性ホルモン、抗炎症剤、ビタミンＥおよび加味温胆湯による治療介入の試み - [第 41 回日本老年医学会学術集会シンポジウム]
（1999年6月16日 -- 1999年6月16日）口頭（一般）
レビー小体を伴う痴呆症の臨床と病理 [第５２回日本自律神経学会総会ワークショップ]
（1999年11月4日 -- 1999年11月4日）口頭（一般）
生物学的マーカーを用いたアルツハイマー病の診断および治療への示唆 [第 156 回日本薬学会東北支部例会シンポジウム]
（2000年2月19日 -- 2000年2月19日）口頭（一般）
老年期痴呆症の分子生物学的研究 [第 42 回日本老年医学会イブニングシンポジウム]
（2000年6月15日 -- 2000年6月15日，Sendai）口頭（一般）
痴呆性疾患の生物学的マーカーの開発の現状と問題点 [第 27 回金沢医科大学神経科学セミナー]
（2000年8月26日 -- 2000年8月26日）口頭（一般）
CSF の tau とＡβ [第１回アルツハイマー型痴呆研究会 · 生化学マーカーサブコミッテイ会議]
（2001年1月13日 -- 2001年1月13日）口頭（一般）
Mild cognitive impairment とアルツハイマー病早期診断 [第４回東京大学アルツハイマー病ミニシンポジウム]
（2001年2月3日 -- 2001年2月3日）口頭（一般）
MCI はアルツハイマー病の超早期段階か？ [第 19 回日本神経治療学会ランチョンセミナー]
（2001年6月28日 -- 2001年6月28日）口頭（一般）
Therapeutic Target としての Mild cognitive impairment [第 23 回日本痴呆学会学術集会シンポジウム]
（2001年9月29日 -- 2001年9月29日，東京）口頭（一般）
CSF マーカー [第２０回日本痴呆学会シンポジウム]
（2001年10月5日 -- 2001年10月5日）口頭（一般）
高齢者脳血管障害と誤嚥性肺炎 [第 46 回日本音声言語医学会総会シンポジウム]
（2001年11月9日 -- 2001年11月9日）口頭（一般）
タウ蛋白 [日本学術会議第 37 回脳のシンポジウム]
（2002年3月16日 -- 2002年3月16日）口頭（一般）
高齢者脳疾患と誤嚥性肺炎 [第 42 回日本呼吸器学会総会イブニングシンポジウム]
（2002年4月5日 -- 2002年4月5日，Sendai）口頭（一般）
専門外来における MCI 縦断研究と脳脊髄液マーカー [第 43 回日本神経学会総会イブニングシンポジウム]
（2002年5月30日 -- 2002年5月30日）口頭（一般）
アルツハイマー病の早期発見 · 早期治療 [日本内科学会認定内科専門医会教育セミナー]
（2002年6月8日 -- 2002年6月8日）口頭（一般）
Mild cognitive impairment とアルツハイマー病の早期診断 [第 44 回日本老年医学会総会 Aging science forum]
（2002年6月14日 -- 2002年6月14日）口頭（一般）
ぼけないための介護 · 看護 · 医療 [第８回東北老年医療シンポジウム]
（2002年9月7日 -- 2002年9月7日，仙台市）口頭（一般）
軽度認知機能障害と痴呆症の早期診断 [第 37 回日本成人病（生活習慣病）学会エキスパートセミナー]
（2003年1月11日 -- 2003年1月11日，東京）口頭（一般）
老年期痴呆症の臨床と Biomarker [第 26 回日本医学会総会シンポジウム柱]
（2003年4月6日 -- 2003年4月6日，福岡）口頭（一般）
プリオン病診断のための臨床検査 [第 44 回日本神経学会総会シンポジウム]
（2003年5月16日 -- 2003年5月16日，横浜）口頭（一般）
高齢者脳疾患と老人性肺炎 [第 21 回日本神経治療学会ランチョンセミナー]
（2003年6月11日 -- 2003年6月11日，郡山市）口頭（一般）
高齢者薬物療法 - 抗痴呆薬 [第 45 回 日本老年医学会総会シンポジウム III]
（2003年6月20日 -- 2003年6月20日，名古屋市）口頭（一般）

Biomarker in MCI.[The first MCI/Key symposium]
（2003年9月3日 -- 2003年9月3日）口頭（一般）
アルツハイマー病　バイオマーカー研究の現状と展望 [第 46 回日本神経化学会ランチョンセミナー]
（2003年9月25日 -- 2003年9月25日，新潟市）口頭（一般）
脳と臓器障害 - 痴呆症 [臨床生理学会ワークショップ]
（2003年10月10日 -- 2003年10月10日，仙台市）口頭（一般）
軽度認知機能障害と痴呆症の早期診断 [第 125 回日本医学会シンポジウム]
（2003年12月11日 -- 2003年12月11日，東京）口頭（一般）
Mild cognitive impairment の概念とその臨床的多様性 [第 45 回 日本神経学会総会教育講演]
（2004年5月16日 -- 2004年5月16日，東京）口頭（一般）
Mild cognitive impairment の概念とその臨床的多様性 [第 45 回 日本老年精神医学会シンポジウム講演]
（2004年6月25日 -- 2004年6月25日，松本）口頭（一般）
本邦における痴呆性疾患研究の現状と展望 [第 10 回日本行動薬理研究会]
（2004年8月3日 -- 2004年8月3日，栗駒市）口頭（一般）
内科医のための老年科診療の実際—東洋医学との接点—[第９回日本東洋医学会福島県部会総会]
（2004年8月22日 -- 2004年8月22日，いわき市）口頭（一般）
老年症候群への新戦略 [第 15 回日本老年医学会東北地方会]
（2004年9月6日 -- 2004年9月6日，盛岡市）口頭（一般）
痴呆症制圧への道—東洋医学との接点—[第 21 回日本東洋医学会東北支部会特別講演]
（2004年10月10日 -- 2004年10月10日，仙台市）口頭（一般）
アルツハイマー病の早期診断 · 早期治療 [第 19 回「大学と科学」公開シンポジウム「アルツハイマー病：治療の可能性を探る」]
（2004年10月30日 -- 2004年10月30日，福岡市）口頭（一般）
脳 · 老化と漢方医学 [第 125 回日本薬学会]
（2005年3月29日 -- 2005年3月29日，東京）口頭（一般）
高齢者神経 · 精神疾患と漢方治療 [第 47 回日本老年医学会総会]
（2005年6月1日 -- 2005年6月1日，東京）口頭（一般）
神経疾患治療薬としての漢方治療 [第 23 回日本神経治療学会総会]
（2005年6月9日 -- 2005年6月9日，鳥羽市）口頭（一般）
老年医療の Controversy「アルツハイマー病は、血管病か？」[第 47 回日本老年医学会総会]
（2005年6月17日 -- 2005年6月17日，東京）口頭（一般）
アルツハイマー病の早期診断 · 予防戦略を考える [第 13 回生体パーオキサイド研究会]
（2005年8月20日 -- 2005年8月20日，仙台市）口頭（一般）
認知症に挑む？ 周辺書状と抑肝散 [第 6 回沖縄「全人的医療」研究会]
（2006年1月12日 -- 2006年1月12日，那覇市）口頭（招待· 特別）
自分でやれる認知症 · 介護予防 [みやぎシニアカレッジアカデミー校終了式]
（2006年2月22日 -- 2006年2月22日，仙台市）口頭（招待· 特別）
認知症に挑む？ 東西医学の統合から？ [第 4 回 OSAKA 漢方研究会]
（2006年2月24日 -- 2006年2月24日，大阪市）口頭（招待· 特別）
TRP 受容体茂樹による高齢者誤嚥予防 [第 10 回静岡県高齢者医療セミナー]
（2006年3月10日 -- 2006年3月10日，静岡市）口頭（招待· 特別）
アルツハイマー病—Update—「基礎研究が臨床研究に語りかけるもの」[第 47 回日本神経学会総会]
（2006年5月12日 -- 2006年5月12日，東京）口頭（一般）
認知症に挑む？ 東西の医学の統合から？ [第 48 回日本老年医学会学術集会]
（2006年6月7日 -- 2006年6月7日，金沢市）シンポジウム· ワークショップ· パネル（指名）
軽度認知症患者に考慮すべき検査と治療 [第 48 回日本老年医学会学術集会]
（2006年6月7日 -- 2006年6月7日，金沢市）口頭（招待· 特別）
認知症に挑むー東西の医学の統合からー [第 48 回日本老年医学会]
（2006年6月7日 -- 2006年6月7日，金沢市）口頭（一般）
軽度認知症患者の検査と治療 [第 48 回日本老年医学会実践的教育企画]
（2006年6月7日 -- 2006年6月7日，金沢市）口頭（一般）
認知症に挑む？ 抑肝散と BPSD？ [新潟県漢方学術講演会]
（2006年6月17日 -- 2006年6月17日，新潟市）口頭（招待· 特別）
認知症の BPSD と ADL に対する抑肝散（TJ-54）の臨床効果 [第 57 回日本東洋医学会学術総会]
（2006年6月23日 -- 2006年6月23日，大阪市）シンポジウム· ワークショップ· パネル（指名）
認知症のＢＰＳＤとＡＤＬに対する抑肝散（ＴＪ—５４）の臨床効果 [第 57 回日本東洋医学会学術総会サテライトシンポジウム、第 22 回臨床東洋医学研究会]
（2006年6月23日 -- 2006年6月23日，大阪市）口頭（一般）
高齢者医療と漢方治療 [第 169 回内科懇話会]
（2006年7月7日 -- 2006年7月7日，仙台市）口頭（招待· 特別）

「高齢者神経・精神疾患と漢方治療」～認知症の周辺症状を改善する抑肝散～[H18 年度西播臨床漢方研究会]
（2006年7月29日 -- 2006年7月29日，姫路市）口頭（招待・特別）
高齢者統合医療と漢方医学 [石川県臨床内科医会　第 120 回中央地区研修会]
（2006年9月9日 -- 2006年9月9日，金澤氏）口頭（招待・特別）
高齢者医療のための老年医学概説 [第 19 回研修医勉強会]
（2006年9月19日 -- 2006年9月19日，仙台市）口頭（招待・特別）
老年科の役割と統合医療 [第 6 回老年診療の病身連携を考える会]
（2006年10月12日 -- 2006年10月12日，仙台市）口頭（招待・特別）
分子イメージング技術を用いたアルツハイマー病の診断・治療戦略 [東北大学イノベーションフェア]
（2006年10月18日 -- 2006年10月18日，仙台市）その他
認知症の早期診断と予防の可能性 [第 10 回広島臨床認知症研究会]
（2006年10月20日 -- 2006年10月20日，広島市）口頭（招待・特別）
認知症の漢方療法 [第 16 回日本臨床精神神経薬理学会]
（2006年10月27日 -- 2006年10月27日，北九州市）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
呆ける人呆けない人？ 自分でできる呆けの予防と発見 [十和田市市民健康講座]
（2006年10月28日 -- 2006年10月28日，十和田市）口頭（招待・特別）
認知症のバイオマーカー研究 [第 50 回 BNM 研究会]
（2006年11月17日 -- 2006年11月17日，東京都）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病と免疫応答 [第 19 回日本神経免疫学会シンポジウム]
（2007年4月11日 -- 2007年4月11日，金沢市）口頭（一般）
Alzheimer’s disease Neuroimaging Initiative とＭＣＩ [第 48 回日本神経学会シンポジウム７]
（2007年5月17日 -- 2007年5月17日，名古屋市）口頭（一般）
Neurology と漢方医学 [慈恵医大漢方研究会]
（2007年7月27日 -- 2007年7月27日，東京）口頭（一般）
後期かかりつけ医の認定公衆実施について [第 18 回日本老年医学会東北地方会]
（2007年9月15日 -- 2007年9月15日，山形市）口頭（招待・特別）
認知症周辺症状の抑肝散治療 [第 22 回日本老年精神医学会]
（2007年10月16日 -- 2007年10月16日，大阪市）その他
Mild cognitive impairment の多様性をめぐる問題点 [第 10 回日本神経精神医学会シンポジウム]
（2007年11月17日 -- 2007年11月17日，東京）口頭（一般）
認知症診療の現状と未来 [第 36 回生涯教育講演会]
（2007年11月18日 -- 2007年11月18日，長崎市）口頭（招待・特別）
長寿社会とアルツハイマー病 [第 93 回東北医学会総会教授就任記念講演会]
（2008年5月16日 -- 2008年5月16日，仙台市）口頭（招待・特別）
認知症の漢方治療 [第 16 回日本臨床精神神経薬理学会シンポジウム]
（2008年5月16日 -- 2008年5月16日，仙台市）口頭（一般）
長寿社会とアルツハイマー病 [第 93 回東北医学会総会　教授就任記念講演会]
（2008年5月16日 -- 2008年5月16日，仙台市）口頭（一般）
伝統医学のあるべきかたちとは― 世界の潮流と日本の役割― [第 59 回日本東洋医学会学術総会]
（2008年6月6日 -- 2008年6月6日，仙台市）口頭（招待・特別）
自分でできる認知症予防法 [第 60 回日本ビタミン学会]
（2008年6月13日 -- 2008年6月13日，仙台市）口頭（招待・特別）
長寿社会とアルツハイマー病 [平成 20 年度東北薬科大学ハイテクリサーチシンポジウム]
（2008年6月13日 -- 2008年6月13日，仙台市）口頭（招待・特別）
認知症の制圧に挑む [第 130 回　東北大学加齢医学研究所集団会]
（2008年6月28日 -- 2008年6月28日，仙台市）口頭（招待・特別）
高齢者医療と漢方 [第 29 回茨城県東洋医学研究会]
（2008年7月4日 -- 2008年7月4日，つくば市）口頭（招待・特別）
高齢者医療と漢方 [第 29 回茨城県東洋医学研究会学術講演会]
（2008年7月4日 -- 2008年7月4日，つくば市）口頭（招待・特別）
高齢者日常診療の留意点 [第 181 回内科懇話会]
（2008年7月9日 -- 2008年7月9日，仙台市）口頭（招待・特別）
認知症の制圧に挑む [高齢者プライマリケア講演会]
（2008年7月31日 -- 2008年7月31日，神戸市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病の制圧と東洋医学 [第 25 回和漢医薬学会]
（2008年8月30日 -- 2008年8月30日，大阪市）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
Neurology と漢方治療 [平安京漢方医学セミナー]
（2008年8月30日 -- 2008年8月30日，京都市）口頭（招待・特別）

日常診療に役立つ認知症の知識 [第 29 回宮城総合画像研究会]
（2008年9月5日 -- 2008年9月5日，仙台市）口頭（招待・特別）
認知症サポーター養成講座　「認知症を見つけて治療する」[第 27 回日本認知症学会]
（2008年10月12日 -- 2008年10月12日，前橋市）口頭（招待・特別）
認知症に挑む　東西医学の統合から [第 17 回日本神経外科漢方医学会学術集会]
（2008年11月8日 -- 2008年11月8日，東京都）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病の制圧とバイオマーカー開発　J-ADNI の展望 [加齢医学研究所 東京シンポジウム]
（2008年11月11日 -- 2008年11月11日，東京都）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病制圧とバイオマーカー開発　J-ADNI の展望 [第 9 回三浦半島認知症を考える会]
（2008年11月12日 -- 2008年11月12日）口頭（招待・特別）
今日から変わる！ 認知症との向き合い方 [KANPO フォーラム]
（2008年12月5日 -- 2008年12月5日，秋田市）口頭（招待・特別）
認知症に挑む？ 抑肝散と PBSD-[第 15 回岐阜東洋医学研究会]
（2009年1月15日 -- 2009年1月15日，岐阜市）口頭（招待・特別）
超高齢社会における探索的漢方医学研究 [第 3 回平安京漢方医学セミナー]
（2009年2月27日 -- 2009年2月27日，京都市）口頭（招待・特別）
日常診療で診る認知症 [医学放射線学会]
（2009年4月17日 -- 2009年4月17日，横浜市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病の診断と治療開発 [第 50 回日本神経学会総会]
（2009年5月21日 -- 2009年5月21日，仙台市）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
アルツハイマー病の早期診断をめぐって [青葉区認知症セミナー]
（2009年6月12日 -- 2009年6月13日，仙台市）口頭（招待・特別）
神経・精神症状とその対策 [第 51 回日本老年医学会学術集会]
（2009年6月18日 -- 2009年6月21日，横浜市）その他
老年医学教育：わが国における問題点と展望「医学教育モデル・コア・カリキュラムと老年医学教育」[第 51 回日本老年医学会学術集会]
（2009年6月18日 -- 2009年6月21日，横浜市）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
脳老化と認知症　？ 漢方医学の挑戦 [第 60 回日本東洋医学会学術総会]
（2009年6月20日 -- 2009年6月20日，東京都）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病バイオマーカー開発の現状と J-ADNI[第 6 回長岡認知症フォーラム]
（2009年8月21日 -- 2009年8月21日，長岡市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病バイオマーカー開発の現状と J-ADNI[第 2 回「アルツハイマー病の早期診断・治療・予防法の開発研究会]
（2009年9月11日 -- 2009年9月11日，名古屋市）口頭（招待・特別）
脳老化と認知症 [第 1 回加齢医学研究所　市民公開講座]
（2009年10月9日 -- 2009年10月9日，仙台市）口頭（招待・特別）
認知症医療の現状と J-ADNI[東北ブレインアタック]
（2009年10月24日 -- 2009年10月24日，仙台市）口頭（招待・特別）
私の認知症研究 [第 28 回日本認知症学会]
（2009年11月20日 -- 2009年11月21日，仙台市）その他
認知症研究の現状と課題 [第 12 回宮城神経内科医会学術講演会]
（2010年3月10日 -- 2010年3月10日，仙台市）口頭（招待・特別）
認知症診療の実践セミナー　高齢者医療における認知症の位置づけと BPSD への対応 [第 52 回日本老年医学会学術集会]
（2010年6月24日 -- 2010年6月26日，神戸市）口頭（招待・特別）
日常診療に役立つ実践的　高齢者医療の知識 [つくば老年医学セミナー]
（2010年7月2日 -- 2010年7月2日，つくば市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病発症前診断と根本治療 [第 4 回関西・中部認知症研究会]
（2010年9月18日 -- 2010年9月18日，大阪市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病バイオマーカー開発の現況と J-ADNI[第 1 回 Chiba Dementia Conference]
（2010年9月29日 -- 2010年9月29日）口頭（招待・特別）
臨床医から見た認知症医療の現状と課題 [第 15 回静岡健康長寿学術フォーラム]
（2010年10月15日 -- 2010年10月15日）口頭（招待・特別）
ここまできた認知症医療の進歩 [第 5 回東北大学病院市民公開講座]
（2010年10月17日 -- 2010年10月17日，仙台市）口頭（基調）
認知症治療における漢方的アプローチと EBM　「認知症の漢方治の EBM？ 漢方医学の挑戦」[第 31 回和漢医薬学総合研究所特別セミナー]
（2010年10月22日 -- 2010年10月22日）その他
EBM に基づいた認知症予防　高血圧治療と認知症予防 [第 29 回日本認知症学会学術集会]
（2010年11月5日 -- 2010年11月5日）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）

アルツハイマー病のバイオマーカー開発の現況と J-ADNI [第 6 回加齢医学研究会]
（2011年1月22日 -- 2011年1月22日）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病の制圧と最新医療　？ 未病性の検証から予防へ？ [老年期医療学術講演会]
（2011年2月10日 -- 2011年2月10日，米子市）口頭（招待・特別）
認知症医療の現状と展望 [会津医学会学術講演会]
（2011年3月9日 -- 2011年3月9日，会津若松市）口頭（招待・特別）
認知症と生活習慣　生活習慣病 [第 5 回日本認知症学会]
（2011年4月17日 -- 2011年4月17日）その他
開会の辞 [第 4 回宮城老年医療フォーラム]
（2011年6月4日 -- 2011年6月4日，仙台市）その他
認知症、うつとせん妄 [第 53 回日本老年医学会学術集会]
（2011年6月17日 -- 2011年6月17日，東京都）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
アルツハイマー病のバイオマーカー開発と治療戦略 [第 22 回神経内科認知症研究会]
（2011年6月29日 -- 2011年6月29日，名古屋市）口頭（招待・特別）
日常診療に役立つ認知症の知識 [三浦半島認知症病診連携会]
（2011年7月1日 -- 2011年7月1日）口頭（招待・特別）
認知症医療の最近の話題 [第 18 回みやぎ薬剤師学術研修会]
（2011年7月9日 -- 2011年7月9日，仙台市）口頭（招待・特別）
Near-infrared fluorescence probe X50 for in vivo detection of amyloid plaques in the brain. [2011 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD),]
（2011年7月16日 -- 2011年7月16日）口頭（一般）
Phenylquinoline derivatives for in vivo imaging of tau pathology in Alzheimer 's disease [2011 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD),]
（2011年7月16日 -- 2011年7月16日）口頭（一般）
PET imaging with BF-227 in dementia with Lewy bodies. [2011 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD),]
（2011年7月16日 -- 2011年7月16日）口頭（一般）
A modified method for 3D-SSP analyses of amyloid PET imaging. [2011 International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD),]
（2011年7月16日 -- 2011年7月16日）口頭（一般）
アルツハイマー病根本治療薬の開発と予防医学 [生体機能と創薬シンポジウム]
（2011年9月1日 -- 2011年9月1日）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病の制圧と最新医療 [認知症治療フォーラム]
（2011年9月1日 -- 2011年9月1日，東京都多摩市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病の制圧　？ バイオマーカーを基盤とした予防戦略 [第 1 回日本認知症予防学会学術集会]
（2011年9月10日 -- 2011年9月10日，米子市）口頭（招待・特別）
認知症包括的医療の課題　？ 発症前診断から終末期まで [第 1 回大阪老年病研究会]
（2011年9月29日 -- 2011年9月29日，大阪市）口頭（招待・特別）
日常診療に役立つ認知症の知識 [第 169 回三郡市医師会　合同学術講演会]
（2011年10月13日 -- 2011年10月13日）口頭（招待・特別）
バイオマーカーを基盤としたアルツハイマー病　臨床のパラダイムシフト [第 39 回ヒューマンサイエンス総合研究セミナー]
（2011年10月19日 -- 2011年10月19日）口頭（招待・特別）
根本治療薬時代を迎える認知症医療の課題 [第 51 回日本核医学学会学術総会]
（2011年10月28日 -- 2011年10月28日，つくば市）シンポジウム・ワークショップ・パネル（指名）
健康長寿診療ハンドブック [第 22 回日本老年医学会東北地方会]
（2011年10月29日 -- 2011年10月29日，弘前市）口頭（招待・特別）
日常診療に役立つ認知症の知識 [宮城県臨床内科医会学術講演会]
（2011年11月16日 -- 2011年11月16日，気仙沼市）口頭（招待・特別）
アルツハイマー病のバイオマーカー開発と治療戦略 [第 18 回日本未病システム学会学術総会]
（2011年11月19日 -- 2011年11月19日）口頭（招待・特別）
認知症対策からみた動脈硬化予防 [明日の動脈硬化予防を考えるシンポジウム]
（2011年11月22日 -- 2011年11月22日，仙台市）口頭（招待・特別）
[11C] BF-227 PET study in patients with dementia with Lewy bodies [SNM2012 annual meeting,]
（2012年6月9日 -- 2012年6月9日）口頭（一般）
Meet the Expert 認知・行動要害 [第 54 回 日本老年医学会学術集会]
（2012年6月28日 -- 2012年6月28日，東京）口頭（招待・特別）
高齢者の神経・精神症状とその対策 [第 54 回 日本老年医学会学術集会]
（2012年6月30日 -- 2012年6月30日，東京）その他

今後の認知症医療に期待あれる臨床検査技師　～ 認知症専門臨床検査技師育成に向けて ～ [第 7 回 日本臨床検査学教育学会学術大会]
（2012年8月24日 -- 2012年8月24日，名古屋）シンポジウム· ワークショップ· パネル（指名）
アルツハイマー病の治療薬開発最前線 [同志社大学大学院脳科学研究科快風館公開シンポジウム]
（2013年3月23日 -- 2013年3月23日，京都）口頭（一般）
Binding characterization of a novel PET tracer [18F] THK-5117 in Alzheimer ’s disease brain. [Alzheimer ’s Association International Conference (AAIC) 2013]
（2013年7月13日 -- 2013年7月13日）口頭（一般）
アルツハイマー病における薬物治療の進歩と将来展望 [第 23 回日本医療薬学学会年会]
（2013年9月21日 -- 2013年9月21日，仙台市）シンポジウム· ワークショップ· パネル（指名）
アルツハイマー病予防と先制医療構想 [第 3 回日本認知症予防学会学術集会]
（2013年9月27日 -- 2013年9月27日，新潟市）シンポジウム· ワークショップ· パネル（指名）
認知症治療の最前線ー症状改善薬と疾患修飾薬—[第 32 回日本認知症学会学術集会]
（2013年11月9日 -- 2013年11月9日，松本市）口頭（招待· 特別）
未病の視点からみるアルツハイマー病 [第 32 回日本認知症学会学術集会]
（2013年11月9日 -- 2013年11月9日，松本市）その他
アルツハイマー病ー先制医療構想とバイオマーカーの開発ー [第 28 回名古屋大学老年内科同門会]
（2013年11月16日 -- 2013年11月16日，名古屋市）口頭（招待· 特別）
東日本大震災から学ぶ内科学—高齢者疾患への対応と対策 [第 41 回内科学の展望]
（2013年12月1日 -- 2013年12月1日，仙台市）口頭（招待· 特別）
東日本大震災から学ぶ内科学ー 高齢者疾患への対応と対策 [第 41 回　内科学の展望]
（2013年12月1日 -- 2013年12月1日，仙台市）口頭（一般）
認知症の診断と治療 [日本老年医学会主催　高齢者医療研修会 ～ 座学研修会 ～]
（2014年2月22日 -- 2014年2月22日，東京）口頭（一般）
支部長報告 [第 25 回 日本老年医学会東北地方会]
（2014年10月12日 -- 2014年10月12日，福島市）口頭（一般）
外来で診る認知症診療の留意点 [宮城県認知症疾患医療センターかかりつけ医研修会]
（2014年10月18日 -- 2014年10月18日，石巻市）口頭（一般）
研修医のための老年医学講座 [第 2 回坂総合病院研修会]
（2015年6月30日 -- 2015年6月30日，塩釜市）口頭（一般）
「認知症の診断と治療」[第２６回日本老年医学会東北地方会]
（2015年10月24日 -- 2015年10月24日，仙台市）口頭（一般）
認知症の克服 - 今できることと今後考えるべきこと—[第 2 回全道認知症臨床研修会]
（2016年3月19日 -- 2016年3月19日，札幌市）口頭（一般）
アルツハイマー病と向き合う　公開シンポジウム“ イメージング技術が開拓する脳科学と認知症 ” [第 72 回日本顕微鏡学会]
（2016年6月16日 -- 2016年6月16日，仙台市）シンポジウム· ワークショップ· パネル（指名）
認知症予防を考える [日本認知症予防学会予防専門士スキルアップセミナー]
（2017年2月26日 -- 2017年2月26日，東京）その他
認知症の概念と疾患修飾薬開発 [第 35 回日本神経治療学会総会]
（2017年11月16日 -- 2017年11月16日，大宮市）口頭（一般）
軽度認知障害とプレクリニカル AD の概念 [第 36 回 日本認知症学会学術集会]
（2017年11月24日 -- 2017年11月24日，金沢市）口頭（一般）
アルツハイマー病早期診断と先制医療構想 [第 36 回日本認知症学会学術集会]
（2017年11月24日 -- 2017年11月24日，金沢市）口頭（一般）
MCI とプレクリニカル AD の概念について [第 8 回 日本認知症予防学会学術集会]
（2018年9月22日 -- 2018年9月22日，東京）口頭（一般）
認知症の理解と克服に向けて [第 37 回 日本認知症学会学術集会]
（2018年10月13日 -- 2018年10月13日，札幌市）口頭（一般）
アルツハイマー病の克服に向けて—東北大学における現況と進捗—[日本老年医学会 第 4 回 Geriatric Innovation Forum]
（2019年1月19日 -- 2019年1月19日，名古屋市）口頭（一般）
認知症克服へのイノベーション [第 61 回日本老年医学会学術集会]
（2019年6月7日 -- 2019年6月7日，仙台市）口頭（招待· 特別）
アルツハイマー病の理解と克服に向けて [第９回日本認知症予防学会学術集会]
（2019年10月18日 -- 2019年10月18日，名古屋市）口頭（招待· 特別）
軽度認知障害とプレクリニカルＡＤの概念 [第９回日本認知症学会学術集会]
（2019年11月7日 -- 2019年11月7日，東京）その他

国際会議　主催・運営

World Alzheimer's disease Neuroimaging initiative meeting, Co-organizer
（2009年11月22日 -- 2009年11月22日，日本国，仙台市）［主催］大会長

国内会議　主催・運営

The 7th WHO Clooaborating Center for Aging: International meeting on Complementary and Alternative Medicine
（2006年9月30日 -- 2006年10月1日，仙台市）［主催］大会長

日本補完・代替・伝統医療学会
（2007年12月1日 -- 2007年12月2日，宮城県松島）［主催］大会長

第 59 回日本東洋医学会学術総会
（2008年6月6日 -- 2008年6月8日，仙台市）［主催］大会長

第 28 回日本認知症学会学術集会
（2009年11月20日 -- 2009年11月22日，仙台市）［主催］大会長

第 26 回日本老年医学会 東北地方会
（2015年10月24日 -- 2015年10月25日）［主催］

第 19 回高齢者介護・看護・医療フォーラム
（2015年10月25日 -- 2015年10月25日）［主催］

第 6 回日本認知症予防学会学術集会
（2016年9月23日 -- 2016年9月25日）［主催］

第 61 回日本老年医学会学術集会
（2019年6月6日 -- 2019年6月8日）［主催］

学術受賞

東北脳血管障害懇話会　中村隆賞銀賞　1985年
［東北脳血管障害懇話会］

SANDZ 老年医学研究基金受賞　1994年
［SANDOZ 株式会社］

東北大学医学部奨学賞金賞　1996年
［東北大学］

笹川医学医療研究財団研究助成金受賞　1996年
［笹川医学医療研究財団］

日本老年医学会　優秀論文賞　1997年
［日本老年医学会］

American Geriatrics Society 国際ポスター Award　2012年
［Amecan Geriatrics Society］

日本認知症学会 学会賞　2013年
［日本認知症学会］

日本認知症学会 学会奨励賞　2014年
［日本認知症学会］

日本認知症学会 学会奨励賞　2015年
［日本認知症学会］

日本認知症予防学会 浦上賞　2015年
［日本認知症予防学会］

科学研究費補助金獲得実績（文科省・学振）

特定領域研究　2000年4月　― 2006年3月
［アルツハイマー病の遺伝子研究］

基盤研究 (C)　2001年4月　― 2003年3月
［アルツハイマー病の血液診断法の開発に関する研究］

基盤研究 (C)　2004年4月　― 2006年3月
［アルツハイマー病に対する漢方薬の効果：認知機能、日常活動作および脳血流への影響］

特定領域研究　2006年4月　― 2008年3月
［アミロイドβ蛋白凝集抑制作用を有するアルツハイマー病予防薬の開発］

CREST タイプ　2007年4月　― 2012年3月
［アルツハイマー病根本治療薬創出のための統合的研究］

その他の競争資金獲得実績

一般受託研究　2000年4月　― 2001年3月
［認知障害の診断と治療］

厚生労働科学研究費補助金　2000年4月 ― 2002年3月
[高齢者の摂食・嚥下障害に対する栄養摂取のあり方に関する研究]

一般受託研究　2001年4月 ― 2002年3月
[アルコール・薬物依存症の病態と治療に関する研究]

一般受託研究　2001年4月 ― 2003年3月
[医用工学研究による痴呆対策・創薬等推進事業]

厚生労働科学研究費補助金　2001年4月 ― 2004年3月
[介護予防に特化した在宅訪問指導プログラムの有効性評価に関する介入研究]

一般受託研究　2002年4月 ― 2003年3月
[生物学的診断マーカーを用いたアプローチ]

厚生労働科学研究費補助金　2002年4月 ― 2003年3月
[高齢者における安全な薬物療法の確立に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金　2002年4月 ― 2005年3月
[脳アミロイド画像法によるアルツハイマー病の早期診断と予防医学]

一般受託研究　2002年4月 ― 2005年3月
[アルコール薬物関連障害の病態と治療に関する総合的研究]

一般受託研究　2002年4月 ― 2005年3月
[アルツハイマー病の早期診断法の確立に関する研究]

一般受託研究　2003年4月 ― 2008年3月
[痴呆の克服]

一般受託研究　2004年4月 ― 2006年3月
[高機能脂値の開発]

厚生労働科学研究費補助金　2004年4月 ― 2006年3月
[ICD-10 分類に準拠した脳血管性痴呆の診断手順に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金　2005年4月 ― 2007年3月
[老年病における発症メカニズムの解明及び統合医療を目指した予防・治療法の開発に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金　2006年4月 ― 2007年3月
[認知症の総合的な予防・治療・介護の確立に関する研究]

長寿医療委託研究費　2006年4月 ― 2008年3月
[老年病における発症メカニズムの解明および統合医療を目指した予防・治療法の開発に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金　2007年4月 ― 2010年3月
[認知症の包括ケア提供体制の確立に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金　2007年4月 ― 2010年3月
[アルツハイマー病発症と進展の客観的評価法確率のための多施設縦断臨床研究：J-ANDI コアスタディ]

戦略的創造研究推進事業　2007年4月 ― 2012年3月
[アルツハイマー病根本治療薬創出のための統合的研究]

長寿医療委託研究費　2008年4月 ― 2009年3月
[認知症、運動器疾患等の長寿医療に係るネットワーク等社会基盤構築に関する研究]

一般受託研究　2008年4月 ― 2012年3月
[アリセプト特定しよう成績調査　高度アルツハイマー型認知症に対する/日投与の安全性及び有効性に関する調査]

共同研究費　2009年4月 ― 2012年3月
[アルツハイマー病脳初期病変とシナプス関連物質との関連‐マクロアレーを用いた解析‐]

厚生労働科学研究費補助金　2010年4月 ― 2012年3月
[J-ADNI コアスタディ：画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立]

一般受託研究　2010年4月 ― 2012年3月
[アリセプト特定使用成績調査]

厚生労働科学研究費補助金　2010年4月 ― 2013年3月
[漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病 BPSD 軽減効果の検証‐プラセボ対照無作為臨床第 2 相比較試験]

厚生労働科学研究費補助金 [J-ADNI コアスタディ：画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立]	2010年4月 ― 2013年3月
厚生労働科学研究費補助金 [高齢者に対する適切な医療提供に関する研究]	2010年4月 ― 2013年3月
一般受託研究 [アルツハイマー病診断体系実用化プロジェクト]	2010年4月 ― 2015年3月
一般受託研究 [ヤンセンファーマ]	2011年4月 ― 2012年3月
厚生労働科学研究費補助金 [高齢者の薬物治療の安全性に関する研究]	2013年4月 ― 2015年3月
臨床試験（治験、市販後臨床試験） [エーザイ (株)]	2013年4月 ― 2015年3月
厚生労働科学研究費補助金 [高齢者の薬物治療の安全性に関する研究]	2013年4月 ― 2016年3月
臨床試験（治験、市販後臨床試験） [サノフィアベンティス]	2013年10月 ― 2015年3月
臨床試験（治験、市販後臨床試験） [MSD(株)]	2014年4月 ― 2019年3月
一般受託研究 [無作為二重盲検法による抑肝散投与研究の東洋医学的検討の総合的助言]	2015年4月 ― 2019年3月
一般受託研究 [軽度認知障害患者の診断と登録]	2016年4月 ― 2017年4月
一般受託研究 [新規 Kir6.2 チャネル阻害薬によるアルツハイマー病治療薬の創製]	2017年4月 ― 2018年3月
一般受託研究 [新規アルツハイマー病根本治療薬の創出]	2019年2月 ― 現在
一般受託研究 [認知症プレクリニカル期・プロドローマル期を対象とするトライアルレディコホート構築研究]	2019年4月 ― 現在

著書

1) 脳虚血とフリーラジカル（執筆担当部分）pp93-98.［にゅーろん社, (1983)］

大友仁, 荒井啓行, 小暮久也, 中野稔

2) 活性酸素（執筆担当部分）pp259-274.［医師薬出版, (1987)］

荒井啓行, 小暮久也

3) 症例より学ぶ神経内科学（執筆担当部分）pp178-181.［医薬ジャーナル, (1996)］

金井裕子, 荒井啓行

4) Alzheimer 病における生物学的早期診断マーカーの確立.［[荒井啓行] , (1998)3 月］

荒井, 啓行

5) 新臨床医のための分子医学シリーズ/アルツハイマー病の新しい展開（執筆担当部分）pp148-167.［羊土社, (1999)］

荒井啓行, 岡村信行, 森川雄一, 樋口真人, 松井敏史, 田代学, 鈴木朋子, 丹治治子, 堀川悦夫, 田子裕子, 三浦雅一, 佐々木英忠

6) 生物学的指標を用いた老年期痴呆薬の選択とその臨床応用.［[荒井啓行] , (2000)3 月］

荒井, 啓行

7) 基礎と臨床（執筆担当部分）134-144.［中外医学社, (2001)］

山谷睦雄, 矢内勝, 大類孝, 荒井啓行, 佐々木英忠

8) アルコールと薬物依存関連問題診療ガイドライン.［(2002)］

齋藤秀和, 荒井啓行

9) アルツハイマー病の血液診断法の開発に関する研究. [[荒井啓行] , (2003)5 月]

荒井, 啓行

10) 神経（執筆担当部分）60-70. [Annual Review, (2004)]

丸山将浩, 岡村信行, 荒井啓行

11) 名医が語る最新医学. [実業之日本社, (2004)]

荒井啓行

12) アルツハイマー病はここまでわかった. [クバプロ, (2004)]

井原康夫, 荒井啓行

13) 老年期痴呆の克服をめざして. [医学書院, (2005)]

柳沢信夫

14) 高齢者の安全な薬物治療ガイドライン 2005. [Medical View 社, (2005)]

秋下雅弘, 荒井秀典, 荒井啓行, 植松考思, 岩崎鋼, 鈴木裕介, 寺本信嗣, 鳥羽研二, 永井茂, 堀江重郎, 丸山修, 水上勝義, 三田有実子, 森本茂人, 若月芳雄

15) アルツハイマー病に対する漢方薬の効果 : 認知機能、日常生活動作および脳血流への影響. [[荒井啓行] , (2006)5 月]

荒井, 啓行

16) 老年期認知症ナビゲーター. [メディカルレビュー社, (2006)9 月]

荒井, 啓行, 浦上, 克哉, 武田, 雅俊, 本間, 昭, 平井, 俊策

17) MCI を客観的に診断する必要性、軽度認知障害（MCI）. [中外医学社, (2007)]

朝田隆編集

18) 老年医学 Up date（執筆担当部分）121-126. [Medical View 社, (2007)]

荒井啓行　ほか

19) 朝日選書. [朝日新聞社, (2007)8 月]

「アルツハイマー病にならない」

20) アルツハイマー病にならない!. [朝日新聞社, (2007)8 月]

井原, 康夫, 荒井, 啓行

21) 系統看護学講座　専門分野 II　老年看護　病態・疾患論. [医学書院, (2008)5 月]

荒井啓行

22) 認知症テキストブック　日本認知症学会編. [中外医学社, (2008)5 月]

荒井啓行

23) 老年医学テキスト　日本老年医学会編. [Medical View 社, (2008)5 月]

荒井啓行

24) 新老年学第 3 版（執筆担当部分）p 501-509. [東京大学出版会, (2009)]

大内尉義, 秋山弘子, 折茂肇編集

25) 今日の治療指針（執筆担当部分）脳血管障害の合併症（誤嚥性肺炎を中心に）, 728-730. [医学書院, (2009)4 月]

医学書院 ed. 荒井啓行

26) 東北大学出版会（執筆担当部分）アルツハイマー病, 1-4. [東北大学出版会, (2009)4 月]

東京大学出版会 ed. 荒井啓行

27) 認知症疾患治療ガイドライン. [日本神経学会, (2010)]
荒井啓行　ほか

28) 知っているようで知らない医療用語小辞典. [ライフサイエンス社, (2011)]
三浦雅一監修

29) よく分かって役にたつ. [永井書店, (2011)]
平井俊策編集

30) EBM による老年医学領域の漢方の使い方. [ライフサイエンス, (2011)]
大内尉義監修　荒井啓行, 山崎都

31) 健康長寿診療ハンドブック. [Medical View 社, (2011)]
荒井啓行　ほか

32) 認知症学　上下刊. [日本臨床社, (2011)3 月]
荒井啓行 ed.

33) 神経疾患の最新の治療 2012-2014. [南江堂, (2012)]
荒井啓行　ほか

34) 高齢者のための薬の使い方　ストップとスタート. [(2013)]
秋下雅弘

35) 元気健康フェア よくわかる医療と健康の最新情報 2013（執筆担当部分）長寿社会と認知症　～ アルツハイマー病から脳を守る ～ . [河北新報社, (2013)]
荒井啓行　ほか

36) 老年医学系統講義テキスト. [(2013)4 月]
荒井啓行　ほか

37) 高齢者総合診療ノート第 2 版 加齢に伴う認知機能低下. [(2014)]
（分担執筆）

38) 老年看護病態 · 疾患論. [医学書院, (2014)1 月]
佐々木, 英忠, 鳥羽, 研二, 荒井, 啓行, 秋下, 雅弘

39) 高齢者総合診療ノート第 2 版（執筆担当部分）加齢に伴う認知機能低下. [日本医事新報社, (2014)2 月]
大庭健三

40) 老年看護　病態 · 疾患論. [(2014)4 月]
荒井啓行　ほか

41) 宮城の医療と健康 2014-2015（執筆担当部分）超高齢社会と認知症医療. [河北新報社, (2014)10 月]
荒井啓行　ほか

42) 神経疾患の最新の治療 2015-2017（執筆担当部分）アルツハイマー病. [南江堂, (2014)12 月]
小林祥泰, 水澤英洋, 山口修平

43) 老化生物学 老いと寿命のメカニズム—. [(2015)]
McDonald RB 著　近藤祥司監訳

44) 神経（執筆担当部分）脳型トランスフェリンの基礎と臨床. [Annual Review, (2015)]
星京香, 橋本康弘, 荒井啓行　ほか

45) 元気健康フェア　宮城の医療と健康 2015-2016（執筆担当部分）超高齢社会における認知症医療の課題. [河北新報社, (2015)10 月]
荒井啓行　ほか

46) 認知症予防専門士テキストブック（改訂版）. [(2017)]

日本認知症予防学会監修

47) 認知症疾患診療ガイドライン. [(2017)]

日本認知症予防学会監修

48) アルツハイマー病　図説　神経機能解剖テキスト. [(2017)3 月]

浦上克哉、北村　伸、小川敏英

49) 認知症の漢方治療　神経疾患最新の治療. [(2017)12 月]

水澤英洋、山口修平、園生雅弘

50) 改訂版　健康長寿診療ハンドブック. [メディカルレビュー社, (2019)]

荒井啓行　ほか

51) 元気健康フェア 宮城の医療と健康（執筆担当部分）今日から始めよう！ 認知症予防. [河北新報社, (2019)10 月]

荒井啓行　ほか

52) 系統看護学講座（執筆担当部分）老年看護. [医学書院, (2020)]

荒井啓行　ほか

研究論文

1) A CASE OF POISONING BY A MIXTURE OF METHANOL AND ETHYLENE-GLYCOL. [TOHOKU JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE, **141** (4), (1983), 473-480]

H ARAI, H IKEDA, M ICHIKI, M IINO, M KUMAI, M IKEDA

2) Weak chemiluminescence from infarcted rat brain and basic studies on the generation of chemiluminescence. [Brain and Nerve, **37** (1), (1985), 65-72]

H. Arai, K. Kogure

3) Free Radical Damage of the Brain Following Ischemia. [Progress in Brain Research, **63** (C), (1985), 237-259]

Kyuya Kogure, Hiroyuki Arai, Koji Abe, Minoru Nakano

4) Neurotransmitter abnormalities in the dementia of Alzheimer type. [Clinical Neurology, **26** (12), (1986), 1290-1293]

H. Sasaki, H. Arai

5) Nemaline myopathy diagnosed in an advanced age. Report of a case. [Clinical Neurology, **27** (11), (1987), 1423-1429]

H. Arai, K. Okamoto, H. Kanai, S. Hirai

6) A NEW AND SUITABLE RECONSTRUCTED SYSTEM FOR NADPH-DEPENDENT MICROSOMAL LIPID-PEROXIDATION. [BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS, **153** (3), (1988), 973-978]

H MINAKAMI, H ARAI, M NAKANO, K SUGIOKA, S SUZUKI, A SOTOMATSU

7) CHARACTERIZATION OF PHOSPHATE-UPTAKE IN PRIMARY CULTURES OF RAT HEPATOCYTES. [BIOCHEMISTRY INTERNATIONAL, **20** (3), (1990), 563-571]

H ARAI, WW WELLS

8) DEFINED NEUROFILAMENT, TAU-AMYLOID AND BETA-AMYLOID PRECURSOR PROTEIN EPITOPES DISTINGUISH ALZHEIMER FROM NON-ALZHEIMER SENILE PLAQUES. [PROCEEDINGS OF THE NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES OF THE UNITED STATES OF AMERICA, **87** (6), (1990), 2249-2253]

H ARAI, VMY LEE, L OTVOS, BD GREENBERG, DE LOWERY, SK SHARMA, ML SCHMIDT, JQ TROJANOWSKI

9) Vulnerability of the neuronal cytoskeleton in aging and Alzheimer disease: widespread involvement of all three major filament systems.. [Annu Rev Gerontol Geriatr, **10**, (1990), 167-182]

Trojanowski J Q, Schmidt M L, Otvos L Jr, Arai H, Hill W D, Lee V M

10) EXPRESSION PATTERNS OF BETA-AMYLOID PRECURSOR PROTEIN (BETA-APP) IN NEURAL AND NONNEURAL HUMAN TISSUES FROM ALZHEIMERS-DISEASE AND CONTROL SUBJECTS. [ANNALS OF NEUROLOGY, **30** (5), (1991), 686-693]

H ARAI, VMY LEE, ML MESSINGER, BD GREENBERG, DE LOWERY, JQ TROJANOWSKI

11) LEWY BODIES CONTAIN BETA-AMYLOID PRECURSOR PROTEINS OF ALZHEIMERS-DISEASE. [BRAIN RESEARCH, **585** (1-2), (1992), 386-390]

H ARAI, VMY LEE, WD HILL, BD GREENBERG, JQ TROJANOWSKI

12) EPITOPE ANALYSIS OF SENILE PLAQUE COMPONENTS IN THE HIPPOCAMPUS OF PATIENTS WITH PARKINSONS-DISEASE. [NEUROLOGY, **42** (7), (1992), 1315-1322]

H ARAI, ML SCHMIDT, VMY LEE, HI HURTIG, BD GREENBERG, CH ADLER, JQ TROJANOWSKI

13) CENTRAL-NERVOUS-SYSTEM LYMPHOMA PRESENTING WITH ATAXIC HEMIPARESIS - A CASE-REPORT. [CLINICAL NEUROLOGY AND NEUROSURGERY, **95** (2), (1993), 147-149]

H ARAI, K TOMIOKA, Y NAKAZATO

14) Creatine phosphokinase-linked immunoglobulin in a patient with hypokalemic myopathy. [European Neurology, **34** (2), (1994), 111-112]

Hiroyuki Arai, Tetsuo Sakamaki

15) EXPRESSION OF BETA-AMYLOID PRECURSOR PROTEIN IN THE DEVELOPING HUMAN SPINAL-CORD. [BRAIN RESEARCH, **642** (1-2), (1994), 132-136]

H ARAI, S HIGUCHI, S MATSUSHITA, T YUZURIHA, JQ TROJANOWSKI, VMY LEE

16) APOLIPOPROTEIN-E GENE IN PARKINSONS-DISEASE WITH OR WITHOUT DEMENTIA. [LANCET, **344** (8926), (1994), 889-889]

H ARAI, T MURAMATSU, S HIGUCHI, H SASAKI, JQ TROJANOWSKI

17) APOLIPOPROTEIN-E GENE IN DIFFUSE LEWY BODY DISEASE WITH OR WITHOUT COEXISTING ALZHEIMERS-DISEASE. [LANCET, **344** (8932), (1994), 1307-1307]

H ARAI, S HIGUCHI, T MURAMATSU, T IWATSUBO, H SASAKI, JQ TROJANOWSKI

18) APOLIPOPROTEIN-E EPSILON-4 ALLELE DISTRIBUTION IN ALCOHOLIC DEMENTIA AND IN ALZHEIMERS-DISEASE IN JAPAN. [ANNALS OF NEUROLOGY, **36** (5), (1994), 797-799]

T MURAMATSU, S HIGUCHI, H ARAI, H SASAKI, K YAMADA, M HAYASHIDA, JQ TROJANOWSKI

19) NICOTINE IMPROVES COGNITIVE DISTURBANCE IN SENESCENCE-ACCELERATED MICE. [PHARMACOLOGY BIOCHEMISTRY AND BEHAVIOR, **49** (3), (1994), 769-772]

K MEGURO, S YAMAGUCHI, H ARAI, T NAKAGAWA, C DOI, M YAMADA, Y IKARASHI, Y MARUYAMA, H SASAKI

20) Polymorphisms of dopamine receptor and transporter genes and Parkinson's disease. [JOURNAL OF NEURAL TRANSMISSION-PARKINSONS DISEASE AND DEMENTIA SECTION, **10** (2-3), (1995), 107-113]

S Higuchi, T Muramatsu, H Arai, M Hayashida, H Sasaki, JQ Trojanowski

21) Isolation of intramitochondrial helical filaments appearing in outer compartment of mitochondria.. [Anat Rec, **241** (2), (1995), 149-154]

Sasaki H, Kurioka S, Fukata H, Ohoki T, Arai H, Suzuki T

22) TAU IN CEREBROSPINAL-FLUID - A POTENTIAL DIAGNOSTIC MARKER IN ALZHEIMERS-DISEASE. [ANNALS OF NEUROLOGY, **38** (4), (1995), 649-652]

H ARAI, M TERAJIMA, L MIURA, S HIGUCHI, T MURAMATSU, N MACHIDA, H SEIKI, S TAKASE, CM CLARK, VMY LEE, JQ TROJANOWSKI, H SASAKI

23) Creatine phosphokinase-linked immunoglobulin associated with hypokalemic myopathy. [INTERNAL MEDICINE, **34** (12), (1995), 1210-1214]

J Hoshino, H Arai, T Fukusato, T Nakamura, N Nushiro, K Sato, T Sakamaki, K Murata

24) COGNITIVE FUNCTION IN RATS WITH ALCOHOL INGESTION. [PHARMACOLOGY BIOCHEMISTRY AND BEHAVIOR, **52** (4), (1995), 845-848]

H SASAKI, Y MATSUZAKI, T NAKAGAWA, H ARAI, M YAMAMA, K SEKIZAWA, Y IKARASHI, Y MARUYAMA

25) Tau protein in cerebrospinal fluid - A potential marker of Alzheimer's disease. [Japanese Journal of Geriatrics, **33** (9), (1996), 669-675]

H. Arai, K. Satoh, M. Terajima, T. Nakagawa, M. Higuchi, Y. I. Kosaka, C. Zhu, H. Sasaki

26) alpha(1)-Antichymotrypsin gene polymorphism and risk for Alzheimer's disease. [JOURNAL OF NEURAL TRANSMISSION, **103** (10), (1996), 1205-1210]

T Muramatsu, S Matsushita, H Arai, H Sasaki, S Higuchi

27) Quantification of striatal dopamine D2 receptors in normal aging and dementia using PET and [11C] YM-09151-2.. [CYRIC Annual Report, (1996), 186-190]

Higuchi M, Itoh M, Okamura N, Tashiro M, Arai H, Fujiwara T, Ido T, Sasaki H

28) Oral hygiene reduces respiratory infections in elderly bed-bound nursing home patients. [ARCHIVES OF GERONTOLOGY AND GERIATRICS, **22** (1), (1996), 11-19]

T Yoneyama, K Hashimoto, H Fukuda, M Ishida, H Arai, K Sekizawa, M Yamaya, H Sasaki

29) Differential subcellular localization of neural isoforms of the catalytic subunit of calmodulin-dependent protein phosphatase (calcineurin) in central nervous system neurons: Immunohistochemistry on formalin-fixed paraffin sections employing antigen retrieval by microwave irradiation. [JOURNAL OF HISTOCHEMISTRY & CYTOCHEMISTRY, **44** (1), (1996), 13-18]

N Usuda, H Arai, H Sasaki, T Hanai, T Nagata, T Muramatsu, RL Kincaid, S Higuchi

30) Temporal progression of hippocampal atrophy and apolipoprotein E gene in Alzheimer's disease. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **44** (2), (1996), 216-217]

S Yamaguchi, T Nakagawa, H Arai, H Sasaki, S Higuchi, JQ Trojanowski

31) Pupil dilatation assay by tropicamide is modulated by apolipoprotein E epsilon 4 allele dosage in Alzheimer's disease. [NEUROREPORT, **7** (4), (1996), 918-920]

H Arai, M Terajima, T Nakagawa, S Higuchi, H Mochizuki, H Sasaki

32) Presenilin-1 polymorphism and Alzheimer's disease. [LANCET, **347** (9009), (1996), 1185-1186]

C Bouras, P Giannakopoulos, J Schioi, N Tezapsidis, NK Robakis

33) Terminal care medical fees for older adults. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **44** (5), (1996), 611-612]

H Sasaki, K Sekizawa, H Arai, M Yanai, M Yamaya, T Ohrui

34) Lack of association of apolipoprotein E epsilon 4 allele with progressive supranuclear palsy. [NEURODEGENERATION, **5** (2), (1996), 194-195]

H Arai, S Higuchi, T Muramatsu, S Matsushita, S Itabashi, H Sasaki

35) Expression of apolipoprotein E in normal and diverse neurodegenerative disease brain. [NEUROREPORT, **7** (11), (1996), 1733-1739]

F Bao, H Arai, S Matsushita, S Higuchi, H Sasaki

36) S182 and STM2 gene missense mutations in sporadic Alzheimer disease. [AMERICAN JOURNAL OF MEDICAL GENETICS, **67** (4), (1996), 429-429]

S Higuchi, S Matsushita, Y Hasegawa, T Maramatsu, S Itabashi, H Arai

37) Will aging of the population make Japan less productive?. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **44** (8), (1996), 1013-1014]

H Sasaki, K Sekizawa, M Yanai, H Arai, M Yamaya, T Ohrui

38) Elevated cerebrospinal fluid tau levels: Implications for the early diagnosis of Alzheimer's disease. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **44** (8), (1996), 1012-1013]

M Terajima, H Arai, S Itabashi, M Higuchi, CQ Zhu, Y Kosaka, T Nakagawa, H Sasaki

39) APOE epsilon 4 allele in Alzheimer's and non-Alzheimer's dementias. [LANCET, **348** (9032), (1996), 960-961]

S Itabashi, H Arai, S Higuchi, H Sasaki, JQ Trojanowski

40) Levodopa and swallowing reflex. [LANCET, **348** (9037), (1996), 1320-1321]

H Kobayashi, T Nakagawa, K Sekizawa, H Arai, H Sasaki

41) Slowly progressive aphasia without dementia と思われる一例. . [臨床神経心理, (1996), 71-77]

島田真須美, 山口智, 早坂知佳, 中川琢磨, 石崎淳一, 中村貴志, 荒井啓行, 山崎英樹, 目黒謙一, 佐々木英忠

42) The apolipoprotein E gene in Binswanger's disease and vascular dementia. [CLINICAL GENETICS, **50** (6), (1996), 459-461]

S Higuchi, H Arai, T Nakagawa, T Muramatsu, H Sasaki, JQ Trojanowski

43) Elevated Cerebrospinal Fluid Tau Protein Level As A Predictor of Dementia in Memory-Impaired Individuals. [Alzheimer ' s Research, **3** (5), (1997), 211-213]

Arai H, Nakagawa T, Tashiro M

44) High incidence of pneumonia in elderly patients with basal ganglia infarction. [ARCHIVES OF INTERNAL MEDICINE, **157** (3), (1997), 321-324]

T Nakagawa, K Sekizawa, H Arai, R Kikuchi, K Manabe, H Sasaki

45) Elongation of life expectancy may accompany shift of medical cost to older adults. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **45** (2), (1997), 254-255]

H Sasaki, K Sekizawa, M Yanai, H Arai, M Yamaya, T Ohrui

46) Reduction of plasma glutamyl aminopeptidase activity in sporadic Alzheimer's disease. [BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS, **231** (3), (1997), 526-530]

T Kuda, M Shoji, H Arai, S Kawashima, TC Saido

47) Pupillary response to tropicamide in Japanese patients with alcoholic dementia, Alzheimer's disease, and vascular dementia. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **144** (1), (1997), 199-201]

S Higuchi, S Matsushita, Y Hasegawa, T Muramatsu, H Arai

48) The beta APP717 Alzheimer mutation increases the percentage of plasma amyloid-beta protein ending at A beta 42(43). [NEUROLOGY, **48** (3), (1997), 741-745]

T Kosaka, M Imagawa, K Seki, H Arai, H Sasaki, S Tsuji, A AsamiOdaka, T Fukushima, K Imai, T Iwatsubo

49) Disturbed consciousness and asthma. [LANCET, **349** (9052), (1997), 652-652]

T Ohrui, M Yamaya, H Arai, K Sekizawa, H Sasaki

50) Herpes simplex virus and risk of Alzheimer's disease - Reply. [LANCET, **349** (9058), (1997), 1101-1102]

RF Itzhaki, B Faragher

51) Medical costs for older people are not unfairly spent. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **45** (5), (1997), 657-657]

H Sasaki, K Sekizawa, M Yanai, H Arai, M Yamaya, T Ohrui

52) Apolipoprotein E epsilon 4 allele and pupillary response to tropicamide. [AMERICAN JOURNAL OF PSYCHIATRY, **154** (5), (1997), 694-696]

S Higuchi, S Matsushita, Y Hasegawa, T Muramatsu, H Arai, M Hayashida

53) Cerebrospinal fluid tau levels in neurodegenerative diseases with distinct tau-related pathology. [BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS, **236** (2), (1997), 262-264]

H Arai, Y Morikawa, M Higuchi, T Matsui, CM Clark, M Miura, N Machida, VMY Lee, JQ Trojanowski, H Sasaki

54) Microsatellite polymorphism in the human heme oxygenase-1 gene promoter and its application in association studies with Alzheimer and Parkinson disease. [HUMAN GENETICS, **100** (1), (1997), 145-147]

T Kimpara, A Takeda, K Watanabe, Y Itoyama, S Ikawa, M Watanabe, H Arai, H Sasaki, S Higuchi, N Okita, S Takase, H Saito, K Takahashi, S Shibahara

55) Regional cerebral glucose utilization is modulated by the dosage of apolipoprotein E type 4 allele and alpha(1)-antichymotrypsin type A allele in Alzheimer's disease. [NEUROREPORT, **8** (12), (1997), 2639-2643]

M Higuchi, H Arai, T Nakagawa, S Higuchi, T Muramatsu, S Matsushita, YI Kosaka, M Itoh, H Sasaki

56) Presenilin-1 polymorphism in Alzheimer's disease and vascular dementia. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **146** (2), (1997), 567-569]

S Matsushita, H Arai, T Muramatsu, K Makimoto, T Nakagawa, H Sasaki, S Higuchi

57) Postural and gait disturbance correlated with decreased frontal cerebral blood flow in Alzheimer disease. [ALZHEIMER DISEASE & ASSOCIATED DISORDERS, **11** (3), (1997), 132-139]

T Nakamura, K Meguro, H Yamazaki, H Okuzumi, A Tanaka, A Horikawa, K Yamaguchi, N Katsuyama, M Nakano, H Arai, H Sasaki

58) Effect of genetic risk factors and disease progression on the cerebrospinal fluid tau levels in Alzheimer's disease. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **45** (10), (1997), 1228-1231]

H Arai, M Terajima, M Miura, S Higuchi, T Muramatsu, S Matsushita, N Machida, T Nakagawa, VMY Lee, JQ Trojanowski, H Sasaki

59) The frequency of the methylenetetrahydrofolate reductase gene mutation varies with age in the normal population. [AMERICAN JOURNAL OF HUMAN GENETICS, **61** (6), (1997), 1459-1460]

S Matsushita, T Muramatsu, H Arai, T Matsui, S Higuchi

60) Brain mapping of the effects of aging on histamine H-1 receptors in humans: A PET study with [C-11] doxepin. [QUANTITATIVE FUNCTIONAL BRAIN IMAGING WITH POSITRON EMISSION TOMOGRAPHY, (1998), 207-214]

M Higuchi, M Itoh, K Yanai, N Okamura, A Yamaki, T Ido, H Arai, H Sasaki

61) Cerebrospinal fluid tau protein as a potential diagnostic marker in Alzheimer's disease. [NEUROBIOLOGY OF AGING, **19** (2), (1998), 125-126]

H Arai, CM Clark, DC Ewbank, S Takase, S Higuchi, M Miura, H Seki, M Higuchi, T Matsui, VMY Lee, JQ Trojanowski, H Sasaki

62) Survival of bed-ridden older patients. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **46** (3), (1998), 394-394]

Y Kosaka, T Nakagawa, T Matsui, H Arai, H Sasaki

63) Consensus report of the working group on: 'Molecular and biochemical markers of Alzheimer's disease'. [Neurobiology of Aging, **19** (2), (1998), 109-116]

Peter Davies, Judith Resnick, Burton Resnick, Sid Gilman, John Growdon, Zaven S. Khachaturian, Teresa S. Radebaugh, Allen D. Roses, Dennis J. Selkoe, John Q. Trojanowski, John P. Blass, Gary E. Gibson, K. F.R. Sheu, Kaj Blennow, Andre Delacourte, Giovanni B. Frisoni, Wilfred A. Jefferies, Amanda McRae, H. M. Wisniewski, P. D. Mehta, T. Pirttla, Ram Parshad, Leonard F. M. Scinto, Philip Scheltens, Paavo J. Riekkinen, Hilkka S. Soininen, Gregory R. J. Swanwick, Lars-Olof Wahlund, S. E. Arnold, Bengt Winblad, Yasuo Ihara, Tsuneo Yamazaki, Hiroyuki Arai, Christopher M. Clark, Douglas C. Ewbank, Sadao Takase, Susumu Higuchi, Masakazu Mirua, Hisatomo Seki, Makoto Higuchi, Toshifumi Matsui, Virginia M.-Y Lee, Hidetata Sasaki, Norman L. Foster, Douglas Galasko, Christoph Hock, Bradley T. Hyman, P. H. St. George-Hyslop, Takeshi Iwatsubo, Malcolm Kennard, William E. Klunk, Lars Lannfelt, Irene Litvan, Richard Mayeux, Alfredo Robles, V. A. Fabian, T. M. Jones, S. D. Wilton, J. E. Dench, M. R. Davis, L. Lim, B. A. Kakulas, M. L. Kennard, H. Feldman, T. Yamada, R. A. Sweet, G. S. Zubenko

64) Basic and clinical studies on the measurement of tau protein in cerebrospinal fluid as a biological marker for Alzheimer's disease and related disorders: Multicenter study in Japan. [METHODS AND FINDINGS IN EXPERIMENTAL AND CLINICAL PHARMACOLOGY, **20** (3), (1998), 227-235]

T Nishimura, M Takeda, Y Nakamura, Y Yosbida, H Arai, H Sasaki, M Shouji, S Hirai, K Khise, K Tanaka, M Hamamoto, H Yamamoto, T Matsubayashi, K Urakami, Y Adachi, K Nakashima, H Toji, S Nakamura, H Yoshida

65) Absence of association of alpha(1)-antichymotrypsin polymorphisms with Alzheimer's disease: A report on autopsy-confirmed cases. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **151** (2), (1998), 237-240]

S Itabashi, H Arai, T Matsui, S Matsushita, T Muramatsu, S Higuchi, JQ Trojanowski, H Sasaki

66) Longitudinal study of cerebrospinal fluid levels of tau, A beta 1-40, and A beta 1-42(43) in Alzheimer's disease: A study in Japan. [ANNALS OF NEUROLOGY, **44** (1), (1998), 17-26]

M Kanai, E Matsubara, K Isoe, K Urakami, K Nakashima, H Arai, H Sasaki, K Abe, T Iwatsubo, T Kosaka, M Watanabe, Y Tomidokoro, M Shizuka, K Mizushima, T Nakamura, Y Igeta, Y Ikeda, M Amari, T Kawarabayashi, K Ishiguro, Y Harigaya, K Wakabayashi, K Okamoto, S Hirai, M Shoji

67) Mutation in the alpha-synuclein gene and sporadic Parkinson's disease, Alzheimer's disease, and dementia with Lewy bodies. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **153** (1), (1998), 164-166]

S Higuchi, H Arai, S Matsushita, T Matsui, T Kimpara, A Takeda, K Shirakura

68) Basic and clinical studies on ApoE gene typing by line probe assay (LiPA) as a biological marker for Alzheimer's disease and related disorders: Multicenter study in Japan. [METHODS AND FINDINGS IN EXPERIMENTAL AND CLINICAL PHARMACOLOGY, **20** (9), (1998), 793-799]

T Nishimura, M Takeda, K Shinosaki, T Nishikawa, Y Nakamura, Y Yoshida, H Sasaki, H Arai, S Hirai, M Shouji, K Isse, K Tanaka, M Hamamoto, H Yamamoto, T Matsubayashi, K Nakashima, K Urakami, Y Adachi, S Nakamura, H Toji, H Yoshida

69) No increase in cerebrospinal fluid tau protein levels in patients with vascular dementia. [NEUROSCIENCE LETTERS, **256** (3), (1998), 174-176]

H Arai, T Satoh-Nakagawa, M Higuchi, Y Morikawa, M Miura, H Kawakami, H Seki, S Takase, H Sasaki

70) Relationship between cerebral glucose metabolism and CSF markers in neurodegenerative dementia.. [CYRIC Annual Report, (1999), 161-165]

Okamura N, Arai H, Higuchi M, Tashiro M, Matsui T, Hu XS, Itoh M

71) A comparison of tau protein in cerebrospinal fluid between corticobasal degeneration and progressive supranuclear palsy. [NEUROSCIENCE LETTERS, **259** (2), (1999), 127-129]

K Urakami, M Mori, K Wada, H Kowa, T Takeshima, H Arai, H Sasaki, M Kanai, M Shoji, K Ikemoto, M Morimatsu, C Hikasa, K Nakashima

72) Alteration in brain presenilin-1 mRNA expression in sporadic Alzheimer's disease. [EUROPEAN JOURNAL OF NEUROLOGY, **6** (2), (1999), 163-167]

K Isoe-Wada, K Urakami, Y Wakutani, Y Adachi, H Arai, H Sasaki, K Nakashima

73) Cerebrospinal fluid tau protein levels in demented and nondemented alcoholics. [ALCOHOLISM-CLINICAL AND EXPERIMENTAL RESEARCH, **23** (4), (1999), 575-577]

Y Morikawa, H Arai, S Matsushita, M Kato, S Higuchi, M Miura, H Kawakami, M Higuchi, N Okamura, M Tashiro, T Matsui, H Sasaki

74) Amantadine and pneumonia. [LANCET, **353** (9159), (1999), 1157-1157]

T Nakagawa, H Wada, K Sekizawa, H Arai, H Sasaki

75) Expression of human beta-defensin-1 in the choroid plexus. [ANNALS OF NEUROLOGY, **45** (5), (1999), 685-685]

K Nakayama, N Okamura, H Arai, K Sekizawa, H Sasaki

76) Phosphorylated tau in human cerebrospinal fluid is a diagnostic marker for Alzheimer's disease. [NEUROSCIENCE LETTERS, **270** (2), (1999), 91-94]

K Ishiguro, H Ohno, H Arai, H Yamaguchi, K Urakami, JM Park, K Sato, H Kohno, K Imahori

77) Longevity may decrease medical costs. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **47** (9), (1999), 1161-1162]

K Nakajoh, T Satoh-Nakagawa, H Arai, M Yanai, M Yamaya, H Sasaki

78) Cerebrospinal fluid levels of amyloid beta-peptide(1-42), but not tau have positive correlation with brain glucose metabolism in humans. [NEUROSCIENCE LETTERS, **273** (3), (1999), 203-207]

N Okamura, H Arai, M Higuchi, M Tashiro, T Matsui, M Itoh, T Iwatsubo, T Tomita, H Sasaki

79) Elevated levels of tau in cerebrospinal fluid: implications for the antemortem diagnosis of Alzheimer's disease elevated levels of tau in cerebrospinal fluid: implications for the antemortem diagnosis of Alzheimer's disease.. [J Alzheimers Dis, **1** (4 月 5 日), (1999), 297-305]

Trojanowski J Q, Clark C M, Arai H, Lee V M

80) [Pneumonia in the older people] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **36** (12), (1999), 835-843]

Yamatani M, Yauchi M, Ohrui K, Arai H, Sasaki H

81) A practical method to predict rate of cognitive decline in mild to moderate Alzheimer's disease. [NEUROLOGY, **53** (9), (1999), 2208-2209]

T Matsui, M Higuchi, N Okamura, H Arai, H Sasaki

82) Cerebrospinal fluid tau protein shows a better discrimination in young old (< 70 years) than in old old patients with Alzheimer's disease compared with controls. [NEUROSCIENCE LETTERS, **277** (1), (1999), 21-24]

KBN Buch, F Padberg, T Nolde, SJ Teipel, S Stubner, A Haslinger, MJ Schwarz, T Sunderland, H Arai, SI Rapoport, HJ Moller, H Hampel

83) No evidence of association between apolipoprotein E gene regulatory region polymorphism and Alzheimer's disease in Japanese. [JOURNAL OF NEURAL TRANSMISSION, **107** (12), (2000), 1449-1456]

M Kimura, S Matsushita, H Arai, T Matsui, T Yuzuriha, S Higuchi

84) Histamine H-1 receptors in patients with Alzheimer'sdisease assessed by positron emission tomography. [NEUROSCIENCE, **99** (4), (2000), 721-729]

M Higuchi, K Yanai, N Okamura, K Meguro, H Arai, M Itoh, R Iwata, T Ido, T Watanabe, H Sasaki

85) Rapid nonradioactive in-situ hybridization for mRNA detection of calcineurin in rat brain using PCR DNA probe. [Acta Histochemica et Cytochemica, **33** (2), (2000), 115-122]

Toshifumi Matsui, Nobuteru Usuda, Hiroyuki Arai, Ayami Nakazawa, Sachio Matsushita, Susumu Higuchi, Hidetada Sasaki

86) Regional Glucose Hypometabolism in Brain of patients with Dementia with Lewy Bodies and Alzheimer's disease.. [CYRIC Annual Report, (2000), 119-122]

Okamura N, Arai H, Higuchi M, Tashiro M, Maruyama M, Matsui T, Hu XS, Itoh M, Sasaki H

87) Assessment of Nigrostriatal Dopaminergic Function in Patients with dementia with Lewy Bodies.. [CYRIC Annual Report, (2000), 116-118]

Okamura N, Hu XS, Arai H, Maruyama M, Higuchi M, Tashiro M, Matsui T, Itoh M, sasaki H

88) Relation between incidence of pneumonia and protective reflexes in post-stroke patients with oral or tube feeding. [JOURNAL OF INTERNAL MEDICINE, **247** (1), (2000), 39-42]

K Nakajoh, T Nakagawa, K Sekizawa, T Matsui, H Arai, H Sasaki

89) Silent cerebral infarction: a potential risk for pneumonia in the elderly. [JOURNAL OF INTERNAL MEDICINE, **247** (2), (2000), 255-259]

T Nakagawa, K Sekizawa, K Nakajoh, H Tanji, H Arai, H Sasaki

90) [A new interventional strategy for Alzheimer's disease by Japanese herbal medicine] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **37** (3), (2000), 212-215]

Arai H, Suzuki T, Sasaki H, Hanawa T, Toriizuka K, Yamada H

91) alpha(2)-macroglobulin gene polymorphisms show racial diversity and are not associated with Alzheimer's disease. [NEUROREPORT, **11** (6), (2000), 1167-1171]

S Higuchi, S Matsushita, J Nakane, H Arai, T Matsui, K Urakami, T Yuzuriha, A Takeda

92) Glucose hypometabolism and neuropathological correlates in brains of dementia with Lewy bodies. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **162** (2), (2000), 247-256]

M Higuchi, M Tashiro, H Arai, N Okamura, S Hara, S Higuchi, M Itoh, RW Shin, JQ Trojanowski, H Sasaki

93) The effects of the traditional Chinese medicine, "Banxia Houpo Tang (Hange-Koboku To)" on the swallowing reflex in Parkinson's disease. [PHYTOMEDICINE, **7** (4), (2000), 259-263]

K Iwasaki, Q Wang, H Seki, K Satoh, A Takeda, H Arai, H Sasaki

94) Potentiation of brain acetylcholine neurons by Kami-Untan-To (KUT) in aged mice: Implications for a possible antidementia drug. [PHYTOMEDICINE, **7** (4), (2000), 253-258]

Q Wang, K Iwasaki, T Suzuki, H Arai, Y Ikarashi, T Yabe, K Toriizuka, T Hanawa, H Yamada, H Sasaki

95) Increased bilirubins and their derivatives in cerebrospinal fluid in Alzheimer's disease. [NEUROBIOLOGY OF AGING, **21** (4), (2000), 551-554]

T Kimpara, A Takeda, T Yamaguchi, H Arai, N Okita, S Takase, H Sasaki, Y Itoyama

96) The expression of presenilin 1 mRNA in skin fibroblasts and brains from sporadic Alzheimer's disease. [DEMENTIA AND GERIATRIC COGNITIVE DISORDERS, **11** (5), (2000), 245-250]

K Ikeda, K Urakami, H Arai, K Wada, Y Wakutani, Y Ji, Y Adachi, A Okada, H Kowa, H Sasaki, K Ohno, Y Ohtsuka, Y Ishikawa, K Nakashima

97) NOS3 polymorphism not associated with Alzheimer's disease in Japanese. [ANNALS OF NEUROLOGY, **48** (4), (2000), 685-685]

S Higuchi, S Ohta, S Matsushita, T Matsui, T Yuzuriha, K Urakami, H Arai

98) F-18-fluorodopa PET study of striatal dopamine uptake in the diagnosis of dementia with Lewy bodies. [NEUROLOGY, **55** (10), (2000), 1575-1576]

XS Hu, N Okamura, H Arai, M Higuchi, T Matsui, M Tashiro, M Shinkawa, M Itoh, T Ido, H Sasaki

99) CSF phosphorylated tau protein and mild cognitive impairment: a prospective study. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **166** (1), (2000), 201-203]

H Arai, K Ishiguro, H Ohno, M Moriyama, N Itoh, N Okamura, T Matsui, Y Morikawa, E Horikawa, H Kohno, H Sasaki, K Imahori

100) Sleep patterns and mortality among elderly patients in a geriatric hospital. [GERONTOLOGY, **46** (6), (2000), 318-322]

K Manabe, T Matsui, M Yamaya, T Sato-Nakagawa, N Okamura, H Arai, H Sasaki

101) アルツハイマー型痴呆の克服をめざして IMP-SPECT 脳血流画像を用いた Mild Cognitive Impairment の進行予測. [日本老年医学会雑誌, **37** (12), (2000), 974-978]

岡村 信行, 新川 光俊, 荒井 啓行, 松井 敏史, 中條 和志, 丸山 将浩, 胡 夏生, 佐々木 英忠

102) Parkinson's disease and impaired chemosensitivity to hypoxia. [LANCET, **356** (9247), (2000), 2100-2100]

A Kanda, S Ebihara, H Arai, A Takeda, H Sasaki

103) Brain penetration of ebastine evaluated in human by positron emission tomography (PET). [HISTAMINE RESEARCH IN THE NEW MILLENNIUM, **1224**, (2001), 137-146]

M Tagawa, K Yanai, M Kano, N Okamura, M Higuchi, M Matsuda, Y Mizuki, R Iwata, H Arai, T Fujii, T Ido, M Itoh, H Sasaki, T Watanabe

104) Diagnostic significance of tau protein in cerebrospinal fluid from patients with corticobasal degeneration or progressive supranuclear palsy. [JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, **183** (1), (2001), 95-98]

K Urakami, K Wada, H Arai, H Sasaki, M Kanai, M Shoji, H Ishizu, K Kashihara, M Yamamoto, K Tsuchiya-Ikemoto, M Morimatsu, H Takashima, M Nakagawa, K Kurokawa, H Maruyama, Y Kaseda, S Nakamura, K Hasegawa, H Oono, C Hikasa, K Ikeda, K Yamagata, Y Wakutani, T Takeshima, K Nakashima

105) No evidence of association between a dopamine transporter gene polymorphism (1215A/G) and Parkinson's disease. [ANNALS OF NEUROLOGY, **49** (2), (2001), 276-277]

M Kimura, S Matsushita, H Arai, A Takeda, S Higuchi

106) [F-18] FDG-PET study in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease. [PROGRESS IN NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY & BIOLOGICAL PSYCHIATRY, **25** (2), (2001), 447-456]

N Okamura, H Arai, M Higuchi, M Tashiro, T Matsui, XS Hu, A Takeda, M Itoh, H Sasaki

107) Localization of calcineurin in the mature and developing retina. [JOURNAL OF HISTOCHEMISTRY & CYTOCHEMISTRY, **49** (2), (2001), 187-195]

A Nakazawa, N Usuda, T Matsui, T Hanai, S Matsushita, H Arai, H Sasaki, S Higuchi

108) High expression of apolipoprotein e mRNA in the brains with sporadic Alzheimer's disease. [DEMENTIA AND GERIATRIC COGNITIVE DISORDERS, **12** (2), (2001), 57-62]

K Yamagata, K Urakami, K Ikeda, Y Ji, Y Adachi, H Arai, H Sasaki, K Sato, K Nakashima

109) Matrix metalloproteinase (MMP) system in brain: identification and characterization of brain-specific MMP highly expressed in cerebellum. [EUROPEAN JOURNAL OF NEUROSCIENCE, **13** (5), (2001), 935-948]

Y Sekine-Aizawa, E Hama, K Watanabe, S Tsubuki, M Kanai-Azuma, Y Kanai, H Arai, H Aizawa, N Iwata, TC Saido

110) Cathepsin D polymorphism not associated with Alzheimer's disease in Japanese. [ANNALS OF NEUROLOGY, **49** (4), (2001), 544-545]

T Matsui, Y Morikawa, M Tojo, N Okamura, M Maruyama, H Hirai, H Chiba, S Matsushita, S Higuchi, H Arai, H Sasaki

111) Elevated plasma homocysteine levels and risk of silent brain infarction in elderly people. [STROKE, **32** (5), (2001), 1116-1119]

T Matsui, H Arai, T Yuzuriha, H Yao, M Miura, S Hashimoto, S Higuchi, S Matsushita, M Morikawa, A Kato, H Sasaki

112) Antithrombotic therapy for prevention of pneumonia. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **49** (5), (2001), 687-688]

M Yamaya, M Yanai, T Ohrui, H Arai, K Sekizawa, H Sasaki

113) No association between DLST gene and Alzheimer's disease or Wernicke-Korsakoff syndrome. [NEUROBIOLOGY OF AGING, **22** (4), (2001), 569-574]

S Matsushita, H Arai, T Yuzuriha, M Kato, T Matsui, K Urakami, S Higuchi

114) Large-scale, multicenter study of cerebrospinal fluid tau protein phosphorylated at serine 199 for the antemortem diagnosis of Alzheimer's disease. [ANNALS OF NEUROLOGY, **50** (2), (2001), 150-156]

N Itoh, H Arai, K Urakami, K Ishiguro, H Ohno, H Hampel, K Buerger, J Wiltfang, M Otto, H Kretzschmar, HJ Moeller, M Imagawa, H Kohno, K Nakashima, S Kuzuhara, H Sasaki, K Imahori

115) Risk factors of aspiration pneumonia in Alzheimer's disease patients. [GERONTOLOGY, **47** (5), (2001), 271-276]

H Wada, K Nakajoh, T Satoh-Nakagawa, T Suzuki, T Ohrui, H Arai, H Sasaki

116) [The prevention of pneumonia in the elderly by dopamine agonists] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **38** (6), (2001), 778-779]

Satou T, Wada H, Arai H, Sasaki H

117) Relationship between trait anxiety, brain activity and natural killer cell activity in cancer patients: A preliminary pet study. [PSYCHO-ONCOLOGY, **10** (6), (2001), 541-546]

M Tashiro, M Itoh, K Kubota, H Kumano, MM Masud, E Moser, H Arai, H Sasaki

118) Neuroimaging of histamine H-1-receptor occupancy in human brain by positron emission tomography (PET): A comparative study of ebastine, a second-generation antihistamine, and (+)-chlorpheniramine, a classical antihistamine. [BRITISH JOURNAL OF CLINICAL PHARMACOLOGY, **52** (5), (2001), 501-509]

M Tagawa, M Kano, N Okamura, M Higuchi, M Matsuda, Y Mizuki, H Arai, R Iwata, T Fujii, S Komemushi, T Ido, M Itoh, H Sasaki, T Watanabe, K Yanai

119) Folate deficiency and risk of pneumonia in older people. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **49** (12), (2001), 1739-1740]

E Sato, T Ohrui, T Matsui, H Arai, H Sasaki

120) Serum cholesterol and cerebrospinal fluid amyloid beta protein in Alzheimer's disease. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **49** (12), (2001), 1738-1739]

N Okamura, H Arai, M Maruyama, T Matsui, H Tanji, H Sasaki, H Yoshida, M Sugita

121) Cerebrospinal fluid amyloid beta(1-42) levels in the mild cognitive impairment stage of Alzheimer's disease. [EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **172** (2), (2001), 433-436]

M Maruyama, H Arai, M Sugita, H Tanji, M Higuchi, N Okamura, T Matsui, S Higuchi, S Matsushita, H Yoshida, H Sasaki

122) An approach to establish antemortem diagnosis of dementia with Lewy bodies. [CATECHOLAMINE RESEARCH: FROM MOLECULAR INSIGHTS TO CLINICAL MEDICINE, **53**, (2002), 525-528]

H Arai, M Higuchi, N Okamura, XS Hu, T Matsui, H Sasaki

123) Neurochemical regulation of cough response to capsaicin in guinea-pigs. [Autonomic and Autacoid Pharmacology, **22** (1), (2002), 57-63]

J. Q. Li, Y. X. Jia, M. Yamaya, H. Arai, T. Ohrui, K. Sekizawa, H. Sasaki

124) Differential cognitive effects of ebastine and (+)-chlorpheniramine in healthy subjects: correlation between cognitive impairment and plasma drug concentration.. [Br J Clin Pharmacol, **53** (3), (2002), 296-304]

Tagawa Masaaki, Kano Michiko, Okamura Nobuyuki, Higuchi Makoto, Matsuda Michiaki, Mizuki Yasuyuki, Arai Hiroyuki, Fujii Toshihiko, Komemushi Sadao, Itoh Masatoshi, Sasaki Hidetada, Watanabe Takehiko, Yanai Kazuhiko

125) Combined Analysis of CSF Tau Levels and [(123)I] Iodoamphetamine SPECT in Mild Cognitive Impairment: Implications for a Novel Predictor of Alzheimer's Disease.. [Am J Psychiatry, **159** (3), (2002), 474-476]

Okamura Nobuyuki, Arai Hiroyuki, Maruyama Masahiro, Higuchi Makoto, Matsui Toshifumi, Tanji Haruko, Seki Takashi, Hirai Hisao, Chiba Hiroshi, Itoh Masatoshi, Sasaki Hidetada

126) Sitting position to prevent aspiration in bed-bound patients. [GERONTOLOGY, **48** (3), (2002), 194-195]

T Matsui, M Yamaya, T Ohrui, H Arai, H Sasaki

127) Cerebrospinal fluid tau in dementia disorders: a large scale multicenter study by a Japanese study group. [NEUROBIOLOGY OF AGING, **23** (3), (2002), 363-370]

M Shoji, E Matsubara, T Murakami, Y Manabe, K Abe, M Kanai, M Ikeda, Y Tomidokoro, M Shizuka, M Watanabe, M Amari, K Ishiguro, T Kawarabayashi, Y Harigaya, K Okamoto, T Nishimura, Y Nakamura, M Takeda, K Urakami, Y Adachi, K Nakashima, H Arai, H Sasaki, K Kanemaru, H Yamanouchi, Y Yoshida, K Ichise, K Tanaka, M Hamamoto, H Yamamoto, T Matsubayashi, H Yoshida, H Toji, S Nakamura, S Hirai

128) Relationship between asthma severity and progression of Alzheimer's disease. [THORAX, **57** (6), (2002), 561-561]

T Ohrui, H Arai, M Ichinose, T Matsui, M Yamaya, H Sasaki

129) Differential diagnosis of Alzheimer disease with cerebrospinal fluid levels of tau protein phosphorylated at threonine 231. [ARCHIVES OF NEUROLOGY, **59** (8), (2002), 1267-1272]

K Buerger, R Zinkowski, SJ Teipel, T Tapiola, H Arai, K Blennow, N Andreasen, K Hofmann-Kiefer, J DeBernardis, D Kerkman, C McCulloch, R Kohnken, F Padberg, T Pirttila, MB Schapiro, SI Rapoport, HJ Moller, P Davies, H Hampel

130) CSF tau protein phosphorylated at threonine 231 correlates with cognitive decline in MCI subjects. [NEUROLOGY, **59** (4), (2002), 627-629]

K Buerger, SJ Teipel, R Zinkowski, K Blennow, H Arai, R Engel, K Hofmann-Kiefer, C McCulloch, U Ptok, R Heun, N Andreasen, J DeBernardis, D Kerkman, HJ Moeller, P Davies, H Hampel

131) A clinical and neuropathological study of an unusual case of sporadic tauopathy. A variant of corticobasal degeneration?. [NEUROSCIENCE LETTERS, **330** (1), (2002), 84-88]

S Ohara, J Tsuyuzaki, T Oide, H Arai, S Higuchi, M Hasegawa, T Iwatsubo

132) Clinical and biomarker investigation of a patient with a novel presenilin-1 mutation (A431V) in the mild cognitive impairment stage of Alzheimer's disease. [BIOLOGICAL PSYCHIATRY, **52** (9), (2002), 907-910]

S Matsushita, H Arai, N Okamura, T Ohmori, K Takasugi, T Matsui, M Maruyama, T Iwatsubo, S Higuchi

133) Neuroanatomical correlates of low body weight in Alzheimer's disease: a PET study.. [Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry, **26** (7月8日), (2002), 1285-1289]

Hu XiaSheng, Okamura Nobuyuki, Arai Hiroyuki, Higuchi Makoto, Maruyama Masahiro, Itoh Masatoshi, Yamaguchi Keiichro, Sasaki Hidetada

134) Cerebrovascular disease and pneumonia in the elderly. [Japanese Journal of Geriatrics, **40** (4), (2003), 325-328]

Toshifumi Matsui, Takae Ebihara, Takashi Ohrui, Mutsuo Yamaya, Hiroyuki Arai, Hidetada Sasaki

135) Differentiation of geriatric major depression from Alzheimer's disease with CSF tau protein phosphorylated at threonine 231. [AMERICAN JOURNAL OF PSYCHIATRY, **160** (2), (2003), 376-379]

K Buerger, R Zinkowski, SJ Teipel, H Arai, J DeBernardis, D Kerkman, C McCulloch, F Padberg, F Faltraco, A Goernitz, T Tapiola, SI Rapoport, T Pirttila, HJ Moller, H Hampel

136) Periventricular white matter lesions and sleep alteration in older people. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **51** (3), (2003), 432-433]

A Kanda, T Matsui, S Ebihara, H Arai, H Sasaki

137) Classification of the dementias. [LANCET, **361** (9364), (2003), 1227-1228]

H Arai, T Matsui, M Maruyama, N Okamura, H Sasaki

138) Acupuncture and swallowing reflex in poststroke patients. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **51** (5), (2003), 726-727]

T Seki, M Kurusu, H Tanji, H Arai, H Sasaki

139) Biochemical and ultrastructural study of neurofibrillary tangles in amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism-dementia complex in the Kii peninsula of Japan. [JOURNAL OF NEUROPATHOLOGY AND EXPERIMENTAL NEUROLOGY, **62** (7), (2003), 791-798]

N Itoh, K Ishiguro, H Arai, Y Kokubo, R Sasaki, Y Narita, S Kuzuhara

140) Association between a polymorphism of brain-derived neurotrophic factor gene and sporadic Parkinson's disease. [ANNALS OF NEUROLOGY, **54** (2), (2003), 276-277]

T Masaki, S Matsushita, H Arai, A Takeda, Y Itoyama, H Mochizuki, K Kamakura, S Ohara, S Higuchi

141) 新規化合物 BF-168 のアミロイドイメージング用プローブとしての有効性の検討. [Dementia Japan, **17** (2), (2003), 166-166]

岡村信行, 末元隆寛, 鈴木雅子, 塩満剛, 島津浩, 赤津裕康, 山本孝之, 谷内一彦, 荒井啓行, 工藤幸司, 澤田徹

142) Impaired efficacy of cough in patients with Parkinson disease. [CHEST, **124** (3), (2003), 1009-1015]

S Ebihara, H Saito, A Kanda, M Nakajoh, H Takahashi, H Arai, H Sasaki

143) Biomarkers in subjects with amnestic mild cognitive impairment. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **51** (11), (2003), 1671-1672]

M Maruyama, H Arai, M Ootsuki, N Okamura, T Matsui, H Sasaki, T Yamazaki, T Kaneta

144) Laboratory and imaging studies for the diagnosis of prion disease. [Clinical Neurology, **43** (11), (2003), 810-812]

Yusei Shiga, Koichi Miyazawa, Atsushi Takeda, Hiroyuki Arai, Katsumi Doh-Ura, Yasuto Itoyama

145) Role of chronic sinusitis in cognitive functioning in the elderly. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **51** (12), (2003), 1818-1819]

T Matsui, H Arai, M Nakajo, M Maruyama, S Ebihara, H Sasaki, M Nakajo, Y Yoshida

146) Cerebrospinal fluid tau and beta-amyloid - How well do these biomarkers reflect autopsy-confirmed dementia diagnoses?. [ARCHIVES OF NEUROLOGY, **60** (12), (2003), 1696-1702]

CM Clark, S Xie, J Chittams, D Ewbank, E Peskind, D Galasko, JC Morris, DW McKeel, M Farlow, SL Weitlauf, J Quinn, J Kaye, D Knopman, H Arai, RS Doody, C DeCarli, S Leight, VMY Lee, JQ Trojanowski

147) Effect of Kami-Untan-To on the impairment of learning and memory induced by thiamine-deficient feeding in mice. [NEUROSCIENCE, **125** (1), (2004), 233-241]

O Nakagawasai, F Yamaderea, K Iwasaki, H Arai, R Taniguchi, K Tan-no, H Sasaki, T Tadano

148) [Dementia symptoms by electrolyte imbalance] . [Nippon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **62 Suppl**, (2004), 404-408]

Arai H, Sato-Nakagawa T

149) Styrylbenzoxazole derivatives for in vivo imaging of amyloid plaques in the brain. [JOURNAL OF NEUROSCIENCE, **24** (10), (2004), 2535-2541]

N Okamura, T Suemoto, H Shimadzu, M Suzuki, T Shiomitsu, H Akatsu, T Yamamoto, M Staufenbiel, K Yanai, H Arai, H Sasaki, Y Kudo, T Sawada

150) Discussions on phosphorylated tau and other biochemical markers. [Psychogeriatrics : the official journal of the Japanese Psychogeriatric Society, **4** (0), (2004), 45]

URAKAMI, Katsuya, ISHIGURO, Koichi, SAIDO, Takaomi C, IWATSUBO, Takeshi, OKAMURA, Nobuyuki, ITO, Nobuo, KANEMARU, Kazutomi, TAMAOKA, Akira, HASEGAWA, Masato, SHOJI, Mikio, TAKASHIMA, Akihiko, HAMAMOTO, Makoto, MATSUDA, Kazunori, ARAI, Hiroyuki, TAKEDA, Masatoshi

151) A novel imaging probe for in vivo detection of neuritic and diffuse amyloid plaques in the brain.. [J Mol Neurosci, **24** (2), (2004), 247-255]

Okamura Nobuyuki, Suemoto Takahiro, Shiomitsu Tsuyoshi, Suzuki Masako, Shimadzu Hiroshi, Akatsu Hiroyasu, Yamamoto Takayuki, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada, Yanai Kazuhiko, Staufenbiel Matthias, Kudo Yukitsuka, Sawada Tohru

152) [Mild cognitive impairment (MCI)–diagnosis and differential diagnosis] . [Nippon Rinsho, **62 Suppl 4**, (2004), 287-292]

Higuchi Makoto, Arai Hiroyuki, Maruyama Masahiro, Sasaki Hidetada, Okumura Nobuyuki

153) Angiotensin-converting enzyme inhibitors and incidence of Alzheimer's disease in Japan. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **52** (4), (2004), 649-650]

T Ohrui, T Matsui, M Yamaya, H Arai, S Ebihara, M Maruyama, H Sasaki

154) Aspiration pneumonia and insular hypoperfusion in patients with cerebrovascular disease. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **52** (4), (2004), 645-646]

N Okamura, M Maruyama, T Ebihara, T Matsui, M Nemoto, H Arai, H Sasaki, K Yanai

155) Acupuncture for gait disorders in the elderly. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **52** (4), (2004), 643-644]

T Seki, M Kurusu, H Arai, H Sasaki

156) Cerebrospinal fluid tau protein and periventricular white matter lesions in patients with mild cognitive impairment: implications for 2 major pathways.. [Arch Neurol, **61** (5), (2004), 716-720]

Maruyama Masahiro, Matsui Toshifumi, Tanji Haruko, Nemoto Miyako, Tomita Naoki, Ootsuki Mari, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada

157) Arg(184)His mutant GTP cyclohydrolase I, causing recessive hyperphenylalaninemia, is responsible for dopa-responsive dystonia with parkinsonism: a case report.. [Mov Disord, **19** (5), (2004), 590-593]

Kikuchi Akio, Takeda Atsushi, Fujihara Kazuo, Kimpara Teiko, Shiga Yusei, Tanji Hiroaki, Nagai Makiko, Ichinose Hiroshi, Urano Fumi, Okamura Nobuyuki, Arai Hiroyuki, Itoyama Yasuto

158) [Incidence of adverse drug reactions in geriatric wards of university hospitals] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **41** (3), (2004), 303-306]

Akishita Masahiro, Teramoto Shinji, Arai Hidenori, Arai Hiroyuki, Mizukami Katsuyoshi, Morimoto Shigeto, Toba Kenji

159) [Current therapies in dementia] . [Nippon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics, **41** (3), (2004), 310-313]

Arai H

160) Increased plasma 8-isoprostane levels in hypertensive subjects: the Tsurugaya Project.. [Hypertens Res, **27** (8), (2004), 557-561]

Hozawa Atsushi, Ebihara Satoru, Ohmori Kaori, Kuriyama Shinichi, Ugajin Takashi, Koizumi Yayoi, Suzuki Yoshinori, Matsui Toshifumi, Arai Hiroyuki, Tsubono Yoshitaka, Sasaki Hidetada, Tsuji Ichiro

161) A randomized, double-blind, placebo-controlled clinical trial of the Chinese herbal medicine "ba wei di huang wan" in the treatment of dementia.. [J Am Geriatr Soc, **52** (9), (2004), 1518-1521]

Iwasaki Koh, Kobayashi Seiichi, Chimura Yuri, Taguchi Mayumi, Inoue Kazumi, Cho Shigehumi, Akiba Tetsuo, Arai Hiroyuki, Cyong Jong-Chol, Sasaki Hidetada

162) Effects of brain-penetrating ACE inhibitors on Alzheimer disease progression. [NEUROLOGY, **63** (7), (2004), 1324-1325]

T Ohrui, N Tomita, T Sato-Nakagawa, T Matsui, M Maruyama, K Niwa, H Arai, H Sasaki

163) Plasma Homocysteine and Risk of Coexisting Silent Brain Infarction in Alzheimer's Disease. [NEURODEGENERATIVE DISEASES, **2** (6), (2005), 299-304]

Toshifumi Matsui, Miyako Nemoto, Masahiro Maruyama, Takefumi Yuzuriha, Hiroshi Yao, Haruko Tanji, Mari Ootsuki, Naoki Tomita, Sachio Matsushita, Susumu Higuchi, Yo-ichi Yoshida, Takashi Seki, Koh Iwasaki, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

164) The heterogeneity and natural history of mild cognitive impairment [1] (multiple letters). [Archives of Neurology, **62** (1), (2005), 163-164]

Giovanni B. Frisoni, Cristina Geroldi, Giuliano Binetti, Orazio Zanetti, Hiroyuki Arai, Masahiro Maruyama

165) A comparison of human observers and a channelized hotelling observer in discriminating between Alzheimer's Dementia and controls using brain perfusion SPECT. [IEEE Nuclear Science Symposium Conference Record, **4**, (2005), 2148-2149]

Miho Shidahara, Kentaro Inoue, Masahiro Maruyama, Yasuyuki Taki, Ryoi Goto, Ken Okada, Shichiro Osawa, Shigeo Kinomura, Hiroshi Ito, Hiroyuki Arai, Hiroshi Fukuda

166) Cognitive impairment and diffuse white matter atrophy in alcoholics. [CLINICAL NEUROPHYSIOLOGY, **116** (1), (2005), 223-228]

H Mochizuki, T Masaki, S Matsushita, Y Ugawa, K Kamakura, H Arai, K Motoyoshi, S Higuchi

167) The relationship between body mass index and a plasma lipid peroxidation biomarker in an older, healthy Asian community. [ANNALS OF EPIDEMIOLOGY, **15** (1), (2005), 80-84]

K Ohmori, S Ebihara, S Kuriyama, T Ugajin, M Ogata, A Hozawa, T Matsui, Y Tsubono, H Arai, H Sasaki, Tsuji, I

168) A proposal for diagnostic and clinical assessment criteria for Alzheimer's disease. [Clinical Neurology, **45** (2), (2005), 128-137]

Mikio Shoji, Ryozo Kuwano, Takasi Asada, Masaki Imagawa, Susumu Higuchi, Katsuya Urakami, Hiroyuki Arai, Yasuo Ihara

169) A randomized, observer-blind, controlled trial of the traditional Chinese medicine Yi-Gan San for improvement of behavioral and psychological symptoms and activities of daily living in dementia patients.. [J Clin Psychiatry, **66** (2), (2005), 248-252]

Iwasaki Koh, Satoh-Nakagawa Takuma, Maruyama Masahiro, Monma Yasutake, Nemoto Miyako, Tomita Naoki, Tanji Haruko, Fujiwara Hironori, Seki Takashi, Fujii Masahiko, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada

170) Acarbose attenuates hypoglycemia from dumping syndrome in an elderly man with gastrectomy. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **53** (2), (2005), 358-359]

M Yamada, T Ohrui, M Asada, K Ishizawa, S Ebihara, H Arai, H Sasaki

171) Clinical diagnosis of MM2-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease. [NEUROLOGY, **64** (4), (2005), 643-648]

T Hamaguchi, T Kitamoto, T Sato, H Mizusawa, Y Nakamura, M Noguchi, Y Furukawa, C Ishida, Kuji, I, K Mitani, S Murayama, T Kohriyama, S Katayama, M Yamashita, T Yamamoto, F Udaka, A Kawakami, Y Ihara, T Nishinaka, S Kuroda, N Suzuki, Y Shiga, H Arai, M Maruyama, M Yamada

172) Dementia caregiver's burden and use of public services.. [Geriatrics & Gerontology International, **5**, (2005), 102-106]

Tanji H, Ootsuki M, Matsui T, Maruyama M, Nemoto M, Tomita N, Seki T, Iwasaki K, Arai H, Sasaki H

173) [Caregiver's burden and use of public services among dementia caregivers] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **42** (2), (2005), 192-194]

Maruyama Masahiro, Tanji Haruko, Sasaki Hidetada, Arai Hiroyuki

174) Lithium therapy and cerebrospinal fluid biomarker levels in Alzheimer's disease.. [Geriatrics & Gerontology International, **5**, (2005), 298-300]

Maruyama M, Ishizawa K, Tomita N, Nemoto M, Yasuda H, Ebihara S, Ohrui T, Ieasaki K, Seki T, Okamura N, Higuchi M, Yoshida H, Kudo Y, Arai H, Sasaki H

175) Brain-derived neurotrophic factor gene polymorphisms and Alzheimer's disease. [JOURNAL OF NEURAL TRANSMISSION, **112** (5), (2005), 703-711]

S Matsushita, H Arai, T Matsui, T Yuzuriha, K Urakami, T Masaki, S Higuchi

176) Acupuncture for dysphagia in poststroke patients: A videofluoroscopic study. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **53** (6), (2005), 1083-1084]

T Seki, K Iwasaki, H Arai, H Sasaki, H Hayashi, S Yamada, K Toba

177) Cerebrospinal fluid neprilysin is reduced in prodromal Alzheimer's disease.. [Ann Neurol, **57** (6), (2005), 832-842]

Maruyama Masahiro, Higuchi Makoto, Takaki Yoshie, Matsuba Yukio, Tanji Haruko, Nemoto Miyako, Tomita Naoki, Matsui Toshifumi, Iwata Nobuhisa, Mizukami Hiroaki, Muramatsu Shin-ichi, Ozawa Keiya, Saido Takaomi C, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada

178) Factors associated with suicidal ideation in an elderly urban Japanese population: A community-based, cross-sectional study. [PSYCHIATRY AND CLINICAL NEUROSCIENCES, **59** (3), (2005), 327-336]

S Awata, T Seki, Y Koizumi, S Sato, A Hozawa, K Omori, S Kuriyama, H Arai, R Nagatomi, H Matsuoka, Tsuji, I

179) The neural correlates of driving performance identified using positron emission tomography. [BRAIN AND COGNITION, **58** (2), (2005), 166-171]

E Horikawa, N Okamura, M Tashiro, Y Sakurada, M Maruyama, H Arai, K Yamaguchi, H Sasaki, K Yanai, M Itoh

180) Risk of falls in Alzheimer's disease: A prospective study. [INTERNAL MEDICINE, **44** (7), (2005), 717-721]

E Horikawa, T Matsui, H Arai, T Seki, K Iwasaki, H Sasaki

181) Cognitive decline in patients with long-term domiciliary oxygen therapy.. [Tohoku J Exp Med, **206** (4), (2005), 347-352]

Ohrui Takashi, Tanaka Kazunori, Chiba Kazue, Matsui Toshifumi, Ebihara Satoru, He Mei, Tsuji Ichiro, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada

182) Acupuncture for patients with glaucoma.. [Explore (NY), **1** (5), (2005), 372-376]

Kurusu Masayuki, Watanabe Kei, Nakazawa Toru, Seki Takashi, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada, Fuse Nobuo, Tamai Makoto

183) Plasma homocysteine and risk of co-existing silent braininfarction in Alzheimer's disease.. [Neurodegenerative Disease, **2**, (2005), 299-304]

Matsui T, Nemoto M, Maruyama M, Yuzuriha T, Yao H, Tanji H, Ootsuki M, Tomita N, Matsushita S, Higuchi S, Yoshida Y, Seki T, Iwasaki K, Furukawa K, Arai H

184) Male elderly subthreshold depression patients have smaller volume of medial part of prefrontal cortex and precentral gyrus compared with age-matched normal subjects: A voxel-based morphometry. [JOURNAL OF AFFECTIVE DISORDERS, **88** (3), (2005), 313-320]

Y Taki, S Kinomura, S Awata, K Inoue, K Sato, H Ito, R Goto, S Uchida, Tsuji, I, H Arai, R Kawashima, H Fukuda

185) Quinoline and benzimidazole derivatives: candidate probes for in vivo imaging of tau pathology in Alzheimer's disease.. [J Neurosci, **25** (47), (2005), 10857-10862]

Okamura Nobuyuki, Suemoto Takahiro, Furumoto Shozo, Suzuki Masako, Shimadzu Hiroshi, Akatsu Hiroyasu, Yamamoto Takayuki, Fujiwara Hironori, Nemoto Miyako, Maruyama Masahiro, Arai Hiroyuki, Yanai Kazuhiko, Sawada Tohru, Kudo Yukitsuka

186) Effects of the traditional Chinese herbal medicine Yi-Gan San for cholinesterase inhibitor-resistant visual hallucinations and neuropsychiatric symptoms in patients with dementia with Lewy bodies. [JOURNAL OF CLINICAL PSYCHIATRY, **66** (12), (2005), 1612-1613]

K Iwasaki, M Maruyama, N Tomita, K Furukawa, M Nemoto, H Fujiwara, T Seki, M Fujii, M Kodama, H Arai

187) Incidence of adverse drug reactions in geriatric units of university hospitals. [Geriatrics & gerontology international, **5** (4), (2005), 293-297]

ARAI, Hidenori, AKISHITA, Masahiro, TERAMOTO, Shinji, ARAI, Hiroyuki, MIZUKAMI, Katsuyoshi, MORIMOTO, Shigeto, TOBA, Kenji

188) 42-(2-[2-Dimethylaminothiazol-5-yl] Ethenyl)-6-(2-[Fluoro] Ethoxy)Benzoxazole: A Novel PET Agent for In Vivo Detection of Dense Amyloid Plaques in Alzheimer 's Disease Patients.. [CYRIC Annual Report, (2006), 101-104]

Kudo Y, Okamura N, Furumoto S, Tashiro M, Furukawa K, Maruyama M, Itoh M, Iwata R, Yanai K, Arai H

189) Green tea consumption and cognitive function: a cross-sectional study from the Tsurugaya Project 1.. [Am J Clin Nutr, **83** (2), (2006), 355-361]

Kuriyama Shinichi, Hozawa Atsushi, Ohmori Kaori, Shimazu Taichi, Matsui Toshifumi, Ebihara Satoru, Awata Shuichi, Nagatomi Ryoichi, Arai Hiroyuki, Tsuji Ichiro

190) Dental status and mortality in institutionalized elderly people.. [Geriatrics & Gerontology International, **6**, (2006), 101-108]

Ohrui T, Matsui T, Yoshida M, Yoneyama T, Adachi M, Akagawa Y, He M, Yamaya M, Arai H, Sasaki H

191) Dietary intakes and plasma 8-iso-prostaglandin F-2 alpha concentrations in community-dwelling elderly Japanese: The Tsurugaya Project. [INTERNATIONAL JOURNAL FOR VITAMIN AND NUTRITION RESEARCH, **76** (2), (2006), 87-94]

Shinichi Kuriyama, Satoru Ebihara, Atsushi Hozawa, Kaori Ohmori, Kayoko Kurashima, Naoki Nakaya, Toshifumi Matsui, Hiroyuki Arai, Yoshitaka Tsubono, Hidetada Sasaki, Ichiro Tsuji

192) Benefits of combining donepezil plus traditional Japanese herbal medicine on cognition and brain perfusion in Alzheimer's disease: A 12-week observerblind, donepezil monotherapy controlled trial. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **54** (5), (2006), 869-871]

M Maruyama, N Tomita, K Iwasaki, M Ootsuki, T Matsui, M Nemoto, N Okamura, M Higuchi, M Tsutsui, T Suzuki, T Seki, T Kaneta, K Furukawa, H Arai

193) Menbers of the Oral Care Working Group. Dental status and mortality in institutionalized elderly people.. [Geriatrics & Gerontology International, **6** (2), (2006), 101-108]

Ohrui T, Matsui T, Yoshida M, Tomita N, Yoneyama T, Akagawa Y, He M, Yamaya M, Arai H, Sasaki H

194) Dynamin-binding protein gene on chromosome 10q is associated with late-onset Alzheimer's disease. [HUMAN MOLECULAR GENETICS, **15** (13), (2006), 2170-2182]

R Kuwano, A Miyashita, H Arai, T Asada, M Imagawa, M Shoji, S Higuchi, K Urakami, A Kakita, H Takahashi, T Tsukie, S Toyabe, K Akazawa, Kanazawa, I, Y Ihara

195) [Role of certified geriatric medical doctors in university hospitals in Japan] . [Nippon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics, **43** (4), (2006), 433-436]

Ohrui T, Yamaya M, Sasaki H, Arai H

196) Investigation of Lewy pathology in the visual pathway of brains of dementia with Lewy bodies.. [Journal of the neurological sciences, **246**, (2006), 95-101]

Yamamoto R, Iseki E, Murayama N, Minegishi M, Marui W, Togo T, Katsuse O, Kato M, Iwatsubo T, Kosaka K, Arai H

197) Uncaria rhynchophylla, a Chinese medicinal herb, has potent antiaggregation effects on Alzheimer's beta-amyloid proteins. [JOURNAL OF NEUROSCIENCE RESEARCH, **84** (2), (2006), 427-433]

Hironori Fujiwara, Koh Iwasaki, Katsutoshi Furukawa, Takashi Seki, Mei He, Masahiro Maruyama, Naoki Tomita, Yukitsuka Kudo, Makoto Higuchi, Takaorni C. Saido, Suniihiro Maeda, Akihiko Takashima, Masahiko Hara, Yasushi Ohizumi, Hiroyuki Arai

198) A randomized trial of olfactory stimulation using black pepper oil in older people with swallowing dysfunction. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **54** (9), (2006), 1401-1406]

Takae Ebihara, Satoru Ebihara, Masahiro Maruyama, Mitsuru Kobayashi, Azusa Itou, Hiroyuki Arai, Hidetada Sasaki

199) Effects of menthol on the triggering of the swallowing reflex in elderly patients with dysphagia. [BRITISH JOURNAL OF CLINICAL PHARMACOLOGY, **62** (3), (2006), 369-371]

Takae Ebihara, Satoru Ebihara, Aya Watando, Tatsuma Okazaki, Masanori Asada, Takashi Ohrui, Mutsuo Yamaya, Hiroyuki Arai

200) Paralytic ileus after discontinuation of cholinesterase inhibitor. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **54** (10), (2006), 1620-1621]

Tatsuma Okazaki, Katsutoshi Furukawa, Hiroshi Kubo, Miho Tsutsui, Emi Furukawa, Masanori Asada, Mutsuo Yamaya, Takashi Seki, Koh Iwaski, Hiroyuki Arai

201) ACE activity in CSF of patients with mild cognitive impairment and Alzheimer disease. [NEUROLOGY, **67** (7), (2006), 1309-1310]

M. He, T. Ohrui, M. Maruyama, N. Tomita, K. Nakayama, M. Higuchi, K. Furukawa, H. Arai

202) CSF tau protein: A new prognostic marker for Guillain-Barre syndrome. [NEUROLOGY, **67** (8), (2006), 1470-1472]

K. Jin, A. Takeda, Y. Shiga, S. Sato, A. Ohnuma, H. Nomura, H. Arai, S. Kusunoki, M. Ikeda, Y. Itoyama

203) Predicting human performance by channelized Hotelling observer in discriminating between Alzheimer's dementia and controls using statistically processed brain perfusion SPECT.. [Ann Nucl Med, **20** (9), (2006), 605-613]

Shidahara Miho, Inoue Kentaro, Maruyama Masahiro, Watabe Hiroshi, Taki Yasuyuki, Goto Ryoi, Okada Ken, Kinomura Shigeo, Osawa Shinichiro, Onishi Yoshimi, Ito Hiroshi, Arai Hiroyuki, Fukuda Hiroshi

204) From neuropathology to biomarker development in Alzheimer research. [Clinical Neurology, **46** (11), (2006), 931-934]

Hiroyuki Arai

205) Cough reflex and oral chemesthesis induced by capsaicin and capsiate in healthy never-smokers. [Cough, **3** (3), (2007), 9-9]

海老原 覚

206) Angiotensin-converting enzyme inhibitors and smoking cessation. [RESPIRATION, **74** (4), (2007), 478-478]

Satoru Ebihara, Takae Ebihara, Shinsuke Yamanda, Masanori Asada, Hiroyuki Arai

207) Correlation between Car-driving Performance and Regional Brain Activity after Oral Administration of a Sedative Antihistamine.. [CYRIC Annual Report, (2007), 100-103]

Shibuya K, Sakurada Y, Tashiro M, Mochizuki H, Horikawa E, Maruyama M, Okamura N, Arai H, Yanai K

208) CSF tau protein: a new prognostic marker for Guillain-Barre syndrome(Reply from the Authors). [Neurology, **68**, (2007), 1438-1439]

Jin K, Takeda A, Shiga Y, Sato S, Ohnuma A, Nomura H, Arai H, Kusunoki S, Ikeda M, Itoyama Y

209) Mosapride citrate prolongs survival in stroke patients with gastrostomy. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **55** (1), (2007), 142-144]

Mei He, Takashi Ohrui, Takae Ebihara, Satoru Ebihara, Hidetada Sasaki, Hiroyuki Arai

210) Preventive effect of kami-untan-to on performance in the forced swimming test in thiamine-deficient mice: Relationship to functions of catecholaminergic neurons. [BEHAVIOURAL BRAIN RESEARCH, **177** (2), (2007), 315-321]

Osamu Nakagawasai, Fumihiro Yamadera, Koh Iwasaki, Takahiro Asao, Koichi Tan-No, Fukie Niijima, Hiroyuki Arai, Takeshi Tadano

211) Measurement of lysophospholipase D/autotaxin activity in human serum samples. [CLINICAL BIOCHEMISTRY, **40** (3-4), (2007), 274-277]

Nakamura Kazuhiro, Ohkawa Ryunosuke, Okubo Shigeo, Tozuka Minoru, Okada Mitsumasa, Aoki Shinya, Aoki Junken, Arai Hiroyuki, Ikeda Hitoshi, Yatomi Yutaka

212) Acid and swallowing reflex. [GERIATRICS & GERONTOLOGY INTERNATIONAL, **7** (1), (2007), 94-95]

Takae Ebihara, Satoru Ebihara, Shiro Ida, Takashi Ohrui, Hiroyasu Yasuda, Hidetada Sasaki, Hiroyuki Arai

213) Long-term cognitive benefits of donepezil in Alzheimer's disease: A retrospective comparison between 1994-1999 and 2000-2004. [GERIATRICS & GERONTOLOGY INTERNATIONAL, **7** (1), (2007), 41-47]

Naoki Tomita, Mari Ootsuki, Masahiro Maruyama, Toshifumi Matsui, Miyako Higuchi, Miho Tsutsui, Takashi Seki, Koh Iwasaki, Masako Tamamizu, Takashi Sozu, Isao Yoshimura, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

214) [Instruments for diagnosis and treatment of mild dementia] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **44** (2), (2007), 206-208]

Arai Hiroyuki

215) 蛋白コンフォメーションのインビボ画像診断. [新しい医療機器研究, **12**, (2007), 103-104]

工藤幸司, 古本祥三, 岡村信行, 谷内一彦, 堂浦克美, 荒井啓行

216) 2-(2-[2-dimethylaminothiazol-5-yl] ethenyl)-6-(2-[fluoro] ethoxy)benzoxazole: A novel PET agent for in vivo detection of dense amyloid plaques in Alzheimer's disease patients. [JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE, **48** (4), (2007), 553-561]

Yukitsuka Kudo, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Manabu Tashiro, Katsutoshi Furukawa, Masahiro Maruyama, Masatoshi Itoh, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai

217) Recent advances in the development of amyloid imaging agents.. [Curr Top Med Chem, **7** (18), (2007), 1773-1789]

Furumoto Shozo, Okamura Nobuyuki, Iwata Ren, Yanai Kazuhiko, Arai Hiroyuki, Kudo Yukitsuka

218) [The benefit of angiotensin converting enzyme inhibitor for geriatric syndrome in the elderly] . [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **44** (4), (2007), 448-451]

Ebihara Takae, Ohrui Takashi, Ebihara Satoru, Tsuji Ichirou, Sasaki Hidetada, Arai Hiroyuki

219) Plasma lysophosphatidic acid level and serum autotaxin activity are increased in liver injury in rats in relation to its severity. [LIFE SCIENCES, **81** (12), (2007), 1009-1015]

Naoko Watanabe, Hitoshi Ikeda, Kazuhiro Nakamura, Ryunosuke Ohkawa, Yukio Kume, Tomoaki Tomiya, Kazuaki Tejima, Takako Nishikawa, Masahiro Arai, Mikio Yanase, Junken Aoki, Hiroyuki Arai, Masao Omata, Kenji Fujiwara, Yutaka Yatomi

220) Accidental carbon monoxide poisoning at home in japan. [PEDIATRIC PULMONOLOGY, **42** (9), (2007), 853-853]

Yoichiro Ohara, Takashi Ohrui, Satoru Ebihara, Takae Ebihara, Hidetada Sasaki, Hiroyuki Arai

221) Contribution of gastric acid in elderly nursing home patients with cough reflex hypersensitivity. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **55** (10), (2007), 1686-1688]

Satoru Ebihara, Takae Ebihara, Miyako Yamasaki, Masanori Asada, Shinsuke Yamanda, Kaijun Niu, Hidetada Sasaki, Hiroyuki Arai

222) Macrophage colony-stimulating factor improves cardiac function after ischemic injury by inducing vascular endothelial growth factor production and survival of cardiomyocytes. [AMERICAN JOURNAL OF PATHOLOGY, **171** (4), (2007), 1093-1103]

Tatsuma Okazaki, Satoru Ebihara, Masanori Asada, Shinsuke Yamanda, Yoshifumi Saijo, Yasuyuki Shiraishi, Takae Ebihara, Kaijun Niu, He Mei, Hiroyuki Arai, Tomoyuki Yambe

223) 鎮静性抗ヒスタミン薬服用時における自動車運転パフォーマンス低下と脳活動の関係. [核医学, **44** (3), (2007), 307-307]

田代学, 櫻田幽美子, 望月秀紀, 堀川悦夫, 丸山将宏, 荒井啓行, 伊藤正敏, 谷内一彦

224) [11C] BF-227 を用いた脳内アミロイド蓄積に関する定量的検討. [核医学, **44** (3), (2007), 301-301]

田代学, 岡村信行, 熊谷和明, 古本祥三, 船木善仁, 木村雄一, 石渡喜一, 岩田錬, 工藤幸司, 荒井啓行, 谷内一彦

225) [Alzheimer's disease neuroimaging initiative and mild cognitive impairment] . [Rinsho Shinkeigaku, **47** (11), (2007), 905-907]

Arai Hiroyuki

226) A transient increase in cerebrospinal fluid tau level after epileptic seizure in an elderly patient. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **55** (12), (2007), 2096-2097]

Toshifumi Matsui, Masahiro Maruyama, Sachio Matsushita, Hiroyuki Arai, Susumu Higuchi, Katsuya Maruyama

227) A pilot study of Banxia Houpu Tang, a traditional Chinese medicine, for reducing pneumonia risk in older adults with dementia. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **55** (12), (2007), 2035-2040]

Koh Iwasaki, Shiro Kato, Yasutake Monma, Kaijun Niu, Takashi Ohrui, Reina Okitsu, Satoshi Higuchi, Shiro Ozaki, Noboru Kaneko, Takashi Seki, Katsutoshi Nakayama, Katsutoshi Furukawa, Masahiko Fujii, Hiroyuki Arai

228) Binding and safety profile of novel benzoxazole derivative for in vivo imaging of amyloid deposits in Alzheimer's disease. [GERIATRICS & GERONTOLOGY INTERNATIONAL, **7** (4), (2007), 393-400]

Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Yoshihito Funaki, Takahiro Suemoto, Motohisa Kato, Yoichi Ishikawa, Satoshi Ito, Hiroyasu Akatsu, Takayuki Yamamoto, Tohru Sawada, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Kazuhiko Yanai

229) Genetic association of CTNNA3 with late-onset Alzheimer's disease in females.. [Human molecular genetics, **16** (23), (2007), 2854-69]

Akinori Miyashita, Hiroyuki Arai, Takashi Asada, Masaki Imagawa, Etsuro Matsubara, Mikio Shoji, Susumu Higuchi, Katsuya Urakami, Akiyoshi Kakita, Hitoshi Takahashi, Shinichi Toyabe, Kohei Akazawa, Ichiro Kanazawa, Yasuo Ihara, Ryozo Kuwano

230) Regional Brain Activity and Performance during Car-driving under Side Effects of Psychoactive Drugs.. [Proceedings of 8th International Symposium of Tohoku University Global COE Program Nano-Biomedical Engineering Education and Research Network Centre., (2008), 46-48]

Tashiro M, Masud M, Jeong M, Sakurada Y, Mochizuki H, Horikawa E, Kato M, Maruyama M, Okamura N, Watanuki S, Arai H, Itoh M, Yanai K

231) Amyloid PET and Voxel-based Morphometry Analysis Using MRI in Mild Cognitive Impairment and Alzheimer's Disease.. [CYRIC Annual Report, (2008), 154-159]

Waragai M, Okamura N, Furukawa K, Tashiro M, Watanuki S, Furumoto S, Funaki Y, Kato M, Iwata R, Yanai K, Kudo Y, Arai H

232) Sugar chains of cerebrospinal fluid transferrin as a new biological marker of Alzheimer's disease.. [Dementia and geriatric cognitive disorders, **26** (2), (2008), 117-122]

Taniguchi M, Okayama Y, Hashimoto Y, Kitaura M, Jimbo D, Wakutani Y, Wada-Isoe K, Nakashima K, Akatsu H, Furukawa K, Arai H, Urakami K

233) Imaging amyloid pathology in the living brain. [Current Medical Imaging Reviews, **4**, (2008), 56-62]

Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Hiroyuki Arai, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo

234) Elevated cerebrospinal fluid tau protein levels in Wernicke's encephalopathy. [ALCOHOLISM-CLINICAL AND EXPERIMENTAL RESEARCH, **32** (6), (2008), 1091-1095]

Sachio Matsushita, Tomohiro Miyakawa, Hitoshi Maesato, Toshifumi Matsui, Akira Yokoyama, Hiroyuki Arai, Susumu Higuchi, Haruo Kashima

235) 【脳の核医学分子イメージング】[11C] BF-227 を用いた脳アミロイド斑の画像化. [臨床放射線, **53** (7), (2008), 876-884]

岡村 信行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 工藤 幸司, 古川 勝敏, 荒井 啓行

236) 【アルツハイマー病の病態に基づく治療】 外来で役立つ認知症の予防法と治療. [BIO Clinica, **23** (8), (2008), 692-697]

荒井啓行

237) 光イメージングを用いた生体における脳内蓄積アミロイドの検出. [Dementia Japan, **22** (2), (2008), 184-184]

森雅憲, 岡村信行, 古本祥三, 藁谷正明, 工藤幸司, 荒井啓行, 谷内一彦

238) BF227-PET による脳内沈着アミロイド斑の検出. [Dementia Japan, **22** (2), (2008), 183-183]

岡村信行, 古川勝敏, 藁谷正明, 古本祥三, 田代学, 森雅憲, 岩田錬, 谷内一彦, 荒井啓行, 工藤幸司

239) アルツハイマー病の制圧と東洋医学. [日本東洋医学雑誌, **59** (5), (2008), 683-697]

荒井啓行

240) 鎮静性抗ヒスタミン薬服用時における自動車運転パフォーマンス指標と脳活動の相関解析. ［核医学, **45**（3）,（2008）, S198-S198］

渋谷勝彦, 田代学, 櫻田幽美子, 望月秀紀, 堀川悦夫, 丸山将宏, 岡村信行, 荒井啓行, 谷内一彦

241) 軽度認知障害における BF227-PET 画像所見. ［核医学, **45**（3）,（2008）, S182-S182］

岡村信行, 古本祥三, 田代学, 古川勝敏, 船木善仁, 岩田錬, 荒井啓行, 工藤幸司, 谷内一彦

242) 【認知症予防　認知症予防はどこまで可能か、エビデンスから展望する】 認知症の前段階. ［Modern Physician, **28**（10）,（2008）, 1439-1443］

荒井啓行, 佐藤琢磨

243) Development of a high-performance liquid chromatography-based assay for carotenoids in human red blood cells: Application to clinical studies. ［ANALYTICAL BIOCHEMISTRY, **381**（1）,（2008）, 129-134］

Kiyotaka Nakagawa, Takehiro Kiko, Keijiro Hatade, Akira Asai, Fumiko Kimura, Phumon Sookwong, Tsuyoshi Tsuduki, Hiroyuki Arai, Teruo Miyazawa

244) 【高齢者肺炎　多科連携による誤嚥性肺炎への対応】 予防と感染対策　薬物による高齢者肺炎の予防. ［治療学, **42**（11）,（2008）, 1234-1238］

大類孝, 海老原覚, 海老原孝枝, 荒井啓行

245) ハンチントン病の舞踏症状 (不随意運動) に対する漢方薬の有効性に関する研究. ［臨床神経学, **48**（12）,（2008）, 1145-1145］

佐藤卓, 高橋利幸, 田郷英昭, 岩崎鋼, 武藤香織, 飛田宗重, 古川勝敏, 荒井啓行

246) 各種降圧剤のアルツハイマー病の進行に対する影響. ［臨床神経学, **48**（12）,（2008）, 1092-1092］

古川勝敏, 冨田尚希, 大類孝, 荒井啓行

247) 長寿社会とアルツハイマー病. ［東北医学雑誌, **120**（2）,（2008）, 161-164］

荒井啓行

248) 【認知症と動脈硬化リスクファクター】 アルツハイマー型認知症の増悪因子としての脳血管障害. ［循環器科, **64**（6）,（2008）, 572-577］

藁谷正明, 古川勝敏, 荒井啓行

249) 内科医のための脳疾患講座　幻覚と妄想. ［Brain Medical, **20**（4）,（2008）, 386-390］

荒井啓行

250) Docosahexaenoic acid disrupts in vitro amyloid beta(1-40) fibrillation and concomitantly inhibits amyloid levels in cerebral cortex of Alzheimer's disease model rats.. ［Journal of neurochemistry, **107**（6）,（2008）, 1634-1646］

Hashimoto M, Shahdat HM, Yamashita S, Katakura M, Tanabe Y, Fujiwara H, Gamoh S, Miyazawa T, Arai H, Shimada T, Shido O

251) Regional Brain Activity and Performance During Car-Driving Under Side Effects of Psychoactive Drugs. ［IFMBE Proceedings, **23**,（2009）, 2201-2203］

Manabu Tashiro, M. D. Masud Mehedi, Myeonggi Jeong, Yumiko Sakurada, Hideki Mochizuki, Etsuo Horikawa, Motohisa Kato, Masahiro Maruyama, Nobuyuki Okamura, Shoichi Watanuki, Hiroyuki Arai, Masatoshi Itoh, Kazuhiko Yanai

252) Imaging Prion Amyloid Plaques Using [11C] BF-227.. ［CYRIC Annual Report,（2009）, 146-149］

Okamura N, Shiga Y, Furumoto S, Tashiro M, Tsuboi Y, Furukawa K, Yanai K, Iwata R, Arai H, Kudo Y, Itoyama Y, Doh-ura K

253) Amyloid Imaging in MCI and Alzheimer's Disease with BF-227, a New PET Tracer: Comparison to FDG-PET.. ［CYRIC Annual Report,（2009）, 155-160］

Furukawa K, Okamura N, Tashiro M, Waragai M, Furumoto S, Iwata R, Yanai K, Kudo Y, Arai H

254) Voxel-Based Analysis of Cerebral Amyloid Deposition Using [11C] BF-227 PET.. ［CYRIC Annual Report,（2009）, 160-163］

Shao H, Okamura N, Furukawa K, Furumoto S, Tashiro M, Iwata R, Kudo Y, Arai H, Yanai K

255) Quantification of Amyloid β Deposition in Alzheimer's Disease Patients Using PET and [11C] BF-227.. [CYRIC Annual Report, (2009), 164-170]

Tashiro M, Okamura N, Watanuki S, Furumoto S, Furukawa K, Funaki Y, Iwata R, Kudo Y, Arai H, Watabe H, Yanai K

256) 【高齢者の薬物療法のポイント　EBM の限界と非薬物療法との比較】 老年症候群に対する薬物療法　誤嚥性肺炎　薬剤による誤嚥性肺炎の予防法. [Modern Physician, **29** (1), (2009), 40-43]

大類孝, 海老原覚, 海老原孝枝, 荒井啓行

257) 【高齢者の薬物療法のポイント　EBM の限界と非薬物療法との比較】 老年症候群に対する薬物療法　認知症薬 (中核症状). [Modern Physician, **29** (1), (2009), 23-26]

荒井啓行, 佐藤琢磨

258) 【アルツハイマー病診療のスキルアップを考える】 認知症前駆ステージ、早期認知症の診断スキルアップを考える　日本版 Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative(J-ADNI) における mild cognitive impairment. [老年精神医学雑誌, **20** (増刊 I), (2009), 64-67]

荒井啓行

259) 橈骨動脈血流量に関する鍼治療の効果 太衝穴による血行動態変化. [日本内科学会雑誌, **98** (Suppl.), (2009), 218-218]

高山 真, 関 隆志, 山家 智之, 西條 芳文, 金野 敏, 沖津 玲奈, 岩崎 鋼, 荒井 啓行, 八重樫 伸生, 仁田 新一

260) 認知症の画像診断 A to Z 日常診療でみる認知症の実際. [日本医学放射線学会学術集会抄録集, **68 回**, (2009), S69-S69]

荒井啓行

261) 誤嚥性肺炎予防の新戦略. [呼吸, **28** (3), (2009), 250-254]

大類孝, 海老原覚, 海老原孝枝, 浅村孝昭, 宇根かおり, 矢満田慎介, 吉田元樹, 山崎都, 浅田成紀, 高橋秀徳, 荒井啓行

262) 【高齢者の終末期をめぐる諸問題】 高齢者在宅介護における緊急課題. [Geriatric Medicine, **47** (4), (2009), 501-504]

大類孝, 山崎都, 海老原覚, 海老原孝枝, 矢満田慎介, 浅田成紀, 荒井啓行

263) 【脳のアンチエイジングと RAS の関連を探る】 脳神経系のアンチエイジング　認知症における RAS 関与の可能性を探る. [Angiotensin Research, **6** (2), (2009), 118-122]

大類孝, 荒井啓行

264) 高齢者におけるツベルクリン反応と感染症およびその予後との関連. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 99-99]

中山勝敏, 吉田元樹, 大類孝, 海老原孝枝, 荒井啓行

265) アルコール依存症患者における断酒プログラムの骨修復に与える影響. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 90-90]

松井敏史, 松下幸生, 荒井啓行

266) 高齢者の経管栄養法導入後の、"中断 (Withdraw)"に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 87-87]

小坂陽一, 佐藤琢磨, 佐々木英忠, 荒井啓行

267) 高齢者肺炎の発症における活性型ビタミン D の役割に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 67-67]

浅村孝昭, 大類孝, 山崎都, 矢満田慎介, 吉田元樹, 浅田成紀, 小坂陽一, 海老原孝枝, 海老原覚, 荒井啓行

268) 老年病専門医への薬剤処方アンケート　NHK との共同調査. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 65-65]

秋下雅弘, 荒井啓行, 荒井秀典, 稲松孝思, 葛谷雅文, 鈴木裕介, 寺本信嗣, 水上勝義, 森本茂人, 鳥羽研二

269) 高齢者施設入所者の咳反射感受性の分布とその成因. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 63-63]

海老原覚, 海老原孝枝, 山崎都, 荒井啓行

270) 老年医学教育　わが国における問題点と展望 医学教育モデル・コア・カリキュラムと老年医学教育. [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 17-17]

荒井啓行

271) 高齢者の食習慣と骨折リスクの関係　食養を科学的に検証する. [日本東洋医学雑誌, **60** (別冊), (2009), 333-333]

門馬靖武, 岩崎鋼, 武田卓, 関隆志, 荒井啓行, 八重樫伸生

272) 悪性中皮腫におけるセロトニン 2B 受容体阻害剤の効果. [日本呼吸器学会雑誌, **47** (増刊), (2009), 238-238]

浅田成紀, 海老原覚, 矢満田慎介, 海老原孝枝, 高橋秀徳, 山崎都, 吉田元樹, 浅村孝昭, 宇根かおり, 大類孝, 荒井啓行

273) 固形腫瘍に対するエリスロポエチン製剤の効果. [日本呼吸器学会雑誌, **47** (増刊), (2009), 206-206]

海老原覚, 岡崎達馬, 浅田成紀, 矢満田慎介, 海老原孝枝, 荒井啓行

274) 高齢者におけるツベルクリン反応と感染症発症およびその予後との関連. [日本呼吸器学会雑誌, **47** (増刊), (2009), 120-120]

中山勝敏, 沼田尊功, 大類学, 海老原孝枝, 弓野陽子, 荒屋潤, 荒井啓行, 桑野和善

275) 高齢者肺炎の発症における活性型ビタミン D の役割に関する検討. [日本呼吸器学会雑誌, **47** (増刊), (2009), 119-119]

浅村孝昭, 大類学, 山崎都, 宇根かおり, 矢満田慎介, 吉田元樹, 浅田成紀, 高橋秀徳, 小坂陽一, 海老原孝枝, 海老原覚, 荒井啓行

276) 温度感受性受容体 (TRP) 刺激を利用した、高齢者における摂食再開時誤嚥性肺炎の新規発症予防. [日本呼吸器学会雑誌, **47** (増刊), (2009), 119-119]

海老原覚, 海老原孝枝, 山崎都, 矢満田慎介, 浅田成紀, 吉田元樹, 浅村孝昭, 荒井啓行

277) [Survey on geriatricians' experiences of adverse drug reactions caused by potentially inappropriate medications: commission report of the Japan Geriatrics Society] .. [Nihon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics, **46** (3), (2009), 271-4]

Masahiro Akishita, Hiroyuki Arai, Hidenori Arai, Takashi Inamatsu, Masafumi Kuzuya, Yusuke Suzuki, Shinji Teramoto, Katsuyoshi Mizukami, Shigeto Morimoto, Kenji Toba

278) Ferredoxin-NADP(+) reductase from the thermophilic hydrogen-oxidizing bacterium, Hydrogenobacter thermophilus TK-6. [FEMS MICROBIOLOGY LETTERS, **297** (1), (2009), 124-130]

Takeshi Ikeda, Miyuki Nakamura, Hiroyuki Arai, Masaharu Ishii, Yasuo Igarashi

279) SEIZURE AND PNEUMONIA IN AN ELDERLY PATIENT WITH SYSTEMIC LUPUS ERYTHEMATOSUS. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **57** (9), (2009), 1709-1711]

Mutsuo Yamaya, Motoki Yoshida, Miyako Yamasaki, Hiroshi Kubo, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

280) Antioxidant effect of lutein towards phospholipid hydroperoxidation in human erythrocytes.. [The British journal of nutrition, **102** (9), (2009), 1280-4]

Kiyotaka Nakagawa, Takehiro Kiko, Keijiro Hatade, Phumon Sookwong, Hiroyuki Arai, Teruo Miyazawa

281) Advances in molecular imaging for the diagnosis of dementia.. [Expert opinion on medical diagnostics, **3** (6), (2009), 705-716]

Okamura N, Fodero-Tavoletti MT, Kudo Y, Rowe CC, Furumoto S, Arai H, Masters CL, Yanai K, Villemagne VL

282) 健常者、MCI、アルツハイマー病症例における FDG-PET と BF-227 アミロイド PET の検討. [臨床神経学, **49** (12), (2009), 1138-1138]

古川勝敏, 藁谷正明, 岡村信行, 田代学, 谷内一彦, 古本祥三, 工藤幸司, 荒井啓行

283) Quantitative analysis of amyloid beta deposition in the brain of alzheimer's disease patients using PET and [11C] BF-227 and [18F] FACT. [IFMBE Proceedings, **31**, (2010), 1648-1651]

M. Tashiro, N. Okamura, S. Watanuki, S. Furumoto, K. Furukawa, Y. Funaki, K. Shibuya, R. Iwata, Y. Kudo, H. Arai, K. Yanai

284) Quantitative Analysis of Amyloid Beta Deposition in the Brain of Alzheimer's Disease Patients using PET and [11C] BF-227 and [18F] FACT.. [Proceedings of 13th International Symposium of Tohoku University Global COE Program Nano-Biomedical Engineering Education and Research Network Centre., (2010), 2-3]

Tashiro M, Okamura N, Watanuki S, Furumoto S, Furukawa K, Funaki Y, Shibuya K, Iwata R, Kudo Y, Arai H, Yanai K

285) Bacteriology of aspiration pneumonia due to delayed triggering of the swallowing reflex in elderly patients.. [J Hosp Infect, **74** (4), (2010), 399-401]

Yamanda S, Ebihara S, Ebihara T, Yamasaki M, Arai H, Kohzuki M

286) 健忘型認知機能障害 (Amnestic mild cognitive impairment) とアルツハイマー病の早期診断. [老年期痴呆研究会誌, **15**, (2010), 23-26]

荒井啓行, 佐々木英忠

287) アルツハイマー病の病態とバイオマーカー開発. [日本薬理学雑誌, **135** (1), (2010), 3-7]

荒井 啓行, 岡村 信行, 藁谷 正明, 古川 勝敏, 谷内 一彦, 工藤 幸司

288) 【老年医学の新たな展開】 認知症研究の進歩と J-ADNI. [Geriatric Medicine, **48** (1), (2010), 29-32]

荒井啓行, 古川勝敏, 冨田尚希

289) 【認知症診療マニュアル】 認知症に対する薬物療法　認知症の薬物治療　漢方薬. [神経内科, **72** (Suppl.6), (2010), 178-181]

藁谷正明, 古川勝敏, 荒井啓行

290) 【CKD　脳・心・腎連関の理解と集団管理】疫学と病態　CKD と認知機能. [治療学, **44** (3), (2010), 277-280]

古川勝敏, 荒井啓行

291) 【慢性腎臓病 (CKD)】 CKD と認知機能障害. [最新医学, **65** (3 月増刊), (2010), 509-515]

荒井啓行, 古川勝敏, 富田尚希

292) [Model core curriculum and geriatrics education in medical school] .. [Nihon Ronen Igakkai Zasshi, **47** (4), (2010), 285-287]

Arai Hiroyuki

293) 【呼吸器感染症最新知見 A to Z】 肺炎の予防と治療をめぐって　誤嚥性肺炎を防止するために. [化学療法の領域, **26** (増刊), (2010), 1004-1010]

大類孝, 海老原孝枝, 山崎都, 荒井啓行

294) In vivo detection of prion amyloid plaques using [C-11] BF-227 PET. [EUROPEAN JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE AND MOLECULAR IMAGING, **37** (5), (2010), 934-941]

Nobuyuki Okamura, Yusei Shiga, Shozo Furumoto, Manabu Tashiro, Yoshio Tsuboi, Katsutoshi Furukawa, Kazuhiko Yanai, Ren Iwata, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Yasuhito Itoyama, Katsumi Doh-ura

295) Amyloid PET in mild cognitive impairment and Alzheimer's disease with BF-227: comparison to FDG-PET. [JOURNAL OF NEUROLOGY, **257** (5), (2010), 721-727]

Katsutoshi Furukawa, Nobuyuki Okamura, Manabu Tashiro, Masaaki Waragai, Shozo Furumoto, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai

296) 【臨床試験とバイオマーカー】脳神経疾患におけるバイオマーカー. [臨床薬理, **41** (3), (2010), 101-106]

岡村 信行, 谷内 一彦, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 工藤 幸司

297) タウイメージング. [Dementia Japan, **24** (2), (2010), 146-154]

工藤幸司, 岡村信行, 古本祥三, 古川勝敏, 谷内一彦, 荒井啓行

298) 老年医学教育　わが国における問題点と展望 医学教育モデル・コア・カリキュラムと老年医学教育. [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 285-287]

荒井啓行

299) 【アルツハイマー病 (AD) への新たな挑戦　AD 治療薬登場後の 10 年と今後】 ライフスタイルと AD 発症のリスク · 予防　ライフスタイルが AD 発症に影響するメカニズムは?. [Progress in Medicine, **30** (8), (2010), 2099-2102]

冨田尚希, 荒井啓行

300) 【認知症の最新トピックス】 世界規模の Alzheimer 病研究組織アメリカ ADNI の進捗状況. [最新精神医学, **15** (5), (2010), 485-490]

古川勝敏, 荒井啓行

301) アルツハイマー病　update 診断　よく用いられる評価尺度と診断の実際. [Clinical Neuroscience, **28** (9), (2010), 1026-1030]

藁谷正明, 荒井啓行

302) 【伝統薬による認知症の予防と治療】 日本における伝統医薬による認知症の予防と治療. [日中医学, **25** (3), (2010), 19-22]

荒井啓行, 山崎都, 古川勝敏, 冨田尚希

303) 【感染症　診断と治療の進歩】感染症予防と対策　高齢者肺炎 · 誤嚥性肺炎. [日本内科学会雑誌, **99** (11), (2010), 2746-2751]

大類孝, 海老原孝枝, 荒井啓行

304) [Glycan biomaker in CSF] .. [Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology, **50** (11), (2010), 971-972]

Hashimoto Y, Futakawa S, Miyajima M, Kitazume S, Nara K, Shirotani K, Kuno A, Ito H, Honda T, Furukawa K, Tasaki K, Arai H, Yuasa T, Abe M, Narimatsu H, Arai H

305) ACE 阻害薬の認知症予防効果. [Dementia Japan, **24** (4), (2010), 426-430]

大類孝, 古川勝敏, 荒井啓行

306) これから認知症診療を始める医師のための基礎講座 認知症のバイオマーカー. [Dementia Japan, **24** (4), (2010), 444-452]

古川勝敏, 荒井啓行

307) 【いきなり名医!日常診療で診る · 見守る認知症　かかりつけ医が知っておきたいこと】 認知症の患者 · 家族への告知とサポートおよびフォローはどうする?　認知症の患者さんの血管障害のリスクの管理の仕方は?. [jmed mook, (11), (2010), 141-143]

古川勝敏, 荒井啓行

308) Changes of Blood Flow Volume in the Superior Mesenteric Artery and Brachial Artery with Abdominal Thermal Stimulation. [EVIDENCE-BASED COMPLEMENTARY AND ALTERNATIVE MEDICINE, (2011), in press]

Shin Takayama, Takashi Seki, Masashi Watanabe, Shigeru Takashima, Norihiro Sugita, Satoshi Konno, Takashi Takeda, Hiroyuki Arai, Tomoyuki Yambe, Nobuo Yaegashi, Makoto Yoshizawa, Shigenao Maruyama, Shin-Ichi Nitta

309) PET Imaging in Cardiac Amyloidosis with [11C] BF-227. [CYRIC Annual Report, (2011), 97-99]

Furukawa K, Ikeda S, Okamura M, Tashiro M, Tomita N, Furumoto S, Iwata R, Yanai K, Kudo Y, Arai H

310) Noninvasive detection of misfolded proteins in the brain using [11C] BF-227 PET. [Early Detection and Rehabilitation Technologies for Dementia: Neuroscience and Biomedical Applications, (2011), 212-219]

Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Manabu Tashiro, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Kazuhiko Yanai

311) High Throughput ELISAs to Measure a Unique Glycan on Transferrin in Cerebrospinal Fluid: A Possible Extension toward Alzheimer's Disease Biomarker Development.. [International journal of Alzheimer's disease, **2011**, (2011), 352787]

Shirotani K, Futakawa S, Nara K, Hoshi K, Saito T, Tohyama Y, Kitazume S, Yuasa T, Miyajima M, Arai H, Kuno A, Narimatsu H, Hashimoto Y

312) 【Pre-MCI と preclinical AD】MCI の概念と preclinical AD の提唱. [Cognition and Dementia, **10** (1), (2011), 8-12]

荒井啓行, 工藤幸司, 古川勝敏, 冨田尚希

313) 【記憶のメカニズムとその障害】 記憶障害　正常高齢者の記憶障害. [Clinical Neuroscience, **29** (2), (2011), 199-201]

冨田尚希, 荒井啓行

314) 【認知症診療-New Standards】 認知症の治療と予防　認知症の予防. [Clinical Neuroscience, **29** (3), (2011), 288-292]

冨田尚希, 荒井啓行

315) 認知症者における過酸化脂質蓄積赤血球の出現とその生成機構. [脂質生化学研究, **53**, (2011), 66-69]

宮澤大樹, 仲川清隆, 喜古健敬, 鈴木俊英, 荒井啓行, 宮澤陽夫

316) Yokukansan, a traditional Japanese medicine, ameliorates memory disturbance and abnormal social interaction with anti-aggregation effect of cerebral amyloid β proteins in amyloid precursor protein transgenic mice.. [Neuroscience, **180**, (2011), 305-313]

Fujiwara H, Takayama S, Iwasaki K, Tabuchi M, Yamaguchi T, Sekiguchi K, Ikarashi Y, Kudo Y, Kase Y, Arai H, Yaegashi N

317) Relationship between Peripheral Arterial Disease and Incident Disability among Japanese Elderly: the Tsurugaya Project.. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **59** (12), (2011), S37-S37]

A. Nitta, A. Hozawa, S. Kuriyama, N. Nakaya, K. Ohmori-Matsuda, T. Sone, M. Kakizaki, N. Tomita, S. Ebihara, K. Furukawa, M. Ichiki, H. Arai, I. Tsuji

318) Impact of physical activity and performance on medical care costs among the Japanese elderly.. [Geriatrics & gerontology international, **11** (2), (2011), 157-165]

Yang G, Niu K, Fujita K, Hozawa A, Ohmori-Matsuda K, Kuriyama S, Nakaya N, Ebihara S, Okazaki T, Guo H, Miura C, Takahashi H, Arai H, Tsuji I, Nagatomi R

319) Earthquake in Japan. [LANCET, **377** (9778), (2011), 1652-1652]

Yuichi Tamura, Keiichi Fukuda

320) 【RCT 時代の漢方薬】 (Part.II) これまでの研究と今後の展望　抑肝散:進行中の臨床試験　アルツハイマー病の BPSD に対する抑肝散の軽減効果に関する多施設共同ランダム化二重盲検比較試験. [漢方医学, **35** (2), (2011), 123-123]

荒井啓行

321) 【知っておきたい認知症の基礎知識】認知症の PET· アミロイドイメージング. [Mebio, **28** (5), (2011), 96-103]

工藤幸司, 荒井啓行

322) 【進歩した認知症の診療】 認知症診断のバイオマーカー. [臨牀と研究, **88** (6), (2011), 681-686]

荒井啓行

323) Aging deteriorated perception of urge-to-cough without changing cough reflex threshold to citric acid in female never-smokers.. [Cough (London, England), **7** (1), (2011), 3-3]

Satoru Ebihara, Takae Ebihara, Masashi Kanezaki, Peijun Gui, Miyako Yamasaki, Hiroyuki Arai, Masahiro Kohzuki

324) 【認知症ケアの取り組み-エビデンスの追求-】認知症の早期発見法　外来で役立つ問診技術と最新の検査法. [Aging & Health, **20** (2), (2011), 6-9]

荒井啓行, 鈴木瑞恵, 上野千佳, 冨田尚希, 古川勝敏, 大類孝

325) The Alzheimer's Association external quality control program for cerebrospinal fluid biomarkers. [ALZHEIMERS & DEMENTIA, **7** (4), (2011), 386-395]

Niklas Mattsson, Ulf Andreasson, Staffan Persson, Hiroyuki Arai, Sat Dev Batish, Sergio Bernardini, Luisella Bocchio-Chiavetto, Marinus A. Blankenstein, Maria C. Carrillo, Sonia Chalbot, Els Coart, Davide Chiasserini, Neal Cutler, Gunilla Dahlfors, Stefan Duller, Anne M. Fagan, Orestes Forlenza, Giovanni B. Frisoni, Douglas Galasko, Daniela Galimberti, Harald Hampel, Aase Handberg, Michael T. Heneka, Adrianna Z. Herskovits, Sanna-Kaisa Herukka, David M. Holtzman, Christian Humpel, Bradley T. Hyman, Khalid Iqbal, Mathias Jucker, Stephan A. Kaeser, Elmar Kaiser, Elisabeth Kapaki, Daniel Kidd, Peter Klivenyi, Cindy S. Knudsen, Markus P. Kummer, James Lui, Albert Llado, Piotr Lewczuk, Qiao-Xin Li, Ralph Martins, Colin Masters, John McAuliffe, Marc Mercken, Abhay Moghekar, Jose Luis Molinuevo, Thomas J. Montine, William Nowatzke, Richard O'Brien, Markus Otto, George P. Paraskevas, Lucilla Parnetti, Ronald C. Petersen, David Prvulovic, Herman P. M. de Reus, Robert A. Rissman, Elio Scarpini, Alessandro Stefani, Hilkka Soininen, Johannes Schroeder, Leslie M. Shaw, Anders Skinningsrud, Brith Skrogstad, Annette Spreer, Leda Talib, Charlotte Teunissen, John Q. Trojanowski, Hayrettin Tumani, Robert M. Umek, Bianca Van Broeck, Hugo Vanderstichele, Laszlo Vecsei, Marcel M. Verbeek, Manfred Windisch, Jing Zhang, Henrik Zetterberg, Kaj Blennow

326) A comprehensive strategy for dementia from primary prevention to end-stage management. [PSYCHOGERIATRICS, **11** (3), (2011), 131-134]

Hiroyuki Arai

327) SHELTER-ACQUIRED PNEUMONIA AFTER A CATASTROPHIC EARTHQUAKE IN JAPAN. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **59** (10), (2011), 1968-1970]

Mizue Suzuki, Chika Uwano, Takashi Ohrui, Takae Ebihara, Miyako Yamasaki, Takaaki Asamura, Naoki Tomita, Yoichi Kosaka, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

328) 認知症包括的医療の課題　発症前診断から終末期まで. [Geriatric Medicine, **49** (10), (2011), 1184-1190]

荒井啓行

329) The AAA-ATPase VPS4 Regulates Extracellular Secretion and Lysosomal Targeting of alpha-Synuclein. [PLOS ONE, **6** (12), (2011), e29460-e29460]

Takafumi Hasegawa, Masatoshi Konno, Toru Baba, Naoto Sugeno, Akio Kikuchi, Michiko Kobayashi, Emiko Miura, Nobuyuki Tanaka, Keiichi Tamai, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Fumiaki Mori, Koichi Wakabayashi, Masashi Aoki, Yasuto Itoyama, Atsushi Takeda

330) A modified method of 3D-SSP analysis for amyloid PET imaging using [^{11}C] BF-227.. [Annals of nuclear medicine, **25** (10), (2011), 732-9]

Tomohiro Kaneta, Nobuyuki Okamura, Satoshi Minoshima, Katsutoshi Furukawa, Manabu Tashiro, Shozo Furumoto, Ren Iwata, Hiroshi Fukuda, Shoki Takahashi, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai

331) [Clinical diagnosis, treatment and prevention of aspiration pneumonia] .. [Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **69 Suppl 10 Pt 2**, (2011), 522-6]

Takashi Ohrui, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

332) Quantitative analysis of amyloid β deposition in patients with Alzheimer's disease using positron emission tomography. [Early Detection and Rehabilitation Technologies for Dementia: Neuroscience and Biomedical Applications, (2011), 220-230]

Manabu Tashiro, Nobuyuki Okamura, Shoichi Watanuki, Shozo Furumoto, Shozo Furumoto, Katsutoshi Furukawa, Yoshihito Funaki, Ren Iwata, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai, Hiroshi Watabe, Kazuhiko Yanai, Kazuhiko Yanai

333) Increased Protein-Conjugated Acrolein and Amyloid-beta(40/42) Ratio in Plasma of Patients with Mild Cognitive Impairment and Alzheimer's Disease. [JOURNAL OF ALZHEIMERS DISEASE, **32** (1), (2012), 33-41]

Masaaki Waragai, Madoka Yoshida, Mutsumi Mizoi, Ryotaro Saiki, Keiko Kashiwagi, Kiyoshi Takagi, Hiroyuki Arai, Jun Tashiro, Makoto Hashimoto, Naomichi Iwai, Kenichi Uemura, Kazuei Igarashi

334) Significance of lutein in red blood cells of Alzheimer's disease patients. [J. Alzheimers Dis., **28**, (2012), 593-600]

Kiko,T, Nakagawa,K, Tsuduki,T, Suzuki,T, Arai,H, Miyazawa,T

335) Amyloid β levels in human red blood cells.. [PLoS ONE, (2012)]

Kiko, T, Nakagawa, K, Satoh, A, Tsuduki, T, Furukawa, K, Arai, H, Miyazawa, T

336) Impact of Blunted Perception of Dyspnea on Medical Care Use and Expenditure, and Mortality in Elderly People.. [Frontiers in physiology, **3**, (2012), 238]

Ebihara S, Niu K, Ebihara T, Kuriyama S, Hozawa A, Ohmori-Matsuda K, Nakaya N, Nagatomi R, Arai H, Kohzuki M, Tsuji I

337) Cardiac Positron-Emission Tomography Images With an Amyloid-Specific Tracer in Familial Transthyretin-Related Systemic Amyloidosis. [CIRCULATION, **125** (3), (2012), 556-557]

Katsutoshi Furukawa, Shu-ichi Ikeda, Nobuyuki Okamura, Manabu Tashiro, Naoki Tomita, Shozo Furumoto, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai

338) A GO intervention program for enhancing elementary school children's cognitive functions and control abilities of emotion and behavior: Study protocol for a randomized controlled trial. [Trials, **13**, (2012)]

Yoshiyuki Tachibana, Jiro Yoshida, Masahito Ichinomiya, Rui Nouchi, Carlos Miyauchi, Hikaru Takeuchi, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai, Ryuta Kawashima

339) C-reactive protein (CRP) is a predictor of high medical-care expenditures in a community-based elderly population aged 70 years and over: The Tsurugaya project.. [Archives of gerontology and geriatrics, **54** (3), (2012), E392-E397]

Niu K, Hozawa A, Guo H, Ohmori-Matsuda K, Cui Y, Ebihara S, Nakaya N, Kuriyama S, Tsuboya T, Kakizaki M, Ohrui T, Arai H, Tsuji I, Nagatomi R

340) Aspiration Pneumonia. [Pathy's Principles and Practice of Geriatric Medicine: Fifth Edition, **1**, (2012), 565-572]

Takashi Ohrui, Hiroyuki Arai

341) Survival period after tube feeding in bedridden older patients. [GERIATRICS & GERONTOLOGY INTERNATIONAL, **12** (2), (2012), 317-321]

Yoichi Kosaka, Takuma Nakagawa-Satoh, Takashi Ohrui, Masahiko Fujii, Hiroyuki Arai, Hidetada Sasaki

342) Exhaled carbon monoxide levels in preschool-age children with episodic asthma. [PEDIATRICS INTERNATIONAL, **54** (2), (2012), 227-232]

Yoichiro Ohara, Takahiro Ohara, Takashi Ohrui, Toshio Morikawa, Takaaki Asamura, Hidetada Sasaki, Hiroyuki Arai

343) Adiponectin Pathway Attenuates Malignant Mesothelioma Cell Growth. [AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY CELL AND MOLECULAR BIOLOGY, **46** (4), (2012), 515-523]

Kaijun Niu, Masanori Asada, Tatsuma Okazaki, Shinsuke Yamanda, Takae Ebihara, Hui Guo, Dongying Zhang, Ryoichi Nagatomi, Hiroyuki Arai, Masahiro Kohzuki, Satoru Ebihara

344) Altered γ-secretase activity in mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.. [EMBO molecular medicine, **4** (4), (2012), 344-352]

Kakuda N, Shoji M, Arai H, Furukawa K, Ikeuchi T, Akazawa K, Takami M, Hatsuta H, Murayama S, Hashimoto Y, Miyajima M, Arai H, Nagashima Y, Yamaguchi H, Kuwano R, Nagaike K, Ihara Y, Japanese Alzheimer's, Disease Neuroimaging Initiative

345) Exacerbation of dementia after the earthquake and tsunami in Japan. [JOURNAL OF NEUROLOGY, **259** (6), (2012), 1243-1243]

Katsutoshi Furukawa, Mari Ootsuki, Manabu Kodama, Hiroyuki Arai

346) A unique N-glycan on human transferrin in CSF: a possible biomarker for iNPH. [NEUROBIOLOGY OF AGING, **33** (8), (2012), 1807-1815]

Satoshi Futakawa, Kiyomitsu Nara, Masakazu Miyajima, Atsushi Kuno, Hiromi Ito, Hiroyuki Kaji, Keiro Shirotani, Takashi Honda, Yuriko Tohyama, Kyoka Hoshi, Yusuke Hanzawa, Shinobu Kitazume, Rie Imamaki, Katsutoshi Furukawa, Kazuhiro Tasaki, Hiroyuki Arai, Tatsuhiko Yuasa, Masafumi Abe, Hajime Arai, Hisashi Narimatsu, Yasuhiro Hashimoto

347) Amyloid imaging and biomarkers in MCI and Alzheimer's disease. [Amyloids: Composition, Functions and Pathology, (2012), 231-240]

Katsutoshi Furukawa, Nobuyuki Okamura, Manabu Tashiro, Shozo Furumoto, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai

348) Rivastigmine Dermal Patch Solves Eating Problems in an Individual with Advanced Alzheimer's Disease. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **60** (10), (2012), 1979-1980]

Chika Uwano, Mizue Suzuki, Takashi Aikawa, Takae Ebihara, Kaori Une, Naoki Tomita, Yoichi Kosaka, Shoji Okinaga, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Takashi Ohrui

349) Functional Decline After an Emergency Shelter Stay: Misleading Evidence. [JOURNAL OF THE AMERICAN GERIATRICS SOCIETY, **60** (12), (2012), 2380-2382]

Naoki Tomita, Kaori Une, Takashi Ohrui, Takae Ebihara, Youichi Kosaka, Shoji Okinaga, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

350) SORL1 is genetically associated with late-onset Alzheimer's disease in Japanese, Koreans and Caucasians.. [PloS one, **8** (4), (2013), e58618]

Akinori Miyashita, Asako Koike, Gyungah Jun, Li-San Wang, Satoshi Takahashi, Etsuro Matsubara, Takeshi Kawarabayashi, Mikio Shoji, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai, Takashi Asada, Yasuo Harigaya, Masaki Ikeda, Masakuni Amari, Haruo Hanyu, Susumu Higuchi, Takeshi Ikeuchi, Masatoyo Nishizawa, Masaichi Suga, Yasuhiro Kawase, Hiroyasu Akatsu, Kenji Kosaka, Takayuki Yamamoto, Masaki Imagawa, Tsuyoshi Hamaguchi, Masahito Yamada, Takashi Morihara, Masatoshi Takeda, Takeo Takao, Kenji Nakata, Yoshikatsu Fujisawa, Ken Sasaki, Ken Watanabe, Kenji Nakashima, Katsuya Urakami, Terumi Ooya, Mitsuo Takahashi, Takefumi Yuzuriha, Kayoko Serikawa, Seishi Yoshimoto, Ryuji Nakagawa, Jong-Won Kim, Chang-Seok Ki, Hong-Hee Won, Duk L Na, Sang Won Seo, Inhee Mook-Jung, Peter St George-Hyslop, Richard Mayeux, Jonathan L Haines, Margaret A Pericak-Vance, Makiko Yoshida, Nao Nishida, Katsushi Tokunaga, Ken Yamamoto, Shoji Tsuji, Ichiro Kanazawa, Yasuo Ihara, Gerard D Schellenberg, Lindsay A Farrer, Ryozo Kuwano

351) Nobiletin-rich Citrus reticulata peels, a kampo medicine for Alzheimer's disease: a case series.. [Geriatrics & gerontology international, **13** (1), (2013), 236-8]

Takashi Seki, Tetsuharu Kamiya, Katsutoshi Furukawa, Masako Azumi, Satoshi Ishizuka, Shin Takayama, Satoru Nagase, Hiroyuki Arai, Tohru Yamakuni, Nobuo Yaegashi

352) Brain accumulation of amyloid β protein visualized by positron emission tomography and BF-227 in Alzheimer's disease patients with or without diabetes mellitus.. [Geriatr Gerontol Int., **13** (1), (2013), 215-221]

Tomita N, Furukawa K, Okamura N, Tashiro M, Une K, Furumoto S, Iwata R, Yanai K, Kudo Y, Arai H

353) Comparison of the binding characteristics of [18F] THK-523 and other amyloid imaging tracers to Alzheimer's disease pathology.. [European journal of nuclear medicine and molecular imaging, **40** (1), (2013), 125-132]

Harada R, Okamura N, Furumoto S, Tago T, Maruyama M, Higuchi M, Yoshikawa T, Arai H, Iwata R, Kudo Y, Yanai K

354) A tomato-rich diet is related to depressive symptoms among an elderly population aged 70 years and over: a population-based, cross-sectional analysis.. [Journal of affective disorders, **144**, (2013), 165-170]

Niu K, Guo H, Kakizaki M, Cui Y, Ohmori-Matsuda K, Guan L, Hozawa A, Kuriyama S, Tsuboya T, Ohrui T, Furukawa K, Arai H, Tsuji I, Nagatomi R

355) Noninvasive detection of misfolded proteins in the brain using [< sup> 11< /sup> C] BF-227 PET. [Bioinformatics: Concepts, Methodologies, Tools, and Applications, **1**, (2013), 438-445]

Nobuyuki Okamura, Katsutoshi Furukawa, Shozo Furumoto, Hiroyuki Arai, Manabu Tashiro, Yukitsuka Kudo, Kazuhiko Yanai

356) Evaluation of the biodistribution and radiation dosimetry of the 18F-labelled amyloid imaging probe [18F] FACT in humans.. [EJNMMI research, **3** (1), (2013), 32-32]

Miho Shidahara, Manabu Tashiro, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Katsutoshi Furukawa, Shoichi Watanuki, Kotaro Hiraoka, Masayasu Miyake, Ren Iwata, Hajime Tamura, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Kazuhiko Yanai

357) [Emergency medicine after a catastrophic disaster: from a view of geriatrics and gerontology] .. [Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **71** (6), (2013), 1097-1102]

Okinaga S, Daito H, Suzuki M, Shiihara J, Arai H

358) Priorities of health care outcomes for the elderly.. [Journal of the American Medical Directors Association, **14** (7), (2013), 479-84]

Masahiro Akishita, Shinya Ishii, Taro Kojima, Koichi Kozaki, Masafumi Kuzuya, Hidenori Arai, Hiroyuki Arai, Masato Eto, Ryutaro Takahashi, Hidetoshi Endo, Shigeo Horie, Kazuhiko Ezawa, Shuji Kawai, Yozo Takehisa, Hiroshi Mikami, Shogo Takegawa, Akira Morita, Minoru Kamata, Yasuyoshi Ouchi, Kenji Toba

359) A F-18-Labeled BF-227 Derivative as a Potential Radioligand for Imaging Dense Amyloid Plaques by Positron Emission Tomography. [MOLECULAR IMAGING AND BIOLOGY, **15** (4), (2013), 497-506]

Shozo Furumoto, Nobuyuki Okamura, Katsutoshi Furukawa, Manabu Tashiro, Yoichi Ishikawa, Kentaro Sugi, Naoki Tomita, Masaaki Waragai, Ryuichi Harada, Tetsuro Tago, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo

360) Novel 18F-labeled arylquinoline derivatives for noninvasive imaging of tau pathology in Alzheimer disease.. [Journal of nuclear medicine : official publication, Society of Nuclear Medicine, **54** (8), (2013), 1420-7]

Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Ryuichi Harada, Tetsuro Tago, Takeo Yoshikawa, Michelle Fodero-Tavoletti, Rachel S Mulligan, Victor L Villemagne, Hiroyasu Akatsu, Takayuki Yamamoto, Hiroyuki Arai, Ren Iwata, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo

361) Aggravation of Alzheimer's disease symptoms after the earthquake in Japan: A comparative analysis of subcategories.. [Geriatrics & gerontology international, **13** (4), (2013), 1081-2]

Katsutoshi Furukawa, Mari Ootsuki, Akemi Nitta, Shoji Okinaga, Manabu Kodama, Hiroyuki Arai

362) Royal Jelly Prevents the Progression of Sarcopenia in Aged Mice In Vivo and In Vitro. [JOURNALS OF GERONTOLOGY SERIES A-BIOLOGICAL SCIENCES AND MEDICAL SCIENCES, **68** (12), (2013), 1482-1492]

Kaijun Niu, Hui Guo, Yinting Guo, Satoru Ebihara, Masanori Asada, Takashi Ohrui, Katsutoshi Furukawa, Masakazu Ichinose, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai, Tatsuma Okazaki, Ryoichi Nagatomi

363) MicroRNAs in Plasma and Cerebrospinal Fluid as Potential Markers for Alzheimer's Disease. [JOURNAL OF ALZHEIMERS DISEASE, **39** (2), (2014), 253-259]

Takehiro Kiko, Kiyotaka Nakagawa, Tsuyoshi Tsuduki, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Teruo Miyazawa

364) Lack of genetic association between TREM2 and late-onset Alzheimer's disease in a Japanese population.. [Journal of Alzheimer's disease : JAD, **41** (4), (2014), 1031-8]

Akinori Miyashita, Yanan Wen, Nobutaka Kitamura, Etsuro Matsubara, Takeshi Kawarabayashi, Mikio Shoji, Naoki Tomita, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Takashi Asada, Yasuo Harigaya, Masaki Ikeda, Masakuni Amari, Haruo Hanyu, Susumu Higuchi, Masatoyo Nishizawa, Masaichi Suga, Yasuhiro Kawase, Hiroyasu Akatsu, Masaki Imagawa, Tsuyoshi Hamaguchi, Masahito Yamada, Takashi Morihara, Masatoshi Takeda, Takeo Takao, Kenji Nakata, Ken Sasaki, Ken Watanabe, Kenji Nakashima, Katsuya Urakami, Terumi Ooya, Mitsuo Takahashi, Takefumi Yuzuriha, Kayoko Serikawa, Seishi Yoshimoto, Ryuji Nakagawa, Yuko Saito, Hiroyuki Hatsuta, Shigeo Murayama, Akiyoshi Kakita, Hitoshi Takahashi, Haruyasu Yamaguchi, Kohei Akazawa, Ichiro Kanazawa, Yasuo Ihara, Takeshi Ikeuchi, Ryozo Kuwano

365) Utility of SPM8 plus DARTEL (VSRAD) Combined with Magnetic Resonance Spectroscopy as Adjunct Techniques for Screening and Predicting Dementia due to Alzheimer's Disease in Clinical Practice. [JOURNAL OF ALZHEIMERS DISEASE, **41** (4), (2014), 1207-1222]

Masaaki Waragai, Saori Hata, Toshiharu Suzuki, Ryotaro Ishii, Chihiro Fujii, Takahiko Tokuda, Hiroyuki Arai, Takashi Ohrui, Susumu Higuchi, Madoka Yoshida, Kazuei Igarashi, Masaru Moriya, Naomichi Iwai, Kenichi Uemura

366) Dementia manifests in everyday life.. [Nihon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics, **51** (2), (2014), 126-127]

Arai H

367) [Diagnosis and treatment of dementia: overview] .. [Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology, **54** (12), (2014), 1171-3]

Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai

368) Guidance statement on appropriate medical services for the elderly. [Geriatrics and Gerontology International, **14** (3), (2014), 518-525]

Shinya Ishii, Taro Kojima, Kiyoshi Yamaguchi, Masahiro Akishita, Hidenori Arai, Hiroyuki Arai, Masato Eto, Hidetoshi Endo, Kenji Toba, Noriya Kikawada, Kazuhiko Ezawa, Masafumi Kuzuya, Koichi Kozaki, Ryutaro Takahashi, Shogo Takegawa, Yozo Takehisa, Yukihiko Ikehata, Ban Mihara, Shigeo Horie, Akira Morita, Hiroshi Mikami

369) Synthesis and preliminary evaluation of 2-arylhydroxyquinoline derivatives for tau imaging.. [Journal of labelled compounds & radiopharmaceuticals, **57** (1), (2014), 18-24]

Tago T, Furumoto S, Okamura N, Harada R, Ishikawa Y, Arai H, Yanai K, Iwata R, Kudo Y

370) Use of a Benzimidazole Derivative BF-188 in Fluorescence Multispectral Imaging for Selective Visualization of Tau Protein Fibrils in the Alzheimer's Disease Brain. [MOLECULAR IMAGING AND BIOLOGY, **16** (1), (2014), 19-27]

Ryuichi Harada, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Takeo Yoshikawa, Hiroyuki Arai, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo

371) Coffee treatment prevents the progression of sarcopenia in aged mice in vivo and in vitro. [EXPERIMENTAL GERONTOLOGY, **50**, (2014), 1-8]

Yinting Guo, Kaijun Niu, Tatsuma Okazaki, Hongmei Wu, Takeo Yoshikawa, Takashi Ohrui, Katsutoshi Furukawa, Masakazu Ichinose, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Guowei Huang, Ryoichi Nagatomi

372) Visual-statistical interpretation of 18F-FDG-PET images for characteristic alzheimer patterns in a multicenter study: Inter-rater concordance and relationship to automated quantitative evaluation. [American Journal of Neuroradiology, **35** (2), (2014), 244-249]

Tomohiko Yamane, Y. Ikari, T. Nishio, Kazunari Ishii, Kenji Ishii, T. Kato, Kengo Ito, D. H.S. Silverman, M. Senda, T. Asada, H. Arai, M. Sugishita, T. Iwatsubo

373) Analysis of early phase [C-11] BF-227 PET, and its application for anatomical standardization of late-phase images for 3D-SSP analysis. [JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY, **32** (3), (2014), 138-144]

Tomohiro Kaneta, Nobuyuki Okamura, Akira Arai, Kentaro Takanami, Katsutoshi Furukawa, Manabu Tashiro, Shozo Furumoto, Ren Iwata, Shoki Takahashi, Hiroyuki Arai, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo

374) [The 41st Scientific Meeting: perspectives of internal medicine; lessons from the disaster of the Great East Japan earthquake: 4. Proposal of an effective internal medical care against disaster; 3) An appropriate management of geriatric disorders followin. [Nihon Naika Gakkai zasshi. The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine, **103** (3), (2014), 598-604]

Arai H

375) [Clinical diagnosis] .. [Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **72** (4), (2014), 667-72]

Katsutoshi Furukawa, Maki Kamada, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai

376) Tau PET Imaging in Alzheimer's Disease. [CURRENT NEUROLOGY AND NEUROSCIENCE REPORTS, **14** (11), (2014), 500]

Nobuyuki Okamura, Ryuichi Harada, Shozo Furumoto, Hiroyuki Arai, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo

377) Pitfalls of voxel-based amyloid PET analyses for diagnosis of Alzheimer's disease: artifacts due to non-specific uptake in the white matter and the skull.. [The Tohoku journal of experimental medicine, **234** (3), (2014), 175-181]

Arai A, Kaneta T, Okamura N, Tashiro M, Iwata R, Takanami K, Fukuda H, Takahashi S, Yanai K, Kudo Y, Arai H

378) Diagnostic accuracy of < sup> 123< /sup> I-meta-iodobenzylguanidine myocardial scintigraphy in dementia with lewy bodies: A multicenter study. [PLoS ONE, **10** (3), (2015), e0120540]

Yoshita, M., Arai, H., Arai, H., Arai, T., Asada, T., Fujishiro, H., Hanyu, H., Iizuka, O., Iseki, E., Kashihara, K., Kosaka, K., Maruno, H., Mizukami, K., Mizuno, Y., Mori, E., Nakajima, K., Nakamura, H., Nakano, S., Nakashima, K., Nishio, Y., Orimo, S., Samuraki, M., Takahashi, A., Taki, J., Tokuda, T., Urakami, K., Utsumi, K., Wada, K., Washimi, Y., Yamasaki, J., Yamashina, S., Yamada, M.

379) Glycan Marker for Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus. [Glycoscience: Biology and Medicine, (2015), 1289-1295]

Kyoka Hoshi, Yuka Matsumoto, Toshie Saito, Hiromi Ito, Yoshinobu Kariya, Yoshiki Yamaguchi, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Masakazu Miyajima, Hajime Arai, Hisashi Narimatsu, Kiyoshi Saito, Takashi Honda, Yasuhiro Hashimoto

380) Cortical Laminar Binding of PET Amyloid and Tau Tracers in Alzheimer Disease. [JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE, **56** (2), (2015), 270-273]

Yi Li, Wai Tsui, Henry Rusinek, Tracy Butler, Lisa Mosconi, Elizabeth Pirraglia, David Mozley, Shankar Vallabhajosula, Ryuichi Harada, Shozo Furumoto, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Nobuyuki Okamura, Mony J. de Leon

381) Cognitive examination in older adults living in temporary apartments after the Great East Japan Earthquake. [GERIATRICS & GERONTOLOGY INTERNATIONAL, **15** (2), (2015), 232-233]

Aiko Ishiki, Katsutoshi Furukawa, Kaori Une, Naoki Tomita, Shoji Okinaga, Hiroyuki Arai

382) [F-18] THK-5117 PET for assessing neurofibrillary pathology in Alzheimer's disease. [EUROPEAN JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE AND MOLECULAR IMAGING, **42** (7), (2015), 1052-1061]

Ryuichi Harada, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Kotaro Hiraoka, Shoichi Watanuki, Miho Shidahara, Masayasu Miyake, Yoichi Ishikawa, Rin Matsuda, Akie Inami, Takeo Yoshikawa, Tetsuro Tago, Yoshihito Funaki, Ren Iwata, Manabu Tashiro, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo

383) Quantitative kinetic analysis of PET amyloid imaging agents [C-11] BF227 and [F-18] FACT in human brain. [NUCLEAR MEDICINE AND BIOLOGY, **42** (9), (2015), 734-744]

Miho Shidahara, Hiroshi Watabe, Manabu Tashiro, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Shoichi Watanuki, Katsutoshi Furukawa, Yuma Arakawa, Yoshihito Funaki, Ren Iwata, Kohsuke Gonda, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai, Kiichi Ishiwata, Kazuhiko Yanai

384) Amyloid deposits and response to shunt surgery in idiopathic normal-pressure hydrocephalus. [JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, **356** (1-2), (2015), 124-128]

Kotaro Hiraoka, Wataru Narita, Hirokazu Kikuchi, Toru Baba, Shigenori Kanno, Osamu Iizuka, Manabu Tashiro, Shozo Furumoto, Nobuyuld Okamura, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Ren Iwata, Etsuro Mori, Kazuhiko Yanai

385) Longitudinal Assessment of Tau Pathology in Patients with Alzheimer's Disease Using [F-18] THK-5117 Positron Emission Tomography. [PLOS ONE, **10** (10), (2015), e0140311]

Aiko Ishiki, Nobuyuki Okamura, Katsutoshi Furukawa, Shozo Furumoto, Ryuichi Harada, Naoki Tomita, Kotaro Hiraoka, Shoichi Watanuki, Yoichi Ishikawa, Tetsuro Tago, Yoshihito Funaki, Ren Iwata, Manabu Tashiro, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai

386) Alterations in the Levels of Amyloid- β , Phospholipid Hydroperoxide, and Plasmalogen in the Blood of Patients with Alzheimer's Disease: Possible Interactions between Amyloid- β and These Lipids.. [Journal of Alzheimer's disease : JAD, **50** (2), (2016), 527-37]

Yamashita S, Kiko T, Fujiwara H, Hashimoto M, Nakagawa K, Kinoshita M, Furukawa K, Arai H, Miyazawa T

387) Changes in Cognitive Functions in the Elderly Living in Temporary Housing after the Great East Japan Earthquake.. [PloS one, **11** (1), (2016), e0147025]

Aiko Ishiki, Shoji Okinaga, Naoki Tomita, Reiko Kawahara, Ichiro Tsuji, Ryoichi Nagatomi, Yasuyuki Taki, Takashi Takahashi, Masafumi Kuzuya, Shigeto Morimoto, Katsuya Iijima, Takeyoshi Koseki, Hiroyuki Arai, Katsutoshi Furukawa

388) Dynamic PET Measures of Tau Accumulation in Cognitively Normal Older Adults and Alzheimer's Disease Patients Measured Using [18F] THK-5351.. [PloS one, **11** (6), (2016), e0158460]

Samuel N Lockhart, Suzanne L Baker, Nobuyuki Okamura, Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Shozo Furumoto, Manabu Tashiro, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Ryuichi Harada, Naoki Tomita, Kotaro Hiraoka, Shoichi Watanuki, William J Jagust

389) Glial fibrillar acidic protein in the cerebrospinal fluid of Alzheimer's disease, dementia with Lewy bodies, and frontotemporal lobar degeneration. [JOURNAL OF NEUROCHEMISTRY, **136** (2), (2016), 258-261]

Aiko Ishiki, Maki Kamada, Yuki Kawamura, Chiaki Terao, Fumiko Shimoda, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai, Katsutoshi Furukawa

390) Characteristics of Tau and Its Ligands in PET Imaging.. [Biomolecules, **6** (1), (2016), 7-7]

Ryuichi Harada, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Tetsuro Tago, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo

391) F-18-THK5351: A Novel PET Radiotracer for Imaging Neurofibrillary Pathology in Alzheimer Disease. [JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE, **57** (2), (2016), 208-214]

Ryuichi Harada, Nobuyuki Okamura, Shozo Furumoto, Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Tetsuro Tago, Kotaro Hiraoka, Shoichi Watanuki, Miho Shidahara, Masayasu Miyake, Yoichi Ishikawa, Rin Matsuda, Akie Inami, Takeo Yoshikawa, Yoshihito Funaki, Ren Iwata, Manabu Tashiro, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo

392) [Introduction] .. [Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **74** (3), (2016), 383-5]

Hiroyuki Arai

393) [What we did and learnt in the care of the patients with dementia after the Great East Japan Earthquake in 2011] .. [Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **74** (3), (2016), 519-22]

Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Shoji Okinaga, Hiroyuki Arai

394) [The trend of developing new disease-modifying drugs in Alzheimer's disease] .. [Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine, **74** (3), (2016), 411-6]

Hiroyuki Arai, Katsutoshi Furukawa, Naoki Tomita, Aiko Ishiki, Nobuyuki Okamura, Yukitsuka Kudo

395) Differential effects of docoosahexaenoic and arachidonic acid on fatty acid composition and myosin heavy chain-related genes of slow- and fast-twitch skeletal muscle tissues.. [Molecular and cellular biochemistry, **415** (1-2), (2016), 169-81]

Michio Hashimoto, Takayuki Inoue, Masanori Katakura, Shahdat Hossain, Abdullah Al Mamun, Kentaro Matsuzaki, Hiroyuki Arai, Osamu Shido

396) Hippocampal Blood Flow Abnormality Associated With Depressive Symptoms and Cognitive Impairment in Patients With Chronic Heart Failure.. [Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society, **80** (8), (2016), 1773-80]

Hideaki Suzuki, Yasuharu Matsumoto, Hideki Ota, Koichiro Sugimura, Jun Takahashi, Kenta Ito, Satoshi Miyata, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Yoshihiro Fukumoto, Yasuyuki Taki, Hiroaki Shimokawa

397) Subgroup differences in 'brain-type' transferrin and α-synuclein in Parkinson's disease and multiple system atrophy.. [Journal of biochemistry, **160** (2), (2016), 87-91]

Yoshihara A, Fukatsu M, Hoshi K, Ito H, Nollet K, Yamaguchi Y, Ishii R, Tokuda T, Miyajima M, Arai H, Kato T, Furukawa K, Arai H, Kikuchi A, Takeda A, Ugawa Y, Hashimoto Y

398) Advances in the development of tau PET radiotracers and their clinical applications.. [Ageing research reviews, **30**, (2016), 107-13]

Nobuyuki Okamura, Ryuichi Harada, Katsutoshi Furukawa, Shozo Furumoto, Tetsuro Tago, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo

399) Introduction and overview of the special issue "Brain imaging and aging": The new era of neuroimaging in aging research.. [Ageing research reviews, **30**, (2016), 1-3]

Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Yuta Onaka, Haruka Saito, Tomoko Nakamichi, Kazunari Hara, Yusuke Kusano, Masamune Ebara, Yuki Arata, Miku Sakota, Isabelle Miyazawa, Tomoko Totsune, Shoji Okinaga, Nobuyuki Okamura, Yukitsuka Kudo, Hiroyuki Arai

400) Screening Tool for Older Persons' Appropriate Prescriptions for Japanese: Report of the Japan Geriatrics Society Working Group on "Guidelines for medical treatment and its safety in the elderly".. [Geriatrics & gerontology international, **16** (9), (2016), 983-1001]

Taro Kojima, Katsuyoshi Mizukami, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai, Takashi Ohrui, Masato Eto, Yasushi Takeya, Yoshitaka Isaka, Hiromi Rakugi, Noriko Sudo, Hidenori Arai, Hiroaki Aoki, Shigeo Horie, Shinya Ishii, Koh Iwasaki, Shin Takayama, Yusuke Suzuki, Toshifumi Matsui, Fumihiro Mizokami, Katsunori Furuta, Kenji Toba, Masahiro Akishita

401) Characterization of the radiolabeled metabolite of tau PET tracer 18F-THK5351.. [European journal of nuclear medicine and molecular imaging, **43** (12), (2016), 2211-2218]

Ryuichi Harada, Shozo Furumoto, Tetsuro Tago, Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Ren Iwata, Manabu Tashiro, Hiroyuki Arai, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Nobuyuki Okamura

402) In vivo visualization of tau deposits in corticobasal syndrome by 18F-THK5351 PET.. [Neurology, **87** (22), (2016), 2309-2316]

Akio Kikuchi, Nobuyuki Okamura, Takafumi Hasegawa, Ryuichi Harada, Shoichi Watanuki, Yoshihito Funaki, Kotaro Hiraoka, Toru Baba, Naoto Sugeno, Ryuji Oshima, Shun Yoshida, Junpei Kobayashi, Michinori Ezura, Michiko Kobayashi, Ohito Tano, Shunji Mugikura, Ren Iwata, Aiko Ishiki, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai, Shozo Furumoto, Manabu Tashiro, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Atsushi Takeda, Masashi Aoki

403) Disaster medicine for the elderlies -chronological aspects of the Great East Japan Earthquake and Tsunami and future issues.. [Nihon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics, **54** (2), (2017), 136-142]

Shoji Okinaga, Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai

404) Erratum to: Characterization of the radiolabeled metabolite of tau PET tracer 18F-THK5351.. [European journal of nuclear medicine and molecular imaging, **44** (1), (2017), 177-177]

Ryuichi Harada, Shozo Furumoto, Tetsuro Tago, Katsutoshi Furukawa, Aiko Ishiki, Naoki Tomita, Ren Iwata, Manabu Tashiro, Hiroyuki Arai, Kazuhiko Yanai, Yukitsuka Kudo, Nobuyuki Okamura

405) Tau imaging with [F-18] THK-5351 in progressive supranuclear palsy. [EUROPEAN JOURNAL OF NEUROLOGY, **24** (1), (2017), 130-136]

A. Ishiki, R. Harada, N. Okamura, N. Tomita, C. C. Rowe, V. L. Villemagne, K. Yanai, Y. Kudo, H. Arai, S. Furumoto, M. Tashiro, K. Furukawa

406) Randomized double-blind placebo-controlled multicenter trial of Yokukansan for neuropsychiatric symptoms in Alzheimer's disease.. [Geriatrics & gerontology international, **17** (2), (2017), 211-218]

Katsutoshi Furukawa, Naoki Tomita, Daisuke Uematsu, Kazunori Okahara, Hiroyuki Shimada, Masaki Ikeda, Toshifumi Matsui, Koichi Kozaki, Masahiko Fujii, Tatsuji Ogawa, Hiroyuki Umegaki, Katsuya Urakami, Hiroshi Nomura, Naoto Kobayashi, Aki Nakanishi, Yukihiro Washimi, Hisashi Yonezawa, Satoshi Takahashi, Masaharu Kubota, Yosuke Wakutani, Daisuke Ito, Takahiro Sasaki, Etsuro Matsubara, Kaori Une, Aiko Ishiki, Yukie Yahagi, Mikio Shoji, Hiroyasu Sato, Yasuo Terayama, Masafumi Kuzuya, Nobuo Araki, Manabu Kodama, Takuhiro Yamaguchi, Hiroyuki Arai

407) Accurate quantitation of choline and ethanolamine plasmalogen molecular species in human plasma by liquid chromatography-tandem mass spectrometry. [JOURNAL OF PHARMACEUTICAL AND BIOMEDICAL ANALYSIS, **134**, (2017), 77-85]

Yurika Otoki, Shunji Kato, Fumiko Kimura, Katsutoshi Furukawa, Shinji Yamashita, Hiroyuki Arai, Teruo Miyazawa, Kiyotaka Nakagawa

408) Reduced brain-derived neurotrophic factor is associated with cognitive dysfunction in patients with chronic heart failure.. [Geriatrics & gerontology international, **17** (5), (2017), 852-854]

Hideaki Suzuki, Yasuharu Matsumoto, Hideki Ota, Koichiro Sugimura, Jun Takahashi, Kenta Ito, Satoshi Miyata, Hiroyuki Arai, Yasuyuki Taki, Katsutoshi Furukawa, Yoshihiro Fukumoto, Hiroaki Shimokawa

409) Effects of sex, educational background, and chronic kidney disease grading on longitudinal cognitive and functional decline in patients in the Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative study.. [Alzheimers Dement, **4**, (2018), 765-774]

Iwata A, Iwatsubo T, Ihara R, Suzuki K, Matsuyama Y, Tomita N, Arai H, Ishii K, Senda M, Ito K, Ikeuchi T, Kuwano R, Matsuda H, Alzheimer's Disease, Neuroimaging Initiative, Japanese Alzheimer ' s Disease Neuroimaging Initiative

410) Posterior Associative and Cingulate Cortex Involvement of Brain Single-Photon Emission Computed Tomography (SPECT) Imaging in Semantic Dementia with Probable Alzheimer Disease Pathology: A Case Report.. [The American journal of case reports, **19**, (2018), 153-157]

Yumi Takano, Keiko Kunitoki, Yasuko Tatewaki, Tatsushi Mutoh, Tomoko Totsune, Hideo Shimomura, Manabu Nakagawa, Hiroyuki Arai, Yasuyuki Taki

411) Correlations of 18F-THK5351 PET with Postmortem Burden of Tau and Astrogliosis in Alzheimer Disease.. [Journal of nuclear medicine : official publication, Society of Nuclear Medicine, **59** (4), (2018), 671-674]

Ryuichi Harada, Aiko Ishiki, Hideaki Kai, Naomi Sato, Katsutoshi Furukawa, Shozo Furumoto, Tetsuro Tago, Naoki Tomita, Shoichi Watanuki, Kotaro Hiraoka, Yoichi Ishikawa, Yoshihito Funaki, Tadaho Nakamura, Takeo Yoshikawa, Ren Iwata, Manabu Tashiro, Hironobu Sasano, Tetsuyuki Kitamoto, Kazuhiko Yanai, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Nobuyuki Okamura

412) Neuroimaging-pathological correlations of [< sup> 18< /sup> F] THK5351 PET in progressive supranuclear palsy.. [Acta neuropathologica communications, **6** (1), (2018), 53]

Ishiki A, Harada R, Kai H, Sato N, Totsune T, Tomita N, Watanuki S, Hiraoka K, Ishikawa Y, Funaki Y, Iwata R, Furumoto S, Tashiro M, Sasano H, Kitamoto T, Kudo Y, Yanai K, Furukawa K, Okamura N, Arai H

413) Japanese and North American Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative studies: Harmonization for international trials.. [Alzheimer's & dementia : the journal of the Alzheimer's Association, **14** (8), (2018), 1077-1087]

Takeshi Iwatsubo, Atsushi Iwata, Kazushi Suzuki, Ryoko Ihara, Hiroyuki Arai, Kenji Ishii, Michio Senda, Kengo Ito, Takeshi Ikeuchi, Ryozo Kuwano, Hiroshi Matsuda, Chung-Kai Sun, Laurel A Beckett, Ronald C Petersen, Michael W Weiner, Paul S Aisen, Michael C Donohue

414) [18F] THK-5351 PET imaging in early-stage semantic variant primary progressive aphasia: a report of two cases and a literature review.. [BMC neurology, **18** (1), (2018), 109-109]

Ryota Kobayashi, Hiroshi Hayashi, Shinobu Kawakatsu, Aiko Ishiki, Nobuyuki Okamura, Hiroyuki Arai, Koichi Otani

415) Development of the Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System 8-items, a short version of the Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System 21-items, for the assessment of cognitive and daily functions.. [Geriatrics & gerontology international, **18** (10), (2018), 1458-1462]

Kenji Toyoshima, Atsushi Araki, Yoshiaki Tamura, Osamu Iritani, Sumito Ogawa, Koichi Kozaki, Satoru Ebihara, Haruo Hanyu, Hiroyuki Arai, Masafumi Kuzuya, Katsuya Iijima, Takashi Sakurai, Takao Suzuki, Kenji Toba, Hidenori Arai, Masahiro Akishita, Hiromi Rakugi, Koutaro Yokote, Hideki Ito, Shuichi Awata

416) 123I-MIBG myocardial scintigraphy for the diagnosis of DLB: a multicentre 3-year follow-up study.. [Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry, **89** (11), (2018), 1167-1173]

Junji Komatsu, Miharu Samuraki, Kenichi Nakajima, Heii Arai, Hiroyuki Arai, Tetsuaki Arai, Takashi Asada, Hiroshige Fujishiro, Haruo Hanyu, Osamu Iizuka, Eizo Iseki, Kenichi Kashihara, Kenji Kosaka, Hirotaka Maruno, Katsuyoshi Mizukami, Yoshikuni Mizuno, Etsuro Mori, Hiroyuki Nakamura, Seigo Nakano, Kenji Nakashima, Yoshiyuki Nishio, Satoshi Orimo, Akira Takahashi, Junichi Taki, Takahiko Tokuda, Katsuya Urakami, Kumiko Utsumi, Kenji Wada, Yukihiko Washimi, Shouhei Yamashina, Junichi Yamasaki, Mitsuhiro Yoshita, Masahito Yamada

417) Lower Serum Calcium as a Potentially Associated Factor for Conversion of Mild Cognitive Impairment to Early Alzheimer's Disease in the Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative.. [Journal of Alzheimer's disease : JAD, **68** (2), (2019), 777-788]

Kenichiro Sato, Tatsuo Mano, Ryoko Ihara, Kazushi Suzuki, Naoki Tomita, Hiroyuki Arai, Kenji Ishii, Michio Senda, Kengo Ito, Takeshi Ikeuchi, Ryozo Kuwano, Hiroshi Matsuda, Takeshi Iwatsubo, Tatsushi Toda, Atsushi Iwata

418) Transdisciplinary approach for potentially harmful drug-drug interaction detection as a part of a comprehensive medication review and geriatric assessment.. [Geriatrics & gerontology international, **19** (5), (2019), 462-463]

Naoki Tomita, Fumihiro Mizokami, Shigeki Kisara, Hiroyuki Arai

419) Development of geriatric syndromes after taking countermeasures for polypharmacy: an overlooked issue of quitting semiregular single-dose medicine.. [Oxford medical case reports, **2019** (6), (2019), omz047]

Naoki Tomita, Aiko Ishiki, Shoji Okinaga, Katsutoshi Furukawa, Hiroyuki Arai

420) Visualizing modules of coordinated structural brain atrophy during the course of conversion to Alzheimer's disease by applying methodology from gene co-expression analysis.. [NeuroImage. Clinical, **24**, (2019), 101957-101957]

Sato K, Mano T, Matsuda H, Senda M, Ihara R, Suzuki K, Arai H, Ishii K, Ito K, Ikeuchi T, Kuwano R, Toda T, Iwatsubo T, Iwata A, Japanese Alzheimer's, Disease Neuroimaging Initiative

421) Orengedokuto and san'oshashinto improve memory deficits by inhibiting aging-dependent activation of glycogen synthase kinase-3 β.. [Journal of traditional and complementary medicine, **9** (4), (2019), 328-335]

Hironori Fujiwara, Jun Yoshida, Dya Fita Dibwe, Suresh Awale, Haruka Hoshino, Hiroshi Kohama, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Kinzo Matsumoto

422) Adverse motor effects of progressive supranuclear palsy with frontal lobe signs: A case report. [Geriatrics and Gerontology International, **19** (11), (2019), 1184-1186]

Keiko Kunitoki, Tatsushi Mutoh, Hiroyuki Arai, Yasuyuki Taki

423) Voxel-Based Morphometry Reveals a Correlation Between Bone Mineral Density Loss and Reduced Cortical Gray Matter Volume in Alzheimer's Disease.. [Frontiers in aging neuroscience, **12**, (2020), 178-178]

Yumi Takano, Yasuko Tatewaki, Tatsushi Mutoh, Naoya Morota, Izumi Matsudaira, Benjamin Thyreau, Tatsuo Nagasaka, Hayato Odagiri, Shuzo Yamamoto, Hiroyuki Arai, Yasuyuki Taki

424) YAP-dependent necrosis occurs in early stages of Alzheimer's disease and regulates mouse model pathology.. [Nature communications, **11** (1), (2020), 507-507]

Hikari Tanaka, Hidenori Homma, Kyota Fujita, Kanoh Kondo, Shingo Yamada, Xiaocen Jin, Masaaki Waragai, Gaku Ohtomo, Atsushi Iwata, Kazuhiko Tagawa, Naoki Atsuta, Masahisa Katsuno, Naoki Tomita, Katsutoshi Furukawa, Yuko Saito, Takashi Saito, Ayaka Ichise, Shinsuke Shibata, Hiroyuki Arai, Takaomi Saido, Marius Sudol, Shin-Ichi Muramatsu, Hideyuki Okano, Elliott J Mufson, Gen Sobue, Shigeo Murayama, Hitoshi Okazawa

425) Risk factors for adverse drug reactions in older inpatients of geriatric wards at admission: Multicenter study.. [Geriatrics & gerontology international, **20** (2), (2020), 144-149]

Taro Kojima, Toshifumi Matsui, Yusuke Suzuki, Yasushi Takeya, Naoki Tomita, Koichi Kozaki, Masafumi Kuzuya, Hiromi Rakugi, Hiroyuki Arai, Masahiro Akishita

426) Hypoperfusion in the posterior cingulate cortex is associated with lower bone mass density in elderly women with osteopenia and Alzheimer's disease.. [Clinical and experimental pharmacology & physiology, **47** (3), (2020), 365-371]

Yumi Takano, Tatsushi Mutoh, Yasuko Tatewaki, Toshiki Seki, Shuzo Yamamoto, Hayato Odagiri, Hiroyuki Arai, Yasuyuki Taki

427) Transcatheter aortic valve implantation and cognitive function in elderly patients with severe aortic stenosis.. [EuroIntervention : journal of EuroPCR in collaboration with the Working Group on Interventional Cardiology of the European Society of Cardiology, **15** (18), (2020), e1580-e1587]

Satoshi Tsuchiya, Yasuharu Matsumoto, Hideaki Suzuki, Kentaro Takanami, Yoku Kikuchi, Jun Takahashi, Satoshi Miyata, Naoki Tomita, Kiichiro Kumagai, Yasuyuki Taki, Yoshikatsu Saiki, Hiroyuki Arai, Hiroaki Shimokawa

428) 18F-SMBT-1: A Selective and Reversible Positron-Emission Tomography Tracer for Monoamine Oxidase-B Imaging.. [Journal of nuclear medicine : official publication, Society of Nuclear Medicine, (2020)]

Ryuichi Harada, Yoshimi Hayakawa, Michinori Ezura, Pradith Lerdsirisuk, Yiqing Du, Yoichi Ishikawa, Ren Iwata, Miho Shidahara, Aiko Ishiki, Akio Kikuchi, Hiroyuki Arai, Yukitsuka Kudo, Kazuhiko Yanai, Shozo Furumoto, Nobuyuki Okamura

---

総説・解説記事

1) Elevated levels of tau in cerebrospinal fluid: Implications for the antemortem diagnosis of Alzheimer's disease. (Alzheimer Disease Review). [Alzheimer Disease Review, **1**, (1996), 77-83]

Trojanowski JQ, Clark CM, Arai H, Lee V.M-Y

2) Biological markers for the clinical diagnosis of Alzheimer's disease. (Tohoku J Exp Med). [Tohoku J Exp Med, **179** (2), (1996), 65-79]

Arai H

3) アルツハイマー病における生物学的診断マーカーの開発の現状 (神経研究の進歩). [神経研究の進歩, **41** (1), (1997), 130-139]

荒井啓行, 中川琢磨, 小坂陽一, 他

4) Apolipoprotein E genotyping and cerebrospinal fluid tau protein: implications for the clinical diagnosis of Alzheimer's disease. (Gerontology). [Gerontology, **43 Suppl 1**, (1997), 2-10]

Arai H, Higuchi S, Sasaki H

5) 痴呆性疾患の分子遺伝学およびその臨床診断への応用. [東北医学雑誌, **109** (1), (1997), 45-48]

荒井啓行

6) New strategies for aspiration pneumonia. (Intern Med). [Intern Med, **36** (12), (1997), 851-855]

Sasaki H, Sekizawa K, Yanai M, Arai H, Yamaya M, Ohrui T

7) 身体動揺に及ぼす加齢の影響：めまい及び関連症候群における検討. [東北大学医療技術短期大学部紀要, **7** (2), (1998), 155-160]

堀川悦夫, 中村貴志, 樋口真人, 荒井啓行, 佐々木英忠, 塚原保夫, 樹神学

8) Effects of air pollution and smoking on chronic obstructive pulmonary disease and bronchial asthma. (Tohoku J Exp Med). [Tohoku J Exp Med, **186** (3), (1998), 151-167]

Sasaki H, Sekizawa K, Yanai M, Arai H, Yamaya M, Ohrui T

9) 【老化研究の新たな挑戦　分子機構と疾患解明へのアプローチ】　臓器・個体レベルの老化と疾病　老年病の予防に向けた遺伝子多型の応用　老年期痴呆症における遺伝子多型とその臨床的応用 (実験医学). [実験医学, **16** (18), (1998), 2398-2404]

荒井啓行, 樋口真人, 松井敏史, 佐々木英忠, 樋口進, 松下幸生

10) Apolipoprotein E and Alzheimer's disease: Therapeutic implications. [CNS Drugs, **11** (6), (1999), 411-420]

M. Higuchi, H. Arai, N. Okamura, M. Tashiro, T. Matsui, S. Higuchi, S. Matsushita, H. Sasaki

11) 老年痴呆症と遺伝子多型. [日本老年医学会雑誌, **36** (4), (1999), 251-255]

荒井啓行

12) 高齢者の易転倒性の評価：重心動揺と自覚症状との関連. [東北大学医療技術短期大学部紀要, **8** (2), (1999), 183-190]

堀川悦夫, 中村貴志, 松井敏史, 岡村信行, 樋口真人, 荒井啓行, 佐々木英忠, 塚原保夫, 樹神学

13) 抗ヒスタミン薬エバスチンの臨床薬理試験：認知機能検査による眠気の評価. [臨床薬理, **31** (1), (2000), 55-56]

田川正秋, 鹿野理子, 岡村信行, 樋口真人, 松田通明, 水木康之, 藤井敏彦, 荒井啓行, 佐々木英忠, 渡邉建彦, 谷内一彦

14) 老人性肺炎発症機序とその対応. [口腔 · 咽頭科 = Stomato-pharyngology, **12** (2), (2000), 185-190]

山谷睦雄, 矢内勝, 大類孝, 荒井啓行, 中山勝敏, 佐々木英忠

15) 【アルツハイマー病】アルツハイマー病の病態からみた診断と治療 早期診断と早期治療は可能か. [細胞, **32** (4), (2000), 135-138]

荒井 啓行, 樋口 進, 岡村 信行, 松井 敏史, 中條 和志, 鈴木 朋子, 新川 光俊, 丹治 治子, 堀川 悦夫, 森川 雄一, 胡 夏生, 佐々木 英忠

16) Interventions to prevent pneumonia among older adults. (J Am Geriatr Soc). [J Am Geriatr Soc, **49** (1), (2001), 85-90]

Yamaya M, Yanai M, Ohrui T, Arai H, Sasaki H

17) アルツハイマー病およびその関連疾患の診断マーカーとしての脳脊髄液中βアミロイド (1-42) 測定の基礎的 · 臨床的検討. [Psychogeriatrics : the official journal of the Japanese Psychogeriatric Society, **1** (1), (2001), 56-63]

武田雅俊, 田中稔久, 荒井啓行, 佐々木英忠, 東海林幹夫, 岡本幸市, 浦上克哉, 中島健二, 松林武之, 杉田光礼, 吉田博

18) < 原著 > アルコール依存症患者における身体動揺の分析 : 加齢の影響. [東北大学医療技術短期大学部紀要, **10** (2), (2001), 161-166]

堀川悦夫, 樋口進, 松下幸生, 荒井啓行, 佐々木英忠

19) ドーパミン代謝調節による老人性肺炎の予防. [日本老年医学会雑誌, **38** (6), (2001), 778-779]

佐藤琢磨, 和田秀樹, 荒井啓行, 佐々木英忠

20) 癌患者における神経免疫連関に関する画像的研究:NK 細胞活性および局所脳代謝の相関. [日本神経精神薬理学雑誌 = Japanese journal of psychopharmacology, **21** (6), (2001)]

田代学, 伊藤正敏, 窪田和雄, 山口慶一郎, 尾崎郁, 力丸尚, マスッド M, 谷内一彦, 渡辺健彦, 荒井啓行, 佐々木英忠

21) 加齢と呼吸機能. [日本臨床生理学会雑誌 = Japanese journal of applied physiology, **32** (1), (2002), 11-13]

大類孝, 山谷睦雄, 荒井啓行, 松井敏史, 佐々木英忠

22) < 原著 > 高齢者の認知機能と運転行動の関係について : Trail Making Test と運転シミュレータを用いての検討. [東北大学医療技術短期大学部紀要, **11** (1), (2002), 25-36]

堀川悦夫, 田野通保, 大門敏男, 丸山将浩, 岡村信行, 松井敏史, 荒井啓行, 佐々木英忠, 樹神学

23) Prevention of respiratory infections in the elderly. (Geriatric and Gerontology International). [Geriatric and Gerontology International, **2**, (2002), 115-121]

Yamaya M, Ohrui T, Kubo H, Ebihara S, Arai H, Sasaki H

24) 【痴呆の研究と治療の最前線　Mild Cognitive Impairment(MCI) と早期アルツハイマー病】　Mild Cognitive Impairment とアルツハイマー病の早期診断 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **16** (1), (2002), 31-40]

荒井啓行, 樋口進, 佐々木英忠

25) 【老年症候群と高齢者に対する総合機能評価】　総合機能評価を用いた慢性疾患の治療戦略　痴呆性疾患の早期診断 · 早期治療へのストラテジー (日本医師会雑誌). [日本医師会雑誌, **127** (11), (2002), 1835-1838]

荒井啓行, 丸山将浩, 佐々木英忠

26) [Progress in the field of pulmonary medicine in the last 100 years: Medical history of aspiration pneumonitis] (Nippon Naika Gakkai Zasshi). [Nippon Naika Gakkai Zasshi, **91** (6), (2002), 1790-1793]

Sasaki Hidetada, Arai Hiroyuki, Yamaya Mutsuo, Orui Takashi

27) III. 主要疾患の歴史 : 11. 誤嚥性肺炎. [日本内科学会雑誌, **91** (6), (2002), 1790-1793]

佐々木英忠, 荒井啓行, 山谷睦雄, 大類孝

28) 老年精神医学の専門医のために　高齢者のおもな身体症状 (老年精神医学雑誌). ［老年精神医学雑誌, **13**（7）,（2002）, 839-845］

荒井啓行, 佐藤琢磨, 小坂陽一, 佐々木英忠

29) 脳卒中後の患者の嚥下反射を改善する鍼治療の検討 (< 特集 > Human PSI Forum "Human Potential Science" Internationl Forum「潜在能力の科学」国際フォーラム：物理・生理学的アプローチ Joint with 「こころと体の不思議」国際フォーラム 第 14 回生命情報科学シンポジウム (国際版) 2002 年 8 月 22〜27 日 (木〜火) 於：千葉市 幕張新都心 OVTA(オブタ)). ［Journal of International Society of Life Information Science, **20**（2）,（2002）, 633-636］

関隆志, 来須正幸, 丹治治子, 荒井啓行, 佐々木英忠

30) アルツハイマー病研究の進歩 Biomarker 研究から見た Mild cognitive impairment とアルツハイマー病の早期診断 (日本老年医学会雑誌). ［日本老年医学会雑誌, **40**（1）,（2003）, 22-26］

荒井啓行

31) Picot's Caregivers' Reward Scale 日本語版作成と職業介護者ポジティブゲイン尺度との比較. ［東北大学医療技術短期大学部紀要, **12**（1）,（2003）, 27-34］

堀川悦夫, 中村貴志, 佐野幸子, 小川敏之, 林崎光弘, 松井敏文, 荒井啓行, 佐々木英恵, 北村晴朗

32) アルツハイマー病における髄液中リン酸化タウ蛋白の測定. ［精神神經學雜誌 = Psychiatria et neurologia Japonica, **105**（4）,（2003）, 393-397］

浦上克哉, 伊藤伸朗, 荒井啓行, 石黒幸一, 大野英人, 中島健二

33) 高齢者の誤嚥性肺炎. ［日本老年医学会雑誌, **40**（4）,（2003）, 305-313］

大類孝, 山谷睦雄, 荒井啓行, 佐々木英忠

34) 8-イソプロスタンは高血圧者で高値を示す (日本高血圧学会総会 26 回プログラム・抄録集). ［日本高血圧学会総会 26 回プログラム・抄録集,（2003）, 154-154］

寳澤篤, 海老原覚, 大森芳, 栗山進一, 大久保孝義, 宇賀神卓嗣, 小泉弥生, 鈴木寿則, 松井敏史, 荒井啓行, 坪野吉孝, 今井潤, 佐々木英忠, 辻一郎

35) プリオン病診断のための臨床検査. ［臨床神経学：CLINICAL NEUROLOGY, **43**（11）,（2003）, 810-812］

志賀裕正, 宮澤康一, 武田篤, 荒井啓行, 堂浦克美, 糸山泰人

36) アルツハイマー病の Activation Study (老年期痴呆研究会誌). ［老年期痴呆研究会誌, **13**,（2003）, 105-108］

岡村信行, 荒井啓行, 樋口真人, 松井敏史, 佐々木英忠, 伊藤正敏, 山口慶一郎, 田代学

37) 都市在住の高齢者におけるソーシャル・サポートと抑うつ症状の関連性. ［日本老年医学会雑誌, **41**（4）,（2004）, 426-433］

小泉 弥生, 荒井 啓行, 辻 一郎, 粟田 主一, 関 徹, 中谷 直樹, 栗山 進一, 鈴木 寿則, 大森 芳, 寳澤 篤, 海老原 覚

38) 【痴呆症学　高齢社会と脳科学の進歩】臨床編　各論　一般身体疾患による痴呆　電解質異常による痴呆様症状 (日本臨床). ［日本臨床, **62**（増刊 1 痴呆症学 (2)）,（2004）, 404-408］

荒井啓行, 佐藤琢磨

39) [Diagnosing the mild cognitive impairment stage of Alzheimer's disease] (Seishin Shinkeigaku Zasshi). ［Seishin Shinkeigaku Zasshi, **106**（3）,（2004）, 269-280］

Maruyama Masahiro, Matsui Toshifumi, Tanji Haruko, Ootsuki Mari, Nemoto Miyako, Tomita Naoki, Okamura Nobuyuki, Matsushita Sachio, Higuchi Susumu, Kodama Manabu, Arai Hiroyuki, Sasaki Hidetada

40) 【痴呆症学 高齢社会と脳科学の進歩】Mild cognitive impairment(MCI) 診断と鑑別診断. ［日本臨床, **62**（増刊 4 痴呆症学 (3)）,（2004）, 287-292］

樋口 真人, 荒井 啓行, 岡村 信行, 丸山 将浩, 佐々木 英忠

41) 065 塩酸ドネペジルと加味温胆湯併用療法によるアルツハイマー病に対する治療効果の比較検討 (14 精神・心理 (4)). ［日本東洋醫學雜誌, **55**,（2004）］

丸山将浩, 来須正幸, 丹治治子, 小林誠一, 関隆志, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠, 花輪壽彦

42) 208 1 回の経穴鍼刺激と目の機能的変化 (44 眼科).［日本東洋醫學雜誌, **55**,（2004）］

来須正幸, 関隆志, 渡辺慶, 相良淑子, 小林誠一, 丸山将浩, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠

43) 067 八味地黄丸が有効であった老年期痴呆の一例 (14 精神 · 心理 (4)).［日本東洋醫學雜誌, **55**,（2004）］

小林誠一, 岩崎鋼, 根本都, 来須正幸, 関隆志, 佐々木英忠, 荒井啓行

44) 080 麻黄附子細辛湯が高齢者におけるインフルエンザワクチン接種に及ぼす影響 (17 感染症).［日本東洋醫學雜誌, **55**,（2004）］

岩崎鋼, 秋葉哲生, 小林誠一, 関隆志, 丁宗鉄, 荒井啓行

45) 092 嚥下反射を改善する足三里と太谿への針治療の検討 (19 嚥下障害).［日本東洋醫學雜誌, **55**,（2004）］

関隆志, 来須正幸, 荒井啓行, 佐々木英忠

46) 220 アレルギー性鼻炎に対する小青竜湯とタリオンの併用効果及び眠気について (46 耳鼻科 (2)).［日本東洋醫學雜誌, **55**,（2004）］

新川光俊, 関隆志, 小林誠一, 石沢興太, 根本都, 丸山将浩, 来須正幸, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠

47) 抗痴呆薬.［日本老年医学会雑誌, **41**（3）,（2004）, 310-313］

荒井啓行

48) Mild cognitive impairment–beyond controversies, towards a consensus: report of the International Working Group on Mild Cognitive Impairment. (J Intern Med).［J Intern Med, **256**（3）,（2004）, 240-246］

Winblad B, Palmer K, Kivipelto M, Jelic V, Fratiglioni L, Wahlund L-O, Nordberg A, Backman L, Albert M, Almkvist O, Arai H, Basun H, Blennow K, de Leon M, DeCarli C, Erkinjuntti T, Giacobini E, Graff C, Hardy J, Jack C, Jorm A, Ritchie K, van Duijn C, Visser P, Petersen R C

49) P-254 高齢者を対象とした高血圧治療薬服用状況調査：鶴ヶ谷寝たきり予防健診の結果から (17. 在宅医療 · 医薬分業,"薬剤師がつくる薬物治療"-薬 · 薬 · 学の連携-).［日本医療薬学会年会講演要旨集, **14**,（2004）］

小林満, 大森芳, 海老原覚, 寶澤篤, 栗山進一, 尾形美樹子, 松井敏史, 辻一郎, 荒井啓行, 佐々木英忠

50) 【痴呆の早期診断 · 治療と総合的機能評価　もの忘れ外来の現状と役割】　痴呆診断の基礎　バイオマーカーを用いた痴呆神経医学の構築 (Progress in Medicine).［Progress in Medicine, **24**（10）,（2004）, 2425-2432］

冨田尚希, 根本都, 丸山将浩, 松井敏史, 古本祥三, 工藤幸司, 荒井啓行, 佐々木英忠

51) Mild cognitive impairment の概念とその臨床的多様性 (臨床神経学).［臨床神経学, **44**（11）,（2004）, 924-928］

荒井啓行

52) 【脳機能】　脳脊髄液を用いたアルツハイマー病の臨床検査診断 (臨床検査).［臨床検査, **48**（13）,（2004）, 1665-1671］

玉水昌子, 丸山将浩, 荒井啓行

53) 多巣性運動ニューロパチー (MMN) における髄液タウ蛋白値上昇 (臨床神経学).［臨床神経学, **44**（12）,（2004）, 1075-1075］

水野秀紀, 中島一郎, 志賀裕正, 武田篤, 荒井啓行, 糸山泰人

54) アルツハイマー病　軽度認知機能障害と痴呆症の早期診断 (日本医師会雑誌).［日本医師会雑誌, **133**（2）,（2005）, 275-275］

荒井啓行

55) 脳内移行性アンギオテンシン変換酵素阻害剤投与によるアルツハイマー病の進展抑制効果 (日本老年医学会雑誌).［日本老年医学会雑誌, **42**（1）,（2005）, 126-126］

大類孝, 冨田尚希, 荒井啓行, 佐々木英忠

56) 誤嚥に対する太谿と足三里の針治療の嚥下造影検査による検討 (日本老年医学会雑誌).［日本老年医学会雑誌, **42**（1）,（2005）, 124-125］

関隆志, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠

57) 抑肝散の老年期痴呆における行動および心理的症状 (BPSD) と ADL に及ぼす効果, 観察者盲検ランダム化比較臨床試験 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (1), (2005), 124-124]

岩崎鋼, 佐藤琢磨 [中川] , 丸山将浩, 門馬靖武, 根本都, 富田尚希, 丹治治子, 藤原博典, 関隆志, 藤原昌彦, 荒井啓行, 佐々木英忠

58) 要介護高齢者の在宅ケア 介護負担軽減に向けて 痴呆性疾患患者をもつ介護者における介護負担感と介護サービスの利用状況 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (2), (2005), 192-194]

丸山将浩, 丹治治子, 荒井啓行, 佐々木英忠

59) アルツハイマー病診断・評価基準試案 (臨床神経学). [臨床神経学, **45** (2), (2005), 128-137]

東海林幹夫, 桑野良三, 朝田隆, 今川正樹, 樋口進, 浦上克哉, 荒井啓行, 井原康夫

60) より質の高い漢方医学研究と漢方医学教育をめざして　脳・老化と漢方医学 (日本薬学会 125 年会講演要旨集). [日本薬学会 125 年会講演要旨集, (1), (2005), 133-133]

荒井啓行

61) 【痴呆・認知障害の実地診療 治療と予防】外来における痴呆症診断の実際. [臨牀と研究, **82** (3), (2005), 398-402]

丸山 将浩, 冨田 尚希, 根本 都, 樋口 真人, 岩崎 鋼, 関 隆志, 工藤 幸司, 岡村 信行, 荒井 啓行, 佐々木 英忠

62) 【痴呆性疾患の新しい展開】　痴呆性疾患の治療をめぐる新たなアプローチ　MCI(mild cognitive impairment) (クリニシアン). [クリニシアン, **52** (2), (2005), 169-181]

根本都, 樋口真人, 荒井啓行

63) 【痴呆の臨床】　軽度認知機能障害と痴呆予防 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **19** (1), (2005), 60-66]

荒井啓行

64) 痴呆症の心理行動学的症状 (いわゆる問題行動,BPSD) と ADL に対する抑肝散の効果, ランダム化単純盲検比較試験 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **56** (別冊), (2005), 223-223]

岩崎鋼, 丸山将浩, 根本都, 関隆志, 荒井啓行, 佐々木英忠

65) Donepezil と加味温胆湯併用療法によるアルツハイマー病に対する治療効果の比較検討 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **56** (別冊), (2005), 222-222]

丸山将浩, 来須正幸, 小林誠一, 藤原博典, 関隆志, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠, 花輪壽彦

66) 脳血管障害患者の嚥下障害に対する足三里・太谿への針治療 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **56** (別冊), (2005), 217-217]

関隆志, 林秀生, 山田思鶴, 岩崎鋼, 鳥羽研二, 荒井啓行, 佐々木英忠

67) In vitro における釣藤鈎抽出エキスによるアミロイド蛋白の凝集制御機構の検討 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **56** (別冊), (2005), 161-161]

藤原博典, 岩崎鋼, 荒井啓行, 丸山将浩, 根本都, 佐々木英忠

68) 脳血管障害患者の嚥下障害に対する足三里・太谿への針治療 (29 鍼灸 (6), 第 56 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雑誌, **56**, (2005)]

関隆志, 林秀生, 山田思鶴, 岩崎鋼, 鳥羽研二, 荒井啓行, 佐々木英忠

69) 高齢者神経・精神疾患と漢方治療 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 138-138]

荒井啓行

70) 緑茶摂取と認知機能に関する横断研究　鶴ヶ谷寝たきり予防健診 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 93-93]

栗山進一, 寳澤篤, 大森芳, 島津太一, 松井敏史, 海老原覚, 粟田主一, 永富良一, 荒井啓行, 辻一郎

71) 嚥下反射に対する温度感受性受容体 (TRP スーパーファミリー) 刺激効果 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 90-90]

城戸亜矢, 海老原孝枝, 海老原覚, 大類孝, 山谷睦雄, 荒井啓行, 佐々木英忠

72) 緑内障に対する鍼灸治療の検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 77-77]

関隆志, 来須正幸, 相良淑子, 布施昇男, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠

73) 痴呆症の心理行動学的症状 (いわゆる問題行動,BPSD) と ADL に対する抑肝散の効果, ランダム化単純盲検比較試験 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 68-68]

岩崎鋼, 丸山将浩, 根本都, 関隆志, 荒井啓行, 佐々木英忠

74) 高齢者誤嚥性肺炎リスクファクターに対するカプサイシントローチの効果 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 58-58]

海老原孝枝, 高橋秀徳, 海老原覚, 渡戸亜矢, 岡崎達馬, 佐々木陽彦, 根本都, 山谷睦雄, 荒井啓行, 佐々木英忠

75) 老年医療における Controversy　アルツハイマー病は血管病として治療すべきである　Pro (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **42** (Suppl.), (2005), 42-42]

荒井啓行

76) 【痴呆症の最新情報　治せる痴呆を見逃さないために】　内科疾患に伴う treatable dementia　電解質異常による痴呆様症状 (内科). [内科, **95** (5), (2005), 847-851]

中條和志, 佐藤琢磨, 荒井啓行, 佐々木英忠

77) 痴呆治療における最前線　Better Outcomes for Patients　Mild cognitive impairment の概念とその臨床的 · 病因論的多様性 (臨床精神薬理). [臨床精神薬理, **8** (5), (2005), 808-818]

荒井啓行

78) 【アルツハイマー病研究の最前線 基礎と臨床】MCI の概念とアルツハイマー病. [神経研究の進歩, **49** (3), (2005), 402-410]

丸山 将浩, 冨田 尚希, 根本 都, 藤原 博典, 関 隆志, 岩崎 鋼, 岡村 信行, 古本 祥三, 工藤 幸司, 荒井 啓行, 佐々木 英忠

79) アミロイドイメージング用 PET プローブ BF-227 の開発 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **19** (2), (2005), 155-155]

岡村信行, 古本祥三, 加藤元久, 丸山将浩, 荒井啓行, 赤津裕康, 山本孝之, 澤田徹, 谷内一彦, 工藤幸司

80) 認知症 (痴呆症) の早期診断 · 予防戦略を考える (Dementia Japan). [Dementia Japan, **19** (2), (2005), 124-124]

荒井啓行

81) 【アルツハイマー病　最近の動向】　一次予防に向けたアルツハイマー病の早期診断 (日本医師会雑誌). [日本医師会雑誌, **134** (6), (2005), 1037-1041]

荒井啓行

82) 新規アミロイドイメージング剤 [11C] BF227 の合成と評価. [核医学, **42** (3), (2005), 342-342]

古本 祥三, 岡村 信行, 岩田 錬, 石川 洋一, 丸山 将浩, 赤津 裕康, 澤田 徹, 伊藤 正敏, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

83) 脳血流 SPECT 画像を用いたアルツハイマー病患者と正常者の弁別読影精度を数値解析で予測する試み (核医学). [核医学, **42** (3), (2005), 313-313]

志田原美保, 井上健太郎, 瀧靖之, 岡田賢, 後藤了以, 木之村重男, 福田寛, 丸山将浩, 荒井啓行

84) 軽度認知機能障害の現在の概念と将来の研究の方向性 (Psychogeriatrics). [Psychogeriatrics, **5** (3), (2005), 83-88]

荒井啓行

85) MM2 型孤発性クロイツフェルト · ヤコブ病の臨床診断 (臨床神経学). [臨床神経学, **45** (12), (2005), 1162-1162]

浜口毅, 北本哲之, 佐藤猛, 水澤英洋, 中村好一, 野口もえ子, 古川裕, 久慈一英, 三谷和子, 村山繁雄, 郡山達男, 山下真理子, 川上明男, 井原雄悦, 黒田重利, 鈴木直輝, 志賀裕正, 荒井啓行, 山田正仁

86) アルツハイマー病診断マーカーとしての髄液中 WGA 結合糖タンパク質 (臨床神経学). [臨床神経学, **45** (12), (2005), 1146-1146]

谷口美也子, 木村有希, 斎藤潤, 荒井啓行, 和田健二, 涌谷陽介, 中島健二, 浦上克哉

87) Diagnosis and management of dementia with Lewy bodies: third report of the DLB Consortium. (Neurology). [Neurology, **65** (12), (2005), 1863-1872]

McKeith I G, Dickson D W, Lowe J, Emre M, O'Brien J T, Feldman H, Cummings J, Duda J E, Lippa C, Perry E K, Aarsland D, Arai H, Ballard C G, Boeve B, Burn D J, Costa D, Del Ser T, Dubois B, Galasko D, Gauthier S, Goetz C G, Gomez-Tortosa E, Halliday G, Hansen L A, Hardy J, Iwatsubo T, Kalaria R N, Kaufer D, Kenny R A, Korczyn A, Kosaka K, Lee V M Y, Lees A, Litvan I, Londos E, Lopez O L, Minoshima S, Mizuno Y, Molina J A, Mukaetova-Ladinska E B, Pasquier F, Perry R H, Schulz J B, Trojanowski J Q, Yamada M

88) 老人斑画像化プローブ [11C] BF227 の合成と評価 (日本薬学会 126 年会講演要旨集). [日本薬学会 126 年会講演要旨集, (2), (2006), 68-68]

古本祥三, 岡村信行, 石川洋一, 船木善仁, 加藤元久, 田代学, 澤田徹, 伊藤正敏, 谷内一彦, 岩田錬, 荒井啓行, 工藤幸司

89) 抑肝散のレビー小体病に見られる幻視 · 幻覚に対する効果 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (2), (2006), 255-255]

岩崎鋼, 藤原博典, 関隆志, 荒井啓行, 佐藤琢磨, 丸山将浩, 根本都, 富田尚希, 丹治治子, 佐々木英忠

90) 緑内障に対する針刺激の検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (2), (2006), 255-255]

関隆志, 来須正幸, 布施昇男, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠

91) 【アルツハイマー病　臨床医が診断後なすべきこと】　認知症診断に役立つ補助検査法　生物学的診断マーカーと脳分子イメージング (Cognition and Dementia). [Cognition and Dementia, **5** (2), (2006), 101-105]

荒井啓行, 工藤幸司

92) MCI と LNTD をめぐって　MCI の多様性をめぐる問題点 (精神医学). [精神医学, **48** (5), (2006), 555-559]

荒井啓行, 古川勝敏, 岩崎鋼, 関隆志

93) レビー小体病の幻視に対する抑肝散の効果 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **57** (別冊), (2006), 259-259]

岩崎鋼, 荒井啓行, 関隆志

94) 緑内障に対する鍼治療の検討 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **57** (別冊), (2006), 205-205]

関隆志, 来須正幸, 相良淑子, 布施昇男, 岩崎鋼, 藤原博典, 古川勝敏, 荒井啓行, 佐々木英忠

95) 認知症の周辺症状と抑肝散 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 146-146]

荒井啓行

96) 緑内障患者に対する鍼灸治療の QOL の改善効果の検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 131-131]

関隆志, 布施昇男, 岩崎鋼, 荒井啓行, 佐々木英忠

97) 3 軸加速度計を用いて測定した地域在宅高齢者の歩行の安定性と転倒との関係 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 109-109]

中村貴志, 納戸美佐子, 八尾博史, 荒井啓行, 佐々木英忠

98) アルツハイマー病における認識と長期 donepezil 投与 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 97-97]

冨田尚希, 丸山将浩, 岩崎鋼, 樋口都, 筒井美穂, 古川勝敏, 荒井啓行

99) 釣藤鈎抽出エキスのアミロイド蛋白質の産生と凝集に対する影響 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 95-95]

古川勝敏, 関隆志, 岩崎鋼, 荒井啓行

100) Donepezil と加味温胆湯併用療法によるアルツハイマー病に対する治療効果の比較検討. [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 94-94]

丸山 将浩, 冨田 尚希, 筒井 美穂, 鈴木 朋子, 関 隆志, 岩崎 鋼, 古川 勝敏, 岡村 信行, 樋口 真人, 荒井 啓行

101) 大脳白質病変の危険因子についての検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 76-76]

冨田尚希, 筒井美穂, 樋口都, 丸山将浩, 古川勝敏, 荒井啓行

102) 日常臨床で遭遇する症例に対して具体的なアプローチ　軽症認知症患者に考慮すべき検査と治療 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (Suppl.), (2006), 41-41]

荒井啓行

103) 184 レビー小体病の幻視に対する抑肝散の効果 (老年医学, 一般演題, 第 57 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **57**, (2006)]

岩崎鋼, 荒井啓行, 関隆志

104) レビー小体病の幻視、幻覚に抑肝散加陳皮半夏が有効であった一例 (劇的に効いた漢方の経験:ベストケースをエビデンスとするために, ラウンドテーブルディスカッション 2, 特別演題, 第 57 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **57**, (2006)]

岩崎鋼, 荒井啓行

105) 080 緑内障に対する鍼治療の検討 (鍼灸 4, 一般演題, 第 57 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **57**, (2006)]

関隆志, 来須正幸, 相良淑子, 布施昇男, 岩崎鋼, 藤原博典, 古川勝敏, 荒井啓行, 佐々木英忠

106) 脳内アミロイドβ蛋白およびタウ蛋白の PET イメージング技術の開発 (INNERVISION). [INNERVISION, **21** (7), (2006), 43-43]

岡村信行, 谷内一彦, 古本祥三, 工藤幸司, 荒井啓行

107) 老年医療における Controversy アルツハイマー病は血管病として治療すべきである (Pro) (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (4), (2006), 449-452]

荒井啓行

108) 老年病専門医はどうあるべきか 大学病院からみた老年病専門医の役割 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (4), (2006), 433-436]

大類孝, 山谷睦雄, 佐々木英忠, 荒井啓行

109) 【アルコールの功罪と性差】　アルコールによる老化の性差 (性差と医療). [性差と医療, **3** (8), (2006), 845-849]

海老原孝枝, 海老原覚, 荒井啓行

110) この症例から何を学ぶか アルツハイマー病への進行予測を要した軽度認知機能障害の 2 例 (Medical Practice). [Medical Practice, **23** (7), (2006), 1264-1269]

丸山将浩, 大槻真理, 冨田尚希, 筒井美穂, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 樋口真人, 須原哲也, 荒井啓行

111) In vitro および in vivo における牡丹皮抽出エキスによるアミロイド蛋白の凝集制御機構の検討 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **20** (2), (2006), 174-174]

藤原博典, 岩崎鋼, 古川勝敏, 関隆志, 荒井啓行

112) 統合医療における医工学の役割　自律神経活動の解析を中心とした医工学的評価方法の開発 (日本統合医療学会誌). [日本統合医療学会誌, **3** (1), (2006), 31-37]

仁田新一, 金野敏, 川田浩, 山家智之, 関隆志, 荒井啓行, 杉田典大, 吉澤誠

113) アミロイドβ蛋白の脳内沈着に対するドコサヘキサエン酸による減衰作用　in vivo と i vitro (脂質栄養学). [脂質栄養学, **15** (2), (2006), 158-158]

橋本道男, 山下慎司, 片倉賢紀, 田邊洋子, 藤原博典, 蒲生修治, 仲川清隆, 宮澤陽夫, 荒井啓行, 紫藤治

114) 認知症の周辺症状に対する薬物療法 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **43** (5), (2006), 549-553]

荒井啓行

115) 誤嚥性肺炎の薬物療法　これからの展望 (呼吸器科). [呼吸器科, **10** (3), (2006), 204-211]

海老原覚, 海老原孝枝, 荒井啓行

116) 脳アミロイドの分子イメージング (Current Insights in Neurological Science). [Current Insights in Neurological Science, **14** (2), (2006), 8-9]

工藤幸司, 荒井啓行

117) 新規アミロイドイメージング剤 [11C] BF227 の臨床評価. [核医学, **43** (3), (2006), 235-235]

古本 祥三, 岡村 信行, 田代 学, 船木 善仁, 石川 洋一, 古川 勝敏, 伊藤 正敏, 岩田 錬, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

118) アルツハイマー病 Update アルツハイマー病研究 基礎研究が臨床研究に語りかけるもの (臨床神経学). [臨床神経学, **46** (11), (2006), 931-934]

荒井啓行

119) 座長の言葉. [臨床神経学 : CLINICAL NEUROLOGY, **46** (11), (2006)]

岩坪威, 荒井啓行

120) アルツハイマー病におけるシナプス障害 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **20** (3), (2006), 253-261]

古川勝敏, 温世栄, 岡村信行, 工藤幸司, 荒井啓行

121) 【軽度認知障害　認知症克服のキーコンセプト】軽度認知障害　新たな注目点　漢方薬への期待 (Modern Physician). [Modern Physician, **26** (12), (2006), 1877-1881]

荒井啓行

122) Dementia with Lewy bodies の薬物治療ー漢方法剤「抑肝散」の効果ー (Dementia Japan). [Dementia Japan, **21** (1), (2007), 81-88]

荒井啓行, 岩崎鋼, 古川勝敏, 関隆志, 筒井美保

123) アミロイド画像化用プローブ [11C] BF-227 の臨床評価 (日本薬理学雑誌). [日本薬理学雑誌, **129** (1), (2007), 8P-8P]

岡村信行, 古本祥三, 田代学, 加藤元久, 伊藤啓, 稲田義行, 古川勝敏, 荒井啓行, 岩田錬, 工藤幸司, 谷内一彦

124) アルツハイマー病のアミロイドを検出する新規 PET プローブ (日本薬理学雑誌). [日本薬理学雑誌, **129** (1), (2007), 7P-7P]

伊藤啓, 岡村信行, 加藤元久, 古本祥三, 赤津裕康, 山本孝之, 稲田義行, 荒井啓行, 工藤幸司, 谷内一彦

125) 健常高齢者における全脳及び局所灰白質量と認知力との相関　volumetry 及び voxel-based morphometry による解析 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (1), (2007), 138-138]

瀧靖之, 木之村重男, 佐藤和則, 内田信也, 後藤了以, 井上健太郎, 辻一郎, 荒井啓行, 川島隆太, 福田寛

126) アルツハイマー病における統合医療の試み (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (1), (2007), 138-138]

岩崎鋼, 荒井啓行, 丸山将浩, 富田尚希

127) 黒胡椒嗅覚刺激による嚥下反射改善法の開発 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (1), (2007), 137-137]

海老原覚, 海老原孝枝, 佐々木英忠, 荒井啓行, 小林満

128) アセチルコリンエステラーゼ阻害剤の中止により麻痺性イレウスを呈した 1 例 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (1), (2007), 137-137]

古川勝敏, 岡崎達馬, 山谷睦雄, 荒井啓行

129) 交感神経機能不全に伴い顕在化した高齢者ダンピング症候群の 1 症例. [日本老年医学会雑誌, **44** (1), (2007), 136-136]

大類 孝, 山田 充啓, 浅田 成紀, 石沢 興太, 海老原 覚, 佐々木 英忠, 荒井 啓行

130) 病理像を画像化する分子神経イメージング法による Alzheimer 病の早期診断ー日本での BF ー 227 の開発と臨床応用ー (医学のあゆみ). [医学のあゆみ, **220**, (2007), 404-408]

荒井啓行, 工藤幸司

131) 【認知症への総合的アプローチ】 アルツハイマー病の診断と治療戦略　アルツハイマー病の薬物治療 (Clinical Neuroscience). [Clinical Neuroscience, **25** (2), (2007), 181-184]

藤原博典, 古川勝敏, 荒井啓行

132) 【Alzheimer 病　基礎 · 臨床研究の最新動向】 診断 · 治療　病理像を画像化する分子神経イメージング法による Alzheimer 病の早期診断　日本での BF-227 の開発と臨床応用 (医学のあゆみ). [医学のあゆみ, **220** (5), (2007), 404-408]

荒井啓行, 工藤幸司

133) 日常臨床で遭遇する症例に対して具体的なアプローチ 軽症認知症患者に考慮すべき検査と治療 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (2), (2007), 206-208]

荒井啓行

134) 【セカンドオピニオン実践ガイド　実地診療にも役立つ病期 · 病態別治療指針】 主要疾患の病期 · 病態別治療法 認知症 (Medical Practice). [Medical Practice, **24** (臨増), (2007), 321-326]

荒井啓行, 佐藤学

135) 健常高齢 ex-smoker における咳反射の検討 (日本呼吸器学会雑誌). [日本呼吸器学会雑誌, **45** (増刊), (2007), 153-153]

海老原覚, 海老原孝枝, 浅田成紀, 矢満田慎介, 山崎都, 荒井啓行

136) 【注目されるべき脳卒中後肺炎と脳卒中後うつ病】 ACE 阻害薬による脳卒中後肺炎の予防とその適応 (成人病と生活習慣病). [成人病と生活習慣病, **37** (4), (2007), 423-427]

海老原覚, 海老原孝枝, 荒井啓行

137) 【シヌクレイノパチーの臨床と基礎研究】 Dementia with Lewy bodies の薬物治療　漢方方剤「抑肝散」に着目して (Dementia Japan). [Dementia Japan, **21** (1), (2007), 81-88]

荒井啓行, 岩崎鋼, 古川勝敏, 筒井美保

138) 鍼灸所見の臨床的意義と客観化　六部定位の脈診について 脈波情報の客観化と脈診 (全日本鍼灸学会雑誌). [全日本鍼灸学会雑誌, **57** (2), (2007), 116-118]

丸山満也, 金野敏, 仁田新一, 高島充, 白石泰之, 山家智之, 関隆志, 荒井啓行, 太田信, 劉磊, 白井敦, 早瀬敏幸

139) アルツハイマー型認知症高齢者の歩行中の眼球運動と転倒との関連 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (Suppl.), (2007), 82-82]

中村貴志, 荒井啓行

140) 黒胡椒パッチタイプ芳香シートの高齢者嚥下反射に対する効果 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (Suppl.), (2007), 70-70]

海老原覚, 海老原孝枝, 山崎都, 矢満田慎介, 荒井啓行, 小林満

141) 嚥下反射を改善する足三里穴と太谿穴への経皮的電気刺激治療の検討 1 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (Suppl.), (2007), 69-69]

関隆志, 石塚聡, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行

142) 胃瘻造設患者におけるクエン酸モサプリドの肺炎予防および生命予後改善効果に関する検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (Suppl.), (2007), 62-62]

大類孝, 海老原覚, 海老原孝枝, 荒井啓行

143) 最期はどこで看取られたいか　高齢者の意識調査結果 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **44** (Suppl.), (2007), 36-36]

山崎都, 海老原覚, 吉田元樹, 矢満田慎介, 海老原孝枝, 荒井啓行

144) 嚥下反射を改善する足三里穴と太谿穴への経皮的電気刺激治療の検討 2 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **58** (別冊), (2007), 199-199]

赤松千鶴, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行, 半田康延

145) 半夏厚朴湯は誤嚥性肺炎を予防する (ランダム化比較臨床研究) (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **58** (別冊), (2007), 162-162]

岩崎鋼, 加藤士郎, 関隆志, 荒井啓行

146) 124 嚥下反射を改善する足三里穴と太谿穴への経皮的電気刺激治療の検討 (老年医学, 第 58 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **58**, (2007)]

赤松千鶴, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行, 半田康延

147) Dementia with Lewy bodies の治療ー漢方方剤「抑肝散」の効果ー (精神医学). ［精神医学, **49**（7）,（2007）, 707-712］

荒井啓行, 岩崎鋼, 古川勝敏, 関隆志, 筒井美保

148) 【レビー小体型認知症をめぐって】 レビー小体型認知症の治療　漢方方剤「抑肝散」の効果 (精神医学).［精神医学, **49**（7）,（2007）, 707-710］

荒井啓行, 岩崎鋼, 古川勝敏, 関隆志, 筒井美保

149) 高齢者高血圧の最前線 高齢者の多病性と降圧薬の選択 (日本老年医学会雑誌). ［日本老年医学会雑誌, **44**（4）,（2007）, 448-451］

海老原孝枝, 大類孝, 海老原覚, 辻一郎, 佐々木英忠, 荒井啓行

150) 【発熱の診かた】 診療に役立つ基礎事項　年齢によるちがい　高齢者の場合 (診断と治療).［診断と治療, **95**（7）,（2007）, 987-992］

山谷睦雄, 矢満田慎介, 吉田元樹, 山崎都, 久保裕司, 荒井啓行

151) 第 59 回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって.［日本東洋醫學雜誌, **58**（4）,（2007）］

荒井啓行

152) 【認知症の臨床】認知症をめぐって　早期発見から治療、予防に向けて (MEDICO).［MEDICO, **38**（8）,（2007）, 272-283］

浦上克哉, 鳥羽研二, 荒井啓行, 遠藤英俊

153) 高齢者疾患と和漢薬 脳障害をもった高齢者における半夏厚朴湯の誤嚥性肺炎予防効果 (Journal of Traditional Medicines).［Journal of Traditional Medicines, **24**（Suppl.2007）,（2007）, 59-59］

加藤士郎, 岩崎鋼, 門馬靖武, 関隆志, 尾崎史郎, 金子昇, 荒井啓行

154) 海産プラズマローゲンによるアルツハイマー型認知症の予防 (脂質栄養学).［脂質栄養学, **16**（2）,（2007）, 147-147］

山下慎司, 藤原博典, 仲川清隆, 橋本道男, 紫藤治, 荒井啓行, 宮澤陽夫

155) S5-04 脳障害をもった高齢者における半夏厚朴湯の誤嚥性肺炎予防効果 (シンポジウム 5 高齢者疾患と和漢薬, 第 24 回和漢医薬学会大会 和漢薬の複雑さ-経験知と科学知-).［和漢医薬学雑誌, **24**,（2007）］

加藤士郎, 岩崎鋼, 門馬靖武, 関隆志, 尾崎史郎, 金子昇, 荒井啓行

156) 【認知症ケアと医療の地域連携】 認知症でも穏やかに暮す　漢方治療の新展開 (Geriatric Medicine).［Geriatric Medicine, **45**（9）,（2007）, 1135-1138］

藤原博典, 岩崎鋼, 荒井啓行

157) 高齢者の薬物療法　副作用と注意すべきポイント　神経疾患の薬物療法 (Journal of Clinical Rehabilitation).［Journal of Clinical Rehabilitation, **16**（10）,（2007）, 977-981］

荒井啓行, 大類孝, 古川勝敏

158) 【認知症とうつ】 老年科医からみたうつと認知症 (Depression Frontier).［Depression Frontier, **5**（2）,（2007）, 36-39］

海老原覚, 荒井啓行

159) 認知症周辺症状の抑肝散治療 (老年精神医学雑誌).［老年精神医学雑誌, **18**（増刊 II）,（2007）, 50-50］

荒井啓行

160) 【高齢者の摂食 · 嚥下障害】認知症と摂食 · 嚥下障害 (Geriatric Medicine).［Geriatric Medicine, **45**（10）,（2007）, 1277-1282］

松井敏史, 小川隆一, 国重知子, 森朱夏, 松下幸生, 横山顕, 荒井啓行, 樋口進, 丸山勝也

161) 【アルツハイマー病の脳画像長期縦断的研究　J-ADNI の発足にあたって】生化学マーカーとの関連性 (Cognition and Dementia).［Cognition and Dementia, **6**（4）,（2007）, 303-309］

古川勝敏, 荒井啓行

162) 軽度認知障害の診断とその意義 (日本医事新報). [日本医事新報, (4356), (2007), 89-89]

荒井啓行

163) [11C] BF227 を用いた老人斑の分子イメージング法の開発 (臨床薬理). [臨床薬理, **38** (Suppl.), (2007), S296-S296]

谷内一彦, 岡村信行, 荒井啓行, 工藤幸司

164) 認知症「治療を展望した Alzheimer 病の早期診断 MCI から初期 Alzheimer 病へ」Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative と Mild cognitive impairment (臨床神経学). [臨床神経学, **47** (11), (2007), 905-907]

荒井啓行

165) 【アルツハイマー病と免疫】 アルツハイマー病と免疫応答　オーバービュー (神経免疫学). [神経免疫学, **15** (2), (2007), 209-213]

荒井啓行

166) 家庭内での一酸化炭素中毒の 1 例 (日本小児科学会雑誌). [日本小児科学会雑誌, **111** (11), (2007), 1432-1432]

大原洋一郎, 大類孝, 荒井啓行, 森川利夫, 佐々木英忠

167) 【認知症と漢方】 東洋医学と西洋医学の合わせ技　漢方を現代医療に生かすために (漢方と最新治療). [漢方と最新治療, **16** (4), (2007), 227-229]

荒井啓行

168) 軽度認知機能障害と痴呆症の早期診断 (老年期痴呆研究会誌). [老年期痴呆研究会誌, **14**, (2007), 134-138]

荒井啓行

169) 漢方生薬の転写因子活性を介したアミロイド代謝と細胞死への影響 (臨床神経学). [臨床神経学, **47** (12), (2007), 1056-1056]

古川勝敏, 温世栄, 藤原博典, 荒井啓行

170) 漢方薬による認知症治療 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **21** (3), (2007), 235-242]

荒井啓行

171) 培養ヒト気道上皮細胞におけるライノウイルス感染に対するランソプラゾールの効果 (The GI Forefront). [The GI Forefront, **3** (2), (2007), 189-190]

佐々木陽彦, 山谷睦雄, 中山勝敏, 安田浩康, 井上大輔, 吉田元樹, 荒井啓行

172) 【Mild cognitive impairment(MCI:軽度認知障害)】 MCI の natural history (神経内科). [神経内科, **67** (6), (2007), 501-507]

古川勝敏, 荒井啓行

173) Serum C-Reactive Protein Even at Very Low (< 1.0 mg/l) Concentration Is Associated with Physical Performance in a Community-Based Elderly Population Aged 70 Years and Over. [GERONTOLOGY, **54** (5), (2008), 260-267]

Kaijun Niu, Atsushi Hozawa, Hui Guo, Shinichi Kuriyama, Satoru Ebihara, Guang Yang, Kaori Ohmori-Matsuda, Naoki Nakaya, Hideko Takahashi, Kazuki Fujita, Shirong Wen, Hiroyuki Arai, Ichiro Tsuji, Ryoichi Nagatomi

174) かおりの機能性 嗅覚刺激と高齢者摂食嚥下障害. [におい・かおり環境学会誌, **39** (4), (2008), 210-220]

海老原 孝枝, 海老原 覚, 荒井 啓行

175) 漢方医学を現代医療に活かす (漢方医学). [漢方医学, **32** (1), (2008), 2-8]

高久史麿, 北島政樹, 荒井啓行

176) 【アルツハイマー病　基礎研究から予防・治療の新しいパラダイム】 臨床編　アルツハイマー病の新しい治療法の開発　新規医薬品　漢方薬 (日本臨床). [日本臨床, **66** (増刊 1 アルツハイマー病), (2008), 533-536]

藤原博典, 古川勝敏, 岩崎鋼, 関隆志, 荒井啓行

177) 【アルツハイマー病 基礎研究から予防・治療の新しいパラダイム】臨床編 アルツハイマー病の診断 新しい診断法の開発 アミロイドイメージング PET. [日本臨床, **66** (増刊 1 アルツハイマー病), (2008), 288-292]

岡村 信行, 谷内 一彦, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 工藤 幸司

178) Sex differences in the preference for place of death in community-dwelling elderly people in Japan. (J Am Geriatr Soc). [J Am Geriatr Soc, **56** (2), (2008), 376-376]

Yamasaki Miyako, Ebihara Satoru, Freeman Shannon, Ebihara Takae, Asada Masanori, Yamanda Shinsuke, Arai Hiroyuki

179) Effects of a sedative antihistamine, D-chlorpheniramine, on regional cerebral perfusion and performance during simulated car driving. [HUMAN PSYCHOPHARMACOLOGY-CLINICAL AND EXPERIMENTAL, **23** (2), (2008), 139-150]

Manabu Tashiro, Yurniko Sakurada, Hideki Mochizuki, Etsuo Horikawa, Masahiro Maruyama, Nobuyuki Okamura, Shoichi Watanuki, Hiroyuki Arai, Masatoshi Itoh, Kazuhiko Yanai

180) 漢方治療が奏功した超高齢者の偽腸閉塞症の 1 例 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **45** (2), (2008), 245-246]

関隆志, 山崎都, 岩崎鋼, 沖津玲奈, 古川勝敏, 荒井啓行

181) アルツハイマー病バイオマーカー開発の現況と Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (HUMAN SCIENCE). [HUMAN SCIENCE, **19** (2), (2008), 12-17]

荒井啓行, 古川勝敏, 工藤幸司

182) 自分でできる認知症予防法 (ビタミン). [ビタミン, **82** (4), (2008), 314-314]

荒井啓行

183) 【高齢者における薬物療法　併用療法のあり方と注意点、合剤開発の現状】 認知症治療において期待される薬物併用療法 (Geriatric Medicine). [Geriatric Medicine, **46** (4), (2008), 351-356]

大類孝, 何梅, 岩崎鋼, 藤原博典, 関隆志, 古川勝敏, 荒井啓行

184) 【今日のアルツハイマー病研究　王手が掛かった根治薬】Key words 漢方治療 (カレントテラピー). [カレントテラピー, **26** (4), (2008), 362-363]

藤原博典, 荒井啓行

185) Recent Advances in the Development of Amyloid Imagine Agents. (Current Topics in Medical Chemistry). [Current Topics in Medical Chemistry, **7**, (2008), 1773-1789]

S. Furumoto N. Okamura R. Inata K. Yanai H. Arai Y. Kudo

186) 自分でできる認知症予防法 (市民公開フォーラム-ビタミンと健康社会-, 新世紀ビタミン学の展望と先進的展開を目指して, 日本ビタミン学会第 60 回大会発表要旨). [ビタミン, **82** (4), (2008)]

荒井啓行

187) アルツハイマー病の進行と降圧剤との関連 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **45** (Suppl.), (2008), 107-107]

古川勝敏, 大類孝, 荒井啓行

188) 高齢者グループホームにおける感染症とその管理の実態 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **45** (Suppl.), (2008), 95-95]

海老原覚, 海老原孝枝, 荒井啓行, 小坂健

189) 緑内障に対する鍼灸治療の長期効果の検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **45** (Suppl.), (2008), 91-91]

楊三月, 関隆志, 金子聡一郎, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行

190) アルツハイマー病の神経細胞死におけるアポトーシスの関与 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **45** (Suppl.), (2008), 81-81]

松井敏史, 松下幸生, 荒井啓行, HymanB.T.

191) 漢方薬半夏厚朴湯は誤嚥性肺炎を予防する (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **45** (Suppl.), (2008), 79-79]

岩崎鋼, 加藤士郎, 門馬靖武, 沖津玲奈, 古川勝敏, 関隆志, 荒井啓行

192) 上海中医科大学中医科全課程を修了して (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 258-258]

神谷哲治, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行

193) 東北大学病院漢方内科外来における鍼灸治療患者の傾向について (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 254-254]

金子聡一郎, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行

194) 五苓散エキス製剤が著効した糖尿病合併・両側胸水患者の一例 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 207-207]

高橋里実, 岩崎鋼, 関隆志, 古川勝敏, 荒井啓行

195) ハンチントン病の舞踏症状 (不随意運動) に対する漢方薬の有効性に関する研究、Cross-over trial (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 175-175]

岩崎鋼, 佐藤卓, 古川勝敏, 荒井啓行

196) 重症筋無力症患者の鍼灸治療 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 174-174]

関隆志, 金子聡一郎, 神谷哲治, 松田綾音, 千葉勝, 沖津玲奈, 高山真, 菊地章子, 岩崎鋼, 古川勝敏, 佐々木英忠, 荒井啓行

197) パルスドプラーエコー法による橈骨動脈血流量の測定 脈診の科学的評価のための基礎研究. [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 157-157]

高山 真, 関 隆志, 沖津 玲奈, 山崎 都, 古川 勝敏, 岩崎 鋼, 荒井 啓行

198) アルツハイマー病の制圧と東洋医学 (日本東洋医学雑誌). [日本東洋医学雑誌, **59** (別冊), (2008), 62-62]

荒井啓行

199) 眼瞼痙攣に対する鍼治療の 1 症例 (全日本鍼灸学会雑誌). [全日本鍼灸学会雑誌, **58** (3), (2008), 428-428]

金子聡一郎, 関隆志, 岩崎鋼, 荒井啓行

200) 【アルツハイマー病 up to date】アルツハイマー病治療の現状と近未来像 (細胞). [細胞, **40** (5), (2008), 199-202]

荒井啓行, 工藤幸司

201) 【老化と疾患】 認知症の診断と長期ケア (Medical Science Digest). [Medical Science Digest, **34** (6), (2008), 257-261]

荒井啓行, 佐藤琢磨

202) 特別インタビュー　伝統医学の担い手を育て、どのように発展させるのかを考える (漢方療法). [漢方療法, **12** (2), (2008), 6-15]

荒井啓行

203) 特集　現代に蘇る漢方療法 (Geriatric Medicine). [Geriatric Medicine, **46** (3), (2008), 223-224]

荒井啓行

204) 250 東北大学病院漢方内科外来における鍼灸治療患者の傾向について (鍼灸 7, 一般演題, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **59**, (2008)]

金子聡一郎, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行

205) 第 59 回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって (ご挨拶, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **59**, (2008)]

荒井啓行

206) 094 重症筋無力症患者の鍼灸治療 (神経・筋疾患 2, 一般演題, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **59**, (2008)]

関隆志, 金子聡一郎, 神谷哲治, 松田綾音, 千葉勝, 沖津玲奈, 高山真, 菊地章子, 岩崎鋼, 古川勝敏, 佐々木英忠, 荒井啓行

207) 259 上海中医科大学中医科全課程を修了して (教育 1, 一般演題, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雜誌, **59**, (2008)]

神谷哲治, 関隆志, 岩崎鋼, 古川勝敏, 荒井啓行

208) 156 五苓散エキス製剤が著効した糖尿病合併・両側胸水患者の一例 (漢方処方・湯液 7, 一般演題, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雑誌, **59**, (2008)]

高橋里実, 岩崎鋼, 関隆志, 古川勝敏, 荒井啓行

209) 099 アルツハイマー病における漢方薬の効果 (老年医学・地域医療, 一般演題, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雑誌, **59**, (2008)]

沖津玲奈, 岩崎鋼, 高山真, 関隆志, 古川勝敏, 荒井啓行

210) 060 パルスドプラーエコー法による橈骨動脈血流量の測定：脈診の科学的評価のための基礎研究 (伝統医学的診断 1, 一般演題, 伝統医学のあるべきかたちとは-世界の潮流と日本の役割-, 第 59 回日本東洋医学会学術総会). [日本東洋醫學雑誌, **59**, (2008)]

高山真, 関隆志, 沖津玲奈, 山崎都, 古川勝敏, 岩崎鋼, 荒井啓行

211) 治療の歴史　アルツハイマー病の治療薬 (治療学). [治療学, **42** (6), (2008), 729-731]

荒井啓行

212) 知っておきたいことア・ラ・カルト　レヴィー小体型認知症 (Medical Practice). [Medical Practice, **25** (6), (2008), 1100-1102]

古川勝敏, 荒井啓行

213) 第 59 回日本東洋医学会学術総会「学術総会の開催に当たって」 (漢方の臨床). [漢方の臨床, **55** (5), (2008), 703-707]

荒井啓行

214) Cough and transdermal long-acting beta(2) agonist in Japan. [RESPIRATORY MEDICINE, **102** (10), (2008), 1497-1497]

Satoru Ebihara, Takae Ebihara, Hiroyuki Arai

215) 認知症と高齢者医療 (山形艮陵). [山形艮陵, **39**, (2008), 4-8]

荒井啓行

216) 半夏厚朴湯は認知症を伴う高齢者の肺炎リスクを減少させる (Kanpo Medicine froma International Journals). [Kanpo Medicine froma International Journals, (2008), 441]

岩崎　鋼、大類　孝、古川勝敏、荒井啓行

217) レヴィー小体型認知症 (Medical View Point). [Medical View Point, **25** (6), (2008), 1100-1101]

古川勝敏、荒井啓行

218) 特集　高齢者肺炎予防と感染対策 1 薬物による高齢者肺炎の予防 (治療学). [治療学, **42** (11), (2008), 46-50]

大類　孝、海老原覚、海老原孝枝、荒井啓行

219) メタボリックシンドロームとアルツハイマー病 (Medical View Point). [Medical View Point, **29** (11), (2008), 4]

古川勝敏、荒井啓行

220) 認知症治療において期待される薬物併用療法 (Geriatric Medicine). [Geriatric Medicine, **46** (4), (2008), 351-356]

大類　孝、何　梅、岩崎　鋼、藤原博典、関　隆志、古川勝敏、荒井啓行

221) [Tube feeding in the bedridden elderly patients] . (Nippon Ronen Igakkai Zasshi). [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **46** (6), (2009), 521-523]

Kosaka Yoichi, Sato Takuma, Sasaki Hidetada, Arai Hiroyuki

222) 老年病専門医の副作用経験と処方態度に関する NHK との共同アンケート調査 (高齢者薬物療法のガイドライン作成のためのワーキンググループ委員会報告) (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **46** (3), (2009), 271-274]

秋下雅弘, 荒井啓行, 荒井秀典, 稲松孝思, 葛谷雅文, 鈴木裕介, 寺本信嗣, 水上勝義, 森本茂人, 鳥羽研二

223) 高齢の嚥下障害患者におけるカプシエイトと嚥下反射の関係 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 111-111]

山崎都, 海老原覚, 海老原孝枝, 浅田成紀, 矢満田慎介, 吉田元樹, 宇根かおり, 浅村孝昭, 大類孝, 荒井啓行

224) 高齢誤嚥性肺炎患者における咳衝動の低下 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **46** (Suppl.), (2009), 110-110]

矢満田慎介, 海老原覚, 海老原孝枝, 山崎都, 浅村孝昭, 浅田成紀, 宇根かおり, 吉田元樹, 荒井啓行

225) 高齢者医療の現状と将来　介護の現場 · 医学 · 行政からのアプローチ 老年医学からのアプローチ　在宅ケアにおける現状と問題点 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **46** (4), (2009), 306-308]

大類孝, 山崎都, 何梅, 海老原覚, 海老原孝枝, 浅田成紀, 矢満田慎介, 浅村孝昭, 宇根かおり, 吉田元樹, 小坂陽一, 古川勝敏, 荒井啓行

226) [Homicides of disabled older persons by their caregivers and preference for place of death in community-dwelling elderly people in Japan] . (Nippon Ronen Igakkai Zasshi). [Nippon Ronen Igakkai Zasshi, **46** (4), (2009), 306-308]

Ohrui Takashi, Yamasaki Miyako, He Mei, Ebihara Satoru, Ebihara Takae, Asada Masanori, Yamanda Shinsuke, Asamura Takaaki, Une Kaori, Yoshida Motoki, Kosaka Yoichi, Furukawa Katsutoshi, Arai Hiroyuki

227) 神経原線維変化を検出する 18F 標識 PET プローブの開発 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **23** (2), (2009), 229-229]

岡村信行, 古本祥三, 荒井啓行, 谷内一彦, 工藤幸司

228) アルコール依存症患者の認知機能低下における VSRAD を用いた海馬傍回の萎縮の検討 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **23** (2), (2009), 193-193]

松井敏史, 松下幸生, 早坂佑, 宮川朋大, 木村充, 遠藤光一, 中山寿一, 荒井啓行, 樋口進, 丸山勝也

229) 軽度認知障害の予後予測における BF227-PET と MRI の比較検討 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **23** (2), (2009), 146-146]

藁谷正明, 岡村信行, 古川勝敏, 谷内一彦, 工藤幸司, 荒井啓行

230) 血中および脳脊髄液中のレプチン、アディポネクチン値　アルツハイマー病、軽度認知機能障害 (MCI)、および健常人の比較 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **23** (2), (2009), 144-144]

宇根かおり, 古川勝敏, 荒井啓行

231) 私の認知症研究 (Dementia Japan). [Dementia Japan, **23** (2), (2009), 79-79]

荒井啓行

232) アルツハイマー病診断における [18F] FACT-PET の有用性の検討. [核医学, **46** (3), (2009), 319-319]

岡村 信行, 古本 祥三, 田代 学, 古川 勝敏, 杉 健太郎, 船木 善仁, 岩田 錬, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 谷内 一彦

233) [11C] BF-227 を用いた脳内アミロイド蓄積に関する動脈採血データを用いた定量解析. [核医学, **46** (3), (2009), 262-262]

田代 学, 岡村 信行, 熊谷 和明, 古本 祥三, 船木 善仁, 木村 裕一, 岩田 錬, 工藤 幸司, 渡部 浩司, 荒井 啓行, 谷内 一彦

234) アルツハイマー病に特徴的な赤血球膜脂質過酸化のアミロイド β による誘発 (Amyloid beta causes erythrocyte membrane lipid peroxidation as being characteristic in Alzheimer disease). [日本生化学会大会プログラム · 講演要旨集, **82 回**, (2009), 2T20a-3]

宮澤 大樹, 喜古 健敬, 仲川 清隆, 荒井 啓行, 宮澤 陽夫

235) P1-555 医学部臨床修練における「医師-薬剤師協働型医療情報実習」への取り組み (一般演題 ポスター発表, その他, 医療薬学の創る未来 科学と臨床の融合). [日本医療薬学会年会講演要旨集, **19**, (2009)]

鈴木文子, 飯田優太郎, 松本洋太郎, 上西智子, 村井ユリ子, 浅田成紀, 荒井啓行, 島田美樹, 眞野成康

236) 【抑肝散と精神神経疾患への可能性を探る　最新の治療】Behavioural and psychological symptoms of dementia 治療薬としての抑肝散 (脳 21). [脳 21, **12** (4), (2009), 431-436]

荒井啓行

237) Improvement of swallowing reflex after electrical stimulation to lower leg acupoints in patients after stroke. (J Am Geriatr Soc). [J Am Geriatr Soc, **57** (10), (2009), 1959-1960]

Akamatsu Chizuru, Ebihara Takae, Ishizuka Satoshi, Fujii Masahiko, Seki Kazunori, Arai Hiroyuki, Handa Yasunobu, Seki Takashi

238) A Novel Role for hGas7b in Microtubular Maintenance POSSIBLE IMPLICATION IN TAU-ASSOCIATED PATHOLOGY IN ALZHEIMER DISEASE. [JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY, **284** (47), (2009), 32695-32699]

Hirotada Akiyama, Aina Gotoh, Ryong-Woon Shin, Tomoe Koga, Tsubasa Ohashi, Wataru Sakamoto, Akihiro Harada, Hiroyuki Arai, Akira Sawa, Chiyoko Uchida, Takafumi Uchida

239) 高齢者終末期における栄養を取り巻く諸問題 胃ろう造設と家族への教育 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **46** (6), (2009), 521-523]

小坂陽一, 佐藤琢磨, 佐々木英忠, 荒井啓行

240) アルツハイマー病の診断と治療開発 アルツハイマー病の発症前診断と MCI (臨床神経学). [臨床神経学, **49** (11), (2009), 838-840]

荒井啓行

241) [Pre-symptomatic detection of Alzheimer's disease and mild cognitive impairment] . (Rinsho Shinkeigaku). [Rinsho Shinkeigaku, **49** (11), (2009), 838-840]

Arai Hiroyuki

242) アルツハイマー病早期診断における [11C] BF227-PET と、MRI-VBM の有用性の比較検討. [臨床神経学, **49** (12), (2009), 1138-1138]

藁谷 正明, 岡村 信行, 古川 勝敏, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

243) アルツハイマー病新規診断マーカーとしての糖タンパクの解析. [臨床神経学, **49** (12), (2009), 1003-1003]

谷口 美也子, 岡山 由佳, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 赤津 裕康, 浦上 克哉

244) 【高齢者薬物療法のエビデンスと注意点】 高齢者における予防薬のエビデンスと展望　認知症 (月刊レジデント). [月刊レジデント, **2** (12), (2009), 84-91]

冨田尚希, 荒井啓行

245) Dietary patterns associated with fall-related fracture in elderly Japanese: a population based prospective study. [BMC GERIATRICS, **10**, (2010), 31-31]

Yasutake Monma, Kaijun Niu, Koh Iwasaki, Naoki Tomita, Naoki Nakaya, Atsushi Hozawa, Shinichi Kuriyama, Shin Takayama, Takashi Seki, Takashi Takeda, Nobuo Yaegashi, Satoru Ebihara, Hiroyuki Arai, Ryoichi Nagatomi, Ichiro Tsuji

246) 簡易呼気採取バッグの考案と間欠型気管支喘息未就学児及び乳幼児の呼気中一酸化炭素濃度 (eCO) の測定. [福島医学雑誌, **60** (1), (2010), 60-61]

大原 洋一郎, 大類 孝, 浅村 孝昭, 荒井 啓行, 森川 利夫, 佐々木 英忠

247) 2 型糖尿病モデルマウスへの糖尿病治療介入における腫瘍増殖の差異. [日本呼吸器学会雑誌, **48** (増刊), (2010), 151-151]

宇根 かおり, 浅田 成紀, 海老原 覚, 矢満田 慎介, 吉田 元樹, 山崎 都, 海老原 孝枝, 浅村 孝昭, 大類 孝, 荒井 啓行

248) 嚥下障害を伴う肺炎患者の喀痰培養の検討. [日本呼吸器学会雑誌, **48** (増刊), (2010), 209-209]

矢満田 慎介, 海老原 覚, 海老原 孝枝, 浅田 成紀, 山崎 都, 吉田 元樹, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 荒井 啓行

249) AMP 活性化プロテインキナーゼ活性化と悪性中皮腫. [日本呼吸器学会雑誌, **48** (増刊), (2010), 251-251]

牛 凱軍, 海老原 覚, 浅田 成紀, 矢満田 慎介, 岡崎 達馬, 永富 良一, 荒井 啓行

250) マウスケアタイプのカプサイシンシートの嚥下反射改善効果. [日本呼吸器学会雑誌, **48** (増刊), (2010), 354-354]

山崎 都, 海老原 覚, 海老原 孝枝, 浅田 成紀, 矢満田 慎介, 吉田 元樹, 浅村 孝昭, 宇根 かおり, 上月 正博, 荒井 啓行

251) 簡易呼気採取バッグの考案と間欠型気管支喘息未就学児及び乳幼児呼気中一酸化炭素濃度の測定. [日本小児科学会雑誌, **114** (3), (2010), 589-589]

大原 洋一郎, 大類 孝, 浅村 孝昭, 荒井 啓行, 森川 利夫, 佐々木 英忠

252) アルツハイマー病の発症機構と治療薬 · 診断法の開発戦略 認知症のバイオマーカー　髄液特異的な糖タンパク質. [日本薬学会年会要旨集, **130 年会** (1), (2010), 247-247]

城谷 圭朗, 二川 了次, 宮嶋 雅一, 新井 一, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 橋本 康弘

253) Geriatric medicine, Japanese Alzheimer's disease neuroimaging initiative and biomarker development. (Tohoku J Exp Med). [Tohoku J Exp Med, **221** (2), (2010), 87-95]

Arai Hiroyuki, Okamura Nobuyuki, Furukawa Katsutoshi, Kudo Yukitsuka

254) [15O] H2O を用いて観察された鍼灸治療による脳血流変化の研究. [核医学, **47** (2), (2010), 190-190]

紺野 亮, 田代 学, 関 隆志, 小林 祐太, 丸山 将宏, 四月朔日 聖一, 古川 勝敏, 伊藤 正敏, 荒井 啓行

255) 認知症を理解するために必要な老年医学の知識　高齢者医療における認知症の位置づけと BPSD への対処. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 45-45]

荒井 啓行

256) 日本人の食習慣と転倒骨折リスクの検討. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 50-50]

岩崎 鋼, 牛 凱軍, 荒井 啓行

257) 高齢者の経管栄養法導入後の、"不施行 (Withhold)"に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 51-51]

小坂 陽一, 佐藤 琢磨, 佐々木 英忠, 荒井 啓行

258) 高齢者の経管栄養法導入後 · 予後　経鼻経管と PEG の比較検討. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 51-51]

小坂 陽一, 佐藤 琢磨, 佐々木 英忠, 荒井 啓行

259) マウスケアタイプのカプサイシンシートの嚥下反射改善効果. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 101-101]

山崎 都, 海老原 覚, 海老原 孝枝, 浅田 成紀, 矢満田 慎介, 宇根 かおり, 吉田 元樹, 浅村 孝昭, 中里 浩子, 荒井 啓行

260) 軽度認知機能障害患者における服薬管理能力の検討. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 106-106]

冨田 尚希, 中里 浩子, 海老原 孝枝, 山崎 都, 吉田 元樹, 小坂 陽一, 宇根 かおり, 大類 孝, 古川 勝敏, 荒井 啓行

261) 認知症におけるバイオマーカーとアミロイド PET の関連. [日本老年医学会雑誌, **47** (Suppl.), (2010), 121-121]

古川 勝敏, 岡村 信行, 荒井 啓行

262) 誤嚥性肺炎患者の喀痰培養検査の結果に関する検討 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

矢満田慎介, 海老原覚, 海老原孝枝, 浅田成紀, 山崎都, 吉田元樹, 浅村孝昭, 宇根かおり, 大類孝, 荒井啓行

263) 痙攣と意識障害を呈した高齢者間質性肺炎の 1 症例 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

山谷睦雄, 久保裕司, 吉田元樹, 山崎都, 古川勝敏, 大類孝, 荒井啓行

264) 気管支擦過細胞診でシャルコーライデン結晶を認めた、喘息を伴う好酸球性肺炎の 1 例 (日本老年医学会雑誌). [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

吉田元樹, 大類孝, 浅田成紀, 矢満田慎介, 高山真, 沖津玲奈, 海老原覚, 荒井啓行

265) 気管支擦過細胞診でシャルコーライデン結晶を認めた、喘息を伴う好酸球性肺炎の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

吉田 元樹, 大類 孝, 浅田 成紀, 矢満田 慎介, 高山 真, 沖津 玲奈, 海老原 覚, 荒井 啓行

266) 痙攣と意識障害を呈した高齢者間質性肺炎の 1 症例. [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

山谷 睦雄, 久保 裕司, 吉田 元樹, 山崎 都, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

267) 誤嚥性肺炎患者の喀痰培養検査の結果に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

矢満田 慎介, 海老原 覚, 海老原 孝枝, 浅田 成紀, 山崎 都, 吉田 元樹, 浅村 孝昭, 宇根 かおり, 大類 孝, 荒井 啓行

268) 高齢者に対する経管栄養法の予後、および問題点. [日本老年医学会雑誌, **47** (4), (2010), 350-350]

小坂 陽一, 佐藤 琢磨, 佐々木 英忠, 荒井 啓行

269) 【認知症医療 Up to Date】 認知症治療をめぐる最近の話題. [MEDICO, **41** (8), (2010), 262,267-275]

荒井 啓行, 大塚 邦明, 光山 勝慶, 森下 竜一

270) EBM に基いた認知症予防 高血圧治療と認知症予防. [Dementia Japan, **24** (3), (2010), 246-246]

荒井 啓行

271) 18F 標識アミロイドイメージング用 PET プローブ FACT の臨床評価. [Dementia Japan, **24** (3), (2010), 301-301]

岡村 信行, 古川 勝敏, 富田 尚希, 藁谷 正明, 古本 祥三, 田代 学, 岩田 錬, 工藤 幸司, 荒井 啓行, 谷内 一彦

272) BF-227 を用いたアミロイド PET と Biofluid バイオマーカー. [Dementia Japan, **24** (3), (2010), 302-302]

古川 勝敏, 岡村 信行, 冨田 尚希, 田代 学, 工藤 幸司, 谷内 一彦, 荒井 啓行

273) MCI および AD 脳では γ-secretase 活性は変化している?!. [Dementia Japan, **24** (3), (2010), 309-309]

角田 伸人, 東海林 幹夫, 荒井 啓行, 古川 勝敏, 桑野 良三, 池内 健, 赤澤 宏平, 山口 晴保, 村山 繁雄, 長島 優, 長池 一博, 井原 康夫

274) 軽度認知機能障害患者における服薬管理能力の検討. [Dementia Japan, **24** (3), (2010), 356-356]

冨田 尚希, 海老原 孝枝, 吉田 元樹, 山崎 都, 浅村 孝昭, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 宇根 かおり, 新田 明美, 大類 孝, 古川 勝敏, 荒井 啓行

275) 新規アミロイドイメージング薬剤 18F-FACT の動態解析. [核医学, **47** (3), (2010), 424-424]

田代 学, 岡村 信行, 古本 祥三, 四月朔日 聖一, 船木 善仁, 岩田 錬, 工藤 幸司, 古川 勝敏, 伊藤 浩, 荒井 啓行, 谷内 一彦

276) 次世代の対認知症戦略. [日本臨床精神神経薬理学会・日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集, **20 回**・**40 回**, (2010), 94-94]

石原 武士, 荒井 啓行, 岡村 信行, 原 英夫, 富田 泰輔, 樋口 真人, 田中 稔久, 栗山 進一, 吉山 容正

277) アルツハイマー病早期診断のための脳アミロイド・イメージング薬剤 [11C] BF-227 および [18F] FACT の動態解析. [臨床薬理, **41** (Suppl.), (2010), S206-S206]

田代 学, 岡村 信行, 古本 祥三, 四月朔日 聖一, 船木 善仁, 岩田 錬, 工藤 幸司, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 谷内 一彦

278) 軽度認知障害の進行予後予測のための画像バイオマーカーの比較検討. [臨床薬理, **41** (Suppl.), (2010), S255-S255]

岡村 信行, 古川 勝敏, 藁谷 正明, 富田 尚希, 田代 学, 工藤 幸司, 荒井 啓行, 谷内 一彦

279) 特発性正常圧水頭症 (iNPH)　病態研究最近の進歩 病因・病態解明に向けて　髄液バイオマーカー. [臨床神経学, **50** (11), (2010), 971-972]

橋本 康弘, 二川 了次, 宮嶋 雅一, 北爪 しのぶ, 奈良 清光, 城谷 圭朗, 久野 敦, 伊藤 浩美, 本多 たかし, 古川 勝敏, 田崎 和洋, 荒井 啓行, 湯浅 龍彦, 阿部 正文, 成松 久, 新井 一

280) BF-227 を用いたアミロイド PET とバイオマーカーの関連. [臨床神経学, **50** (12), (2010), 1228-1228]

古川 勝敏, 岡村 信行, 田代 学, 工藤 幸司, 荒井 啓行

281) 特徴的な糖鎖を持つ脳脊髄液中のトランスフェリンの解析　特発性正常圧水頭症のバイオマーカー (A unique N-glycan on human transferrin in cerebrospinal fluid: a possible biomarker for idiopathic normal pressure hydrocephalus). [日本生化学会大会・日本分子生物学会年会合同大会講演要旨集, **83 回**・**33 回**, (2010), 3P-1141]

二川 了次, 奈良 清光, 宮嶋 雅一, 久野 敦, 伊藤 浩美, 城谷 圭朗, 本多 たかし, 遠山 ゆり子, 星 京香, 半沢 雄助, 亀高 愛, 北爪 しのぶ, 今牧 理恵, 山口 芳樹, 古川 勝敏, 田崎 和洋, 荒井 啓行, 湯浅 龍彦, 阿部 正文, 新井 一, 成松 久, 橋本 康弘

282) マウスケアタイプのカプサイシンシートの咳反射改善効果. [日本呼吸器学会雑誌, **49** (増刊), (2011), 299-299]

山崎 都, 海老原 覚, 上野 千佳, 鈴木 瑞恵, 吉田 元樹, 浅村 孝昭, 宇根 かおり, 浅田 成紀, 矢満田 慎介, 荒井 啓行

283) 認知症者における老化赤血球の出現と食品キサントフィルの効能. [ビタミン, **85** (4), (2011), 235-235]

宮澤 大樹, 喜古 健敬, 仲川 清隆, 荒井 啓行, 鈴木 俊英, 宮澤 陽夫

284) 老年症候群の予防と管理 認知症、うつとせん妄. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 10-10]

荒井 啓行

285) 新規ドラッグガスデリバリーシステムによる認知症高齢者の肺炎予防法. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 58-58]

海老原 覚, 海老原 孝枝, 山崎 都, 宇根 かおり, 吉田 元樹, 荒井 啓行

286) マウスケアタイプのカプサイシンシート (カプサイシンプラス-三和化学研究所社製) の咳反射改善効果. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 58-58]

山崎 都, 海老原 覚, 海老原 孝枝, 上野 千佳, 鈴木 瑞恵, 吉田 元樹, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 冨田 尚希, 荒井 啓行

287) 要介護高齢者呼吸器感染の発症に対するビタミンD補充療法の効果. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 67-67]

浅村 孝昭, 大類 孝, 冨田 尚希, 山崎 都, 上野 千佳, 鈴木 瑞恵, 宇根 かおり, 吉田 元樹, 海老原 孝枝, 荒井 啓行

288) アルコール依存症患者の骨粗鬆症におけるライフスタイル改善プログラムの有用性. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 68-68]

松井 敏史, 松下 幸生, 荒井 啓行

289) 認知症患者の構成障害の検出方法についての検討. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 77-77]

鈴木 瑞恵, 冨田 尚希, 山崎 都, 宇根 かおり, 吉田 元樹, 浅村 孝昭, 上野 千佳, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

290) m3.com"臨床賛否両論"　高齢者への胃瘻不施行選択の是非について. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 81-81]

小坂 陽一, 佐藤 琢磨, 藤井 昌彦, 佐々木 英忠, 荒井 啓行

291) 入院を契機に服薬管理能力が不十分だと判明したケースについての検討. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 84-85]

冨田 尚希, 宇根 かおり, 海老原 孝枝, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 吉田 元樹, 小坂 陽一, 大類 孝, 古川 勝敏, 荒井 啓行

292) 老年科授業アンケートの結果に見る、学生の関心. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 89-89]

小坂 陽一, 大類 孝, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 荒井 啓行

293) 高齢者医療の優先順位に関する意識調査. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 121-121]

秋下 雅弘, 江頭 正人, 荒井 秀典, 神崎 恒一, 葛谷 雅文, 荒井 啓行, 高橋 龍太郎, 江澤 和彦, 川合 秀治, 鳥羽 研二

294) アルツハイマー型認知症における糖鎖の解析と血液診断マーカーとしての有効性の検討. [日本老年医学会雑誌, **48** (Suppl.), (2011), 124-124]

谷口 美也子, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 浦上 克哉

295) 【高齢者医療における漢方・代替医療の役割】 高齢者の薬物治療における漢方の有用性　漢方を第一選択とする可能性について考える. [Geriatric Medicine, **49** (6), (2011), 693-706]

秋葉 哲生, 荒井 啓行, 田平 武, 大内 尉義

296) 寝たきり状態の高齢者の経管栄養法導入後・予後　経鼻経管と PEG の比較検討. [日本老年医学会雑誌, **48** (4), (2011), 403-403]

小坂 陽一, 佐藤 琢磨, 佐々木 英忠, 荒井 啓行

297) 誤嚥性肺炎の診断で緊急入院となった閉鎖孔ヘルニアの 1 例. [日本老年医学会雑誌, **48** (4), (2011), 404-404]

浅田 成紀, 吉田 元樹, 矢満田 慎介, 浅村 孝昭, 宇根 かおり, 山崎 都, 海老原 孝枝, 海老原 覚, 大類 孝, 荒井 啓行

298) 軽度認知障害を呈した糖尿病患者の 1 症例. [日本老年医学会雑誌, **48** (4), (2011), 404-405]

吉田 元樹, 古川 勝敏, 宇根 かおり, 浅田 成紀, 矢満田 慎介, 浅村 孝昭, 荒井 啓行

299) 分子イメージング法を用いた創薬科学 薬物副作用と疾患病態研究. [臨床薬理, **42** (4), (2011), 245-252]

田代 学, 谷内 一彦, 岡村 信行, 古本 祥三, 張 冬穎, 渋谷 勝彦, 福土 審, 金澤 素, 鹿野 理子, 森下 城, 田中 由佳里, 武田 篤, 菊池 昭夫, 松岡 洋夫, 伊藤 千裕, 佐藤 博俊, 井樋 栄二, 佐野 博高, 岸本 光司, 柏葉 光宏, 近江 礼, 篠崎 晋久, 黒川 大介, 古川 勝敏, 冨田 尚樹, 荒井 啓行, 藤本 敏彦, 関 隆志, 工藤 幸司, 堂浦 克美, 吉岡 孝志, 堀川 悦夫, 伊藤 正敏, 山口 慶一郎, 岩田 錬, 船木 善仁, 石川 洋一, 平岡 宏太良, 四月朔日 聖一, 三宅 正泰, マスド・メヘディ, 小倉 毅, 武田 和子, 馬場 護, 石井 慶造

300) 増え続ける認知症における地域連携、治療の進歩 根本治療薬時代を迎える認知症医療の課題. [核医学, **48** (3), (2011), S145-S145]

荒井 啓行

301) 3D-SSP 変法による BF-227 を用いたアミロイド PET 解析. [核医学, **48** (3), (2011), S287-S287]

金田 朋洋, 岡村 信行, 蓑島 聡, 古川 勝敏, 四月朔日 聖一, 田代 学, 岩田 錬, 福田 寛, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

302) MCI の概念と治療介入のエビデンス. [Dementia Japan, **25** (3), (2011), 256-256]

荒井 啓行

303) 糖尿病を合併したアルツハイマー病患者における BF227-PET 画像の特徴についての検討. [Dementia Japan, **25** (3), (2011), 336-336]

冨田 尚希, 古川 勝敏, 岡村 信行, 田代 学, 古本 祥三, 岩田 蓮, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

304) アルツハイマー型認知症における血液トランスフェリン糖鎖の変化と糖鎖付加との関連の検討. [Dementia Japan, **25** (3), (2011), 346-346]

谷口 美也子, 藤森 巧, 岡崎 舞, 岡崎 亮太, 阪田 幸範, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 浦上 克哉

305) BF-227 によるレビー小体型認知症の PET イメージング. [Dementia Japan, **25** (3), (2011), 357-357]

古川 勝敏, 岡村 信行, 田代 学, 工藤 幸司, 荒井 啓行

306) アルコール性コルサコフ症候群における辺縁系-間脳回路の関与　ボクセルに基づいた形態計測分析による MRI 研究 (Involvement of limbic-diencephalic circuits in alcoholic Korsakoff's syndrome: an MRI study by voxel-based morphometric analysis). [Dementia Japan, **25** (3), (2011), 360-360]

松井 敏史, 遠山 朋海, 櫻井 秀樹, 冨田 尚希, 荒井 啓行, 松下 幸生, 樋口 進

307) 認知症の告知内容の選好についての横断的検討. [Dementia Japan, **25** (3), (2011), 396-396]

鈴木 瑞恵, 冨田 尚希, 山崎 都, 宇根 かおり, 上野 千佳, 浅村 孝昭, 小阪 陽一, 大類 孝, 古川 勝敏, 荒井 啓行

308) αシヌクレイノパチーの画像バイオマーカーとしての [11C] BF-227 PET の検討. [臨床薬理, **42** (Suppl.), (2011), S284-S284]

岡村 信行, 古川 勝敏, 田代 学, 原田 龍一, 古本 祥三, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 谷内 一彦

309) 脳老化と認知症　漢方医学の挑戦. [日本医学会総会会誌, **28 回** (I), (2011), 163-163]

荒井 啓行

310) 老年症候群の予防と管理 認知症、うつ、せん妄. [日本老年医学会雑誌, **48** (6), (2011), 651-654]

荒井 啓行

311) 【高齢者の高血圧】 高血圧と認知症. [Geriatric Medicine, **49** (12), (2011), 1439-1442]

冨田 尚希, 荒井 啓行

312) 【認知症学 下-その解明と治療の最新知見-】 臨床編　アルツハイマー病　アルツハイマー病研究の現状と展望: 概論. [日本臨床, **69** (増刊 10 認知症学 (下)), (2011), 229-235]

荒井 啓行

313) 【認知症学 下-その解明と治療の最新知見-】 臨床編　近年注目されている認知症　Dementia pugilistica. [日本臨床, **69** (増刊 10 認知症学 (下)), (2011), 466-469]

山根 冠児, 荒井 啓行

314) 【認知症学 下-その解明と治療の最新知見-】 臨床編　認知症の重症化に伴う医学的諸問題　認知症の重症化に伴う医学的諸問題:概論. [日本臨床, **69** (増刊 10 認知症学 (下)), (2011), 499-502]

荒井 啓行

315) 【認知症学 下-その解明と治療の最新知見-】 臨床編　認知症の重症化に伴う医学的諸問題　誤嚥性肺炎の診断と治療と予防. [日本臨床, **69** (増刊 10 認知症学 (下)), (2011), 522-526]

大類 孝, 古川 勝敏, 荒井 啓行

316) 災害時の高齢者対策　長寿科学総合研究事業『災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン作成』班成果発表講演会 大津波が残したもの　瓦礫の山と高齢者の疾患. [日本集団災害医学会誌, **16** (3), (2011), 379-379]

冲永 壯治, 大東 久佳, 小関 健由, 荒井 啓行

317) BF-227 を用いたレビー小体型認知症の PET イメージング. [臨床神経学, **51** (12), (2011), 1220-1220]

古川 勝敏, 岡村 信行, 田代 学, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

318) アルツハイマー型認知症血液診断マーカーとしての糖鎖異常の解析. [臨床神経学, **51** (12), (2011), 1397-1397]

谷口 美也子, 河月 稔, 岡崎 舞, 岡崎 亮太, 藤森 巧, 神保 太樹, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 浦上 克哉

319) 認知機能スクリーニング検査における構成障害の検出方法についての検討. [臨床神経学, **51** (12), (2011), 1420-1420]

冨田 尚希, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 古川 勝敏, 大槻 真理, 海老原 孝枝, 山崎 都, 吉田 元樹, 小坂 陽一, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 大類 孝, 荒井 啓行

320) プライマリケア · マスターコース　老年内科標榜をめざして　アルツハイマー型認知症の診断と治療　老年医学の視点から. [日本医事新報, (4579), (2012), 60-63]

荒井 啓行

321) 認知症クリニカル · カンファレンス　ガランタミンの長期有効例　約 3 年半にわたり認知機能が維持された 1 例 (コメント 2) 老年科医の立場から. [Cognition and Dementia, **11** (1), (2012), 70-71]

荒井 啓行, 冨田 尚希

322) 【Memantine のすべて】 合併症を有する認知症に対する治療戦略. [臨床精神薬理, **15** (1), (2012), 65-70]

冨田 尚希, 荒井 啓行

323) 3D-SSP 変法を用いた BF-227 アミロイド PET 解析. [核医学, **49** (1), (2012), 29-29]

金田 朋洋, 松村 美樹子, 青木 英和, 荒井 晃, 高浪 健太郎, 高橋 昭喜, 岡村 信行, 谷内 一彦, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 四月朔日 聖一, 田代 学, 岩田 練, 福田 寛, 工藤 幸司, 蓑島 聡

324) 【アルツハイマー病-先制医療に向けての展開】 アルツハイマー病　MCI と preclinical AD をめぐって. [カレントテラピー, **30** (4), (2012), 360-368]

岩坪 威, 荒井 啓行, 井原 康夫

325) 【認知症診断におけるマルチモーダルアプローチ】 認知症の髄液糖鎖マーカー. [Cognition and Dementia, **11** (2), (2012), 127-132]

橋本 康弘, 菊池 一郎, 宮嶋 雅一, 新井 一, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 松本 由香, 齋藤 清, 城谷 圭朗

326) 【認知症の薬　最新知識】 押さえておこう　治療薬の基礎知識 BPSD の治療薬. [おはよう 21, **23** (6), (2012), 22-23]

荒井 啓行

327) 【2012 年の認知症 · BPSD 治療戦略】 抑肝散のエビデンス　BPSD に対する効果. [漢方医学, **36** (2), (2012), 113-120]

荒井 啓行

328) 【高齢者特有の症状理解と急変対応のポイント】 高齢者に特有な症候 · 症状　認知症 · 行動障害. [月刊レジデント, **5** (5), (2012), 14-21]

荒井 啓行, 大類 孝, 古川 勝敏, 冲永 壯治, 冨田 尚希, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳

329) 認知 · 行動障害. [日本老年医学会雑誌, **49** (Suppl.), (2012), 42-42]

荒井 啓行

330) 高齢者に適したノンアドヒアランス分類調査票の検討. [日本老年医学会雑誌, **49** (Suppl.), (2012), 77-77]

冨田 尚希, 宇根 かおり, 海老原 覚, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 海老原 孝枝, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

331) 終末期医療に関する意志表明の選好についての横断的検討. [日本老年医学会雑誌, **49** (Suppl.), (2012), 78-78]

鈴木 瑞恵, 冨田 尚希, 上野 千佳, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 小坂 陽一, 海老原 孝枝, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

332) 高齢者医療の優先順位に関する意識調査 (続報). [日本老年医学会雑誌, **49** (Suppl.), (2012), 101-101]

小島 太郎, 秋下 雅弘, 荒井 秀典, 神崎 恒一, 葛谷 雅文, 江頭 正人, 荒井 啓行, 高橋 龍太郎, 江澤 和彦, 鳥羽 研二

333) 入院時の寝たきり高齢者に対する、間接熱量測定法を用いた必要栄養量の考察. [日本老年医学会雑誌, **49** (Suppl.), (2012), 109-110]

小坂 陽一, 宇根 かおり, 冨田 尚希, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 荒井 啓行

334) 東日本大震災後のアルツハイマー病の増悪. [日本老年医学会雑誌, **49** (Suppl.), (2012), 135-136]

古川 勝敏, 冲永 壯治, 荒井 啓行

335) 次世代ポストゲノムの時代、糖鎖研究はおもしろい. [日本皮膚科学会雑誌, **122** (9), (2012), 2331-2331]

橋本 康弘, 二川 了次, 奈良 清光, 城谷 圭朗, 伊藤 浩美, 田崎 和洋, 阿部 正文, 本多 たかし, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 宮嶋 雅一, 新井 一, 成松 久

336) 特発性正常圧水頭症患者における脳内アミロイド沈着の検出. [核医学, **49** (3), (2012), S231-S231]

平岡 宏太良, 菅野 重範, 菊池 大一, 田代 学, 岡村 信行, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 岩田 錬, 森 悦朗, 谷内 一彦

337) アミロイドイメージング用 PET 薬剤 [18F] FACT の体内分布および内部被曝線量評価. [核医学, **49** (3), (2012), S239-S239]

志田原 美保, 田代 学, 岡村 信行, 古本 祥三, 古川 勝敏, 四月朔日 聖一, 田村 元, 岩田 錬, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 谷内 一彦

338) [11C] BF-227 による全身性アミロイドーシス患者の心筋アミロイド沈着の画像化. [核医学, **49** (3), (2012), S271-S271]

田代 学, 池田 修一, 古川 勝敏, 岡村 信行, 冨田 尚希, 四月朔日 聖一, 古本 祥三, 岩田 錬, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

339) 【生活習慣病と認知症〜負の連鎖を断ち切るために〜】 高血圧　知見. [Medicinal, **2** (9), (2012), 27-35]

冨田 尚希, 荒井 啓行

340) 【高齢化社会と耳鼻咽喉科】 老化における疫学、病態生理　超高齢社会における人口動態と疾患構造の変化. [JOHNS, **28** (9), (2012), 1263-1267]

荒井 啓行

341) 抗うつ薬・抗精神病薬の過量投与により認知機能の低下・精神不穏・起立性低血圧・誤嚥を来した症例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 652-652]

上野 千佳, 山崎 都, 鈴木 瑞恵, 小坂 陽一, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 吉田 元樹, 大類 孝, 荒井 啓行

342) びまん性レヴィ小体病末期に、経管栄養導入を保留 (Withhold) した 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 652-652]

小坂 陽一, 山崎 都, 冨田 尚希, 荒井 啓行

343) 匂い刺激による高齢者の重心動揺安定化の検討. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 653-653]

海老原 覚, Freeman Shannon, 海老原 孝枝, Butler James, 上月 正博, 荒井 啓行

344) 一過性脳虚血発作とされていた高齢発症のパニック障害の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 653-653]

冨田 尚希, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 吉田 元樹, 山崎 都, 小坂 陽一, 海老原 孝枝, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

345) 典型的画像所見を欠く遷延性低血糖脳症の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 653-653]

鈴木 瑞恵, 宇根 かおり, 山崎 都, 冨田 尚希, 小坂 陽一, 吉田 元樹, 浅村 孝昭, 上野 千佳, 大類 孝, 荒井 啓行

346) 認知機能障害を呈した神経膠腫の 1 症例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 654-654]

吉田 元樹, 古川 勝敏, 松村 美樹子, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 上野 千佳, 山崎 都, 大類 孝, 荒井 啓行

347) 誤嚥し、声門直下に落下した義歯を、非観血的に摘出しえた症例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 654-654]

山崎 都, 小坂 陽一, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 吉田 元樹, 海老原 覚, 浅田 成紀, 冨田 尚希, 大類 孝, 荒井 啓行

348) 逆流性食道炎の治療で症状が消失した慢性咳嗽の 1 症例. [日本老年医学会雑誌, **49** (5), (2012), 654-654]

大類 孝, 吉田 元樹, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 宇根 かおり, 山崎 都, 海老原 孝枝, 山根 冠児, 古川 勝敏, 荒井 啓行

349) 神経内科学　脳脊髄液タウ蛋白測定の認知症診断への適応と保険収載. [医学のあゆみ, **243** (3), (2012), 247-248]

荒井 啓行, 古川 勝敏

350) J-ADNI　データの総決算 臨床コアからの報告. [Dementia Japan, **26** (4), (2012), 435-435]

荒井 啓行, 古川 勝敏, 富田 尚希

351) 血管内皮障害をモニターするための可溶型アミロイドβ前駆体タンパク質 770. [Dementia Japan, **26** (4), (2012), 486-486]

北爪 しのぶ, 義久 精臣, 八巻 尚洋, 及川 雅啓, 竹石 恭知, 萩原 良明, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 山本 正雅, 谷口 直之

352) 東日本大震災被災者における認知症症状の変化. [Dementia Japan, **26** (4), (2012), 503-503]

古川 勝敏, 大槻 真理, 新田 明美, 樹神 學, 荒井 啓行

353) アルツハイマー病における血漿蛋白結合型アクロレインと血漿 A β 40/42 比の診断的意義. [Dementia Japan, **26** (4), (2012), 508-508]

藁谷 正明, 吉田 円, 溝井 睦美, 斎木 遼太郎, 田代 淳, 荒井 啓行, 山本 剛司, 岩井 直路, 植村 研一, 五十嵐 一衛

354) 認知症予防の最前線　現在そして将来、どこまでできるか アルツハイマー病バイオマーカー開発と治療戦略. [日本未病システム学会雑誌, **18** (3), (2012), 89-93]

荒井 啓行

355) 口腔内の保湿により経口摂取量の改善を認めたアルツハイマー病の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 817-817]

上野 千佳, 鈴木 瑞恵, 浅村 孝昭, 宇根 かおり, 冨田 尚希, 山崎 都, 小坂 陽一, 海老原 孝枝, 大類 孝, 荒井 啓行

356) 高度浮腫と胸水・腹水・心嚢液貯留を来した高齢者のビタミン B1 欠乏症 (脚気) の 1 症例. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 817-817]

山崎 都, 矢満田 慎介, 吉田 元樹, 浅田 成紀, 浅村 孝昭, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 冨田 尚希, 海老原 覚, 荒井 啓行

357) 胆石術後 1 年で、真菌性の化膿性脊椎炎および感染性動脈瘤を合併した 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 817-817]

小坂 陽一, 山崎 都, 冨田 尚希, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 荒井 啓行

358) 重症肺炎を契機に発症した、高齢初発の特発性てんかんの 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 817-817]

鈴木 瑞恵, 宇根 かおり, 山崎 都, 冨田 尚希, 小坂 陽一, 上野 千佳, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

359) 誤嚥性肺炎発症後、経口摂取不可能となり死亡した震災関連死が疑われる 1 例. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 817-817]

小坂 陽一, 山崎 都, 冨田 尚希, 浅村 孝昭, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 荒井 啓行

360) 東日本大震災に特徴的な津波関連肺炎　宮城県気仙沼市の症例. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 818-818]

冲永 壯治, 大東 久佳, 椎原 淳, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

361) 震災後にボケて足腰が弱くなったとの主訴で来院した 84 歳女性. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 818-818]

冨田 尚希, 宇根 かおり, 上野 千佳, 鈴木 瑞恵, 山崎 都, 浅村 孝昭, 海老原 孝枝, 小坂 陽一, 古川 勝敏, 荒井 啓行

362) 東日本大震災の被災地における高齢者健康相談. [日本老年医学会雑誌, **49** (6), (2012), 818-818]

冲永 壯治, 山崎 都, 荒井 啓行, 飯島 勝矢, 秋下 雅弘, 三木 哲郎, 大内 尉義

363) [11C] BF-227 を用いた Amyloid PET における統計学的画像解析 3D-SSP 法と eZIS 法との比較. [核医学, **49** (4), (2012), 416-417]

荒井 晃, 金田 朋洋, 高浪 健太郎, 高橋 昭喜, 岡村 信行, 谷内 一彦, 田代 学, 岩田 錬, 神田 寛, 工藤 幸司, 荒井 啓行

364) 東日本大震災後の認知症の増悪. [臨床神経学, **52** (12), (2012), 1405-1405]

古川 勝敏, 大槻 真, 樹神 學, 荒井 啓行

365) アルツハイマー病における認知機能低下の経時変化が糖尿病合併により受ける影響についての検討. [臨床神経学, **52** (12), (2012), 1492-1492]

冨田 尚希, 鈴木 瑞恵, 上野 千佳, 海老原 孝枝, 宇根 かおり, 浅村 孝昭, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

366) 特発性正常圧水頭症患者における脳内アミロイド沈着の検出. [臨床神経学, **52** (12), (2012), 1579-1579]

平岡 宏太良, 菅野 重範, 菊池 大一, 田代 学, 岡村 信行, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 岩田 錬, 森 悦朗, 谷内 一彦

367) 【認知症治療の最前線-包括的ケアを踏まえた新しい治療戦略-】認知症発症前診断と先制医療を巡って. [Geriatric Medicine, **51** (1), (2013), 11-15]

荒井 啓行, 古川 勝敏, 筒井 美穂, 冨田 尚希

368) 認知 · 行動障害. [日本老年医学会雑誌, **50** (1), (2013), 30-32]

荒井 啓行

369) 3D-SSP 変法を用いた BF-227 アミロイド PET 解析. [Japanese Journal of Radiology, **31** (Suppl.I), (2013), 1-1]

金田 朋洋, 松村 美樹子, 青木 英和, 荒井 晃, 高浪 健太郎, 高橋 昭喜, 岡村 信行, 谷内 一彦, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 四月朔日 聖一, 田代 学, 岩田 練, 福田 寛, 工藤 幸司, 蓑島 聡

370) アルツハイマー病バイオマーカー開発の現状と臨床応用　脳で起きていることを「見える化」する研究. [HUMAN SCIENCE, **24** (2), (2013), 14-17]

荒井 啓行

371) 【認知症-鑑別診断を中心に-】 軽度認知障害の多様性と鑑別診断. [最新医学, **68** (4), (2013), 783-788]

荒井 啓行

372) 検査からみる神経疾患　髄液中トランスフェリンと特発性正常圧水頭症. [Clinical Neuroscience, **31** (5), (2013), 618-619]

橋本 康弘, 本多 たかし, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 宮嶋 雅一, 新井 一

373) 【血液症候群 (第 2 版)-その他の血液疾患を含めて-】 血漿タンパクの異常　アミロイドーシス　局所性アミロイドーシス　脳アミロイドーシス. [日本臨床, **別冊** (血液症候群第 2 版 III), (2013), 648-652]

工藤 幸司, 荒井 啓行

374) アミロイドイメージング用 PET 薬剤 [18F] FACT の内部被ばく線量評価. [核医学, **50** (2), (2013), 70-70]

志田原 美保, 田代 学, 岡村 信行, 古本 祥三, 古川 勝敏, 四月朔日 聖一, 平岡 宏太良, 三宅 正泰, 岩田 錬, 田村 元, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 谷内 一彦

375) フッ素標識アミロイドイメージング薬剤 [18F] FACT の動態解析. [核医学, **50** (2), (2013), 70-70]

田代 学, 岡村 信行, 古本 祥三, 四月朔日 聖一, 平岡 宏太良, 古川 勝敏, 志田原 美保, 三宅 正泰, 船木 善仁, 岩田 錬, 工藤 幸司, 荒井 啓行, 谷内 一彦

376) 高齢者フレイルティに迫る 生活機能障害としての認知症. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 15-15]

荒井 啓行

377) アルツハイマー型認知症における血液新規糖鎖マーカーの有効性の検討. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 63-63]

谷口 美也子, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 浦上 克哉

378) 東日本大震災の避難所期に於ける肺炎アウトブレイク　最終結果報告. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 73-73]

冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 冨田 尚希, 宇根 かおり, 海老原 孝枝, 小坂 陽一, 筒井 美穂, 荒井 啓行

379) 東日本大震災後、宮城県における認知症の調査. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 96-96]

古川 勝敏, 新田 明美, 冨田 尚希, 冲永 壯治, 荒井 啓行

380) 高齢者に対する間接熱量測定法を用いた必要栄養量の検討. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 98-98]

藤本 博子, 小坂 陽一, 冨田 尚希, 大類 孝, 荒井 啓行

381) 高齢者に対する、体成分分析器 In body S20 を用いた必要栄養量の検討. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 98-98]

小坂 陽一, 藤本 博子, 冨田 尚希, 大類 孝, 荒井 啓行

382) 高齢者の治療ノンアドヒアランスのタイプと対応する支援方法の現状についての検討. [日本老年医学会雑誌, **50** (Suppl.), (2013), 104-104]

冨田 尚希, 森川 雄一, 海老原 孝枝, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 筒井 美穂, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

383) 脳 · 心臓 タウイメージング用トレーサー [18F] THK-5117 の結合性評価. [JSMI Report, **6** (2), (2013), 71-71]

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲朗, 吉川 雄朗, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

384) タウイメージング用トレーサー [18] THK-5117 の結合性評価. [JSMI Report, **6** (2), (2013), 100-100]

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲朗, 吉川 雄朗, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

385) 【高齢者の救急医療-その病態特徴と基本管理-】 大災害時における高齢者救急医療. [日本臨床, **71** (6), (2013), 1097-1102]

冲永 壯治, 大東 久佳, 鈴木 基, 椎原 淳, 荒井 啓行

386) 【アルツハイマー病の最新知識】 (PART.4)　アルツハイマー病の症状、検査、診断　アルツハイマー病による軽度認知障害. [からだの科学, (278), (2013), 52-55]

荒井 啓行, 大類 孝, 古川 勝敏, 冨田 尚希

387) 東日本大震災後の肺炎アウトブレイクの解析. [日本老年医学会雑誌, **50** (5), (2013), 681-681]

冲永 壯治, 大東 久佳, 鈴木 基, 椎原 淳, 大類 孝, 荒井 啓行

388) 咳反射及び咳衝動における加齢の影響の検討.［日本老年医学会雑誌, **50**（5）,（2013）, 681-681］

海老原 覚, 海老原 孝枝, 荒井 啓行, 上月 正博

389) 特定機能病院における認知症患者の看護上の問題点に関する検討.［日本老年医学会雑誌, **50**（5）,（2013）, 681-681］

藤本 博子, 荒井 啓行, 大類 孝

390) せん妄同定のための主要徴候とスクリーニング方法についての考察.［日本老年医学会雑誌, **50**（5）,（2013）, 682-682］

冨田 尚希, 宇根 かおり, 大類 孝, 海老原 孝枝, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

391) リバスチグミン貼付剤 (リバスタッチパッチ) が奏効した摂食障害を呈したアルツハイマー病の 1 症例.［日本老年医学会雑誌, **50**（5）,（2013）, 682-682］

上野 千佳, 鈴木 瑞恵, 海老原 孝枝, 宇根 かおり, 冨田 尚希, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 大類 孝

392) 認知症高齢者における東日本大震災後の症状増悪に関する研究.［日本老年医学会雑誌, **50**（5）,（2013）, 682-682］

新田 明美, 大槻 真理, 古川 勝敏, 荒井 啓行

393) 糖尿病を合併したアルツハイマー病患者における BF-PET 画像の特徴についての検討.［日本老年医学会雑誌, **50**（5）,（2013）, 682-682］

冨田 尚希, 宇根 かおり, 大類 孝, 海老原 孝枝, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

394) リン酸化タウ蛋白キット「フィノスカラー · pTAU」の性能評価.［医療と検査機器 · 試薬, **36**（5）,（2013）, 713-717］

荒井 啓行, 吉田 博

395) 認知症治療の最前線 中核症状に対する薬物治療　症状改善薬と疾患修飾薬.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 443-443］

荒井 啓行

396) 新時代に向けたタウオパチー研究集中講座 タウイメージング用 PET プローブの現状.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 457-457］

工藤 幸司, 岡村 信行, 古本 祥三, 原田 龍一, 古川 勝敏, 樋口 真人, Villemagne Victor L., 谷内 一彦, 荒井 啓行

397) 未病の視点から見るアルツハイマー病.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 467-467］

荒井 啓行

398) J-ADNI 登録症例における初剖検例.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 490-490］

古川 勝敏, 高尾 昌樹, 岡村 信行, 冨田 尚希, 村山 繁雄, 荒井 啓行

399) [18F] THK-5105 PET を用いたアルツハイマー病タウ病理像の生体画像化.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 505-505］

岡村 信行, 古本 祥三, 原田 龍一, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司, レイチェル · マリガン, クリストファー · ロウ, ビクター · ビルマーニ

400) タウイメージング用トレーサー [18F] THK-5117 の前臨床評価.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 505-505］

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲郎, 吉川 雄朗, 荒井 啓行, 岩田 錬, 谷内 一彦, 工藤 幸司

401) 東日本大震災により仮設住宅に入居した高齢者における認知機能の評価.［Dementia Japan, **27**（4）,（2013）, 521-521］

石木 愛子, 沖永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

402) 東日本大震災後の認知症の調査.［臨床神経学, **53**（12）,（2013）, 1591-1591］

古川 勝敏, 大槻 真理, 樹神 學, 荒井 啓行

403) 【アルツハイマー病の画像診断】 アルツハイマー病の新診断基準と脳画像.［Pharma Medica, **32**（1）,（2014）, 9-12］

古川 勝敏, 鎌田 真希, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

404) 高齢者に対する適切な医療提供の指針. [日本老年医学会雑誌, **51** (1), (2014), 89-96]

秋下 雅弘, 荒井 秀典, 荒井 啓行, 江頭 正人, 遠藤 英俊, 木川田 典彌, 葛谷 雅文, 神崎 恒一, 高橋 龍太郎, 武川 正吾, 武久 洋三, 鳥羽 研二, 堀江 重郎, 森田 朗, 三上 裕司, 池端 幸彦, 石井 伸弥, 江澤 和彦, 小島 太郎, 美原 盤, 山口 潔, 厚生労働科学研究費補助金 (長寿科学総合研究事業)「高齢者に対する適切な医療提供に関する研究」研究班

405) 【東日本大震災と高齢者-3.11 のその後-】 被災地の仮設住宅などにおける疫学調査　気仙沼市における震災と健康、生活機能調査. [Geriatric Medicine, **52** (2), (2014), 165-170]

冲永 壯治, 古川 勝敏, 石木 愛子, 荒井 啓行

406) BF-227 を用いたアミロイド PET 早期像の有用性. [核医学, **51** (1), (2014), 23-24]

金田 朋洋, 荒井 晃, 高浪 健太郎, 高橋 昭喜, 岡村 信行, 古本 祥三, 谷内 一彦, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 四月朔日 聖一, 田代 学, 岩田 練, 福田 寛, 工藤 幸司

407) タウイメージング薬剤 [18F] THK-5117 を用いた PET 臨床試験 (速報). [核医学, **51** (1), (2014), 28-28]

田代 学, 岡村 信行, 古本 祥三, 四月朔日 聖一, 平岡 宏太良, 古川 勝敏, 志田原 美保, 石木 愛子, 冨田 尚希, 松田 林, 稲見 暁惠, 武田 和子, 三宅 正泰, 船木 善仁, 岩田 錬, 工藤 幸司, 荒井 啓行, 谷内 一彦

408) PET による全身性アミロイドーシス患者の心筋アミロイド沈着の可視化. [核医学, **51** (1), (2014), 30-30]

松田 林, 四月朔日 聖一, 平岡 宏太良, 三宅 正泰, 岩田 錬, 池田 修一, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 荒井 啓行, 岡村 信行, 古本 祥三, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 田代 学

409) 抗ヒスタミン薬服用時の自動車シミュレーション運転中の脳活動とパフォーマンスの相関関係. [核医学, **51** (1), (2014), 30-30]

相川 正考, 松田 林, 渋谷 勝彦, 堀川 悦夫, 岡村 信行, 荒井 啓行, 平岡 宏太良, 伊藤 正敏, 谷内 一彦, 田代 学

410) 【東日本大震災から学ぶ内科学】 災害に強い内科診療の提言　高齢者疾患への対応と対策. [日本内科学会雑誌, **103** (3), (2014), 598-604]

荒井 啓行

411) 高齢者フレイルティに迫る 生活機能障害としての認知症. [日本老年医学会雑誌, **51** (2), (2014), 126-127]

荒井 啓行

412) 百聞は一見にしかず　分子イメージング研究の新展開 タウ蛋白を標的とした分子イメージングプローブの開発. [日本薬学会年会要旨集, **134 年会** (1), (2014), 277-277]

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲郎, 古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 岩田 錬, 田代 学, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

413) 【生活習慣病と認知機能-認知症の予防を見据えた生活習慣病の治療を目指して-】 認知機能診断法　臨床診断. [日本臨床, **72** (4), (2014), 667-672]

古川 勝敏, 鎌田 真希, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

414) タウイメージング用 PET トレーサー [18F] THK-5117 の臨床評価. [JSMI Report, **7** (2), (2014), 66-66]

岡村 信行, 古本 祥三, 原田 龍一, 多胡 哲郎, 石木 愛子, 古川 勝敏, 田代 学, 岩田 錬, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

415) タウイメージングトレーサー 18F-THK5117 の結合メカニズムの検討. [JSMI Report, **7** (2), (2014), 108-108]

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲郎, 吉川 雄朗, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

416) 認知症診療の現況と将来展望. [日本老年医学会雑誌, **51** (Suppl.), (2014), 39-39]

荒井 啓行

417) タウイメージングトレーサー [18F] THK-5117 集積値と脳容積に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **51** (Suppl.), (2014), 77-77]

石木 愛子, 冨田 尚希, 古川 勝敏, 岡村 信行, 田代 学, 工藤 幸司, 荒井 啓行

418) 津波被災地の地理的特徴と仮設在住高齢者の健康 · 生活機能. [日本老年医学会雑誌, **51** (Suppl.), (2014), 84-84]

冲永 壯治, 石木 愛子, 古川 勝敏, 荒井 啓行

419) 高齢者における間接熱量測定法を用いた必要栄養量の検討.［日本老年医学会雑誌, **51**（Suppl.）,（2014）, 105-105］

藤本 博子, 小坂 陽一, 冨田 尚希, 大類 孝, 荒井 啓行

420) プロブレムレスト作成に対する意識調査.［日本老年医学会雑誌, **51**（Suppl.）,（2014）, 130-130］

冨田 尚希, 藤本 博子, 石木 愛子, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

421) Beers criteria で定義された高齢者における potentially inappropriate medication(PIM) に関連した疫学研究の特徴.［日本老年医学会雑誌, **51**（Suppl.）,（2014）, 136-137］

新田 明美, 古川 勝敏, 荒井 啓行

422) 高齢者の間接熱量測定法で得られる呼吸商 (RQ) 値についての検討.［日本老年医学会雑誌, **51**（Suppl.）,（2014）, 142-142］

小坂 陽一, 藤本 博子, 石木 愛子, 冨田 尚希, 海老原 孝枝, 大類 孝, 荒井 啓行

423) 慢性心不全における脳の構造・機能に関する臨床研究 (B-HeFT).［日本老年医学会雑誌, **51**（Suppl.）,（2014）, 147-148］

鈴木 秀明, 松本 泰治, 古川 勝敏, 瀧 靖之, 荒井 啓行, 下川 宏明

424) 「3Ds」に対する系統的アプローチ法についての考察.［日本老年医学会雑誌, **51**（3）,（2014）, 282-282］

冨田 尚希, 藤本 博子, 石木 愛子, 宇根 かおり, 海老原 孝枝, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

425) Targetted assessment では問題点の特定に至らなかった Frailty の 1 例.［日本老年医学会雑誌, **51**（3）,（2014）, 283-283］

冨田 尚希, 石木 愛子, 藤本 博子, 宇根 かおり, 海老原 孝枝, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

426) 抗精神病薬による横紋筋融解症の 1 症例.［日本老年医学会雑誌, **51**（3）,（2014）, 283-284］

冲永 壯治, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 石木 愛子, 海老原 孝枝, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 藤本 博子, 大類 孝, 荒井 啓行

427) J-ADNI におけるアルツハイマー病剖検例.［日本老年医学会雑誌, **51**（3）,（2014）, 284-284］

古川 勝敏, 高尾 昌樹, 岡村 信行, 冨田 尚希, 村山 繁雄, 荒井 啓行

428) 特発性正常圧水頭症における脳内アミロイド沈着とシャント術による治療反応性の関連.［核医学, **51**（3）,（2014）, 310-310］

平岡 宏太良, 成田 渉, 馬場 徹, 飯塚 統, 田代 学, 岡村 信行, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 岩田 錬, 森 悦朗, 谷内 一彦

429) 若手研究者による認知症研究の新しい問題提起　タウイメージング PET トレーサーで見る蛋白質のコンフォメーション.［Dementia Japan, **28**（4）,（2014）, 460-460］

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 古川 勝敏, 田代 学, 岩田 錬, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

430) タウイメージング用トレーサー [18F] THK-5351 の前臨床評価.［Dementia Japan, **28**（4）,（2014）, 496-496］

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲郎, 岩田 錬, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

431) アルツハイマー病患者における [18F] THK-5117PET 集積値と脳容積に関する検討.［Dementia Japan, **28**（4）,（2014）, 496-496］

石木 愛子, 冨田 尚希, 原田 龍一, 岡村 信行, 古川 勝敏, 工藤 幸司, 荒井 啓行

432) 「超高齢社会における漢方医学の役割」(第 3 回)　認知症の中核症状と BPSD に対する漢方薬の効果　最近の話題.［Geriatric Medicine, **52**（11）,（2014）, 1379-1382］

古川 勝敏, 冨田 尚希, 荒井 啓行, 山口 拓洋

433) 保険収載後の脳脊髄液中のタウ、アミロイド β の解析.［臨床神経学, **54**（11）,（2014）, 923-923］

古川 勝敏, 鎌田 真希, 石木 愛子, 冨田 尚希, 宇根 かおり, 荒井 啓行

434) 認知症根本治療の実現へ向けて 認知症診断・治療の現状と課題 Overview.［臨床神経学, **54**（12）,（2014）, 1171-1173］

古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

435) 新たなPETプローブを用いたアルツハイマー病のタウイメージング. [臨床神経学, **54** (Suppl.), (2014), S35-S35]

古川 勝敏, 岡村 信行, 石木 愛子, 冨田 尚希, 田代 学, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

436) 特発性正常圧水頭症における脳内アミロイド沈着とシャント術による治療反応性の関連. [臨床神経学, **54** (Suppl.), (2014), S84-S84]

平岡 宏太良, 成田 渉, 菊池 大一, 馬場 徹, 菅野 重範, 飯塚 統, 田代 学, 岡村 信行, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 岩田 錬, 森 悦朗, 谷内 一彦

437) 本年の動向 脳型トランスフェリンの基礎と臨床 疾患マーカーとしての糖鎖修飾. [Annual Review 神経, **2015**, (2015), 100-106]

星 京香, 橋本 康弘, 吉原 章王, 本多 たかし, 宮嶋 雅一, 新井 一, 荒井 啓行, 古川 勝敏

438) 【タウオパチー】タウ イメージングの現状. [Dementia Japan, **29** (2), (2015), 172-183]

工藤 幸司, 岡村 信行, 古本 祥三, 原田 龍一, 石木 愛子, 古川 勝敏, 谷内 一彦, 荒井 啓行

439) 老年医学の展望 タウイメージングの幕開け. [日本老年医学会雑誌, **52** (2), (2015), 115-125]

工藤 幸司, 岡村 信行, 古本 祥三, 原田 龍一, 石木 愛子, 古川 勝敏, 谷内 一彦, 荒井 啓行

440) タウイメージングトレーサー [18F] THK-5351 の生物学的評価. [JSMI Report, **8** (2), (2015), 86-86]

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 多胡 哲郎, 岩田 錬, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

441) アルツハイマー病患者を対象とした新規タウ PET トレーサー [18F] THK-5351 の臨床評価. [JSMI Report, **8** (2), (2015), 92-92]

岡村 信行, 原田 龍一, 古本 祥三, 古川 勝敏, 石木 愛子, 田代 学, 岩田 錬, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

442) アルツハイマー病のバイオマーカー開発と先制医療. [日本医学会総会会誌, **29 回** (学術講演要旨), (2015), 108-108]

荒井 啓行, 工藤 幸司, 岡村 信行

443) 高齢者総合的機能評価によるアドヒアランス評価の問題点についての検討. [日本老年医学会雑誌, **52** (Suppl.), (2015), 64-64]

冨田 尚希, 藤本 博子, 石木 愛子, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

444) 津波被災地仮設高齢者の健康・生活機能調査　3 年間の解析. [日本老年医学会雑誌, **52** (Suppl.), (2015), 69-69]

冲永 壯治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 古川 勝敏, 荒井 啓行

445) 東日本大震災被災地居住高齢者の認知機能および日常生活動作に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **52** (Suppl.), (2015), 69-70]

石木 愛子, 冨田 尚希, 古川 勝敏, 冲永 壯治, 荒井 啓行

446) 高齢入院患者における薬物有害事象の危険因子の包括的検討. [日本老年医学会雑誌, **52** (Suppl.), (2015), 80-80]

小島 太郎, 鈴木 裕介, 竹屋 泰, 松井 敏史, 冨田 尚希, 葛谷 雅文, 神崎 恒一, 樂木 宏実, 荒井 啓行, 秋下 雅弘

447) 高齢者の間接熱量測定法で得られる呼吸商 (RQ) 値についての検討　2015 年版. [日本老年医学会雑誌, **52** (Suppl.), (2015), 81-81]

小坂 陽一, 藤本 博子, 冨田 尚希, 大類 孝, 荒井 啓行

448) 高齢者に対する間接熱量測定法を用いた必要栄養量の検討　2015 年版. [日本老年医学会雑誌, **52** (Suppl.), (2015), 81-81]

藤本 博子, 小坂 陽一, 冨田 尚希, 大類 孝, 荒井 啓行

449) 【内科医が知っておくべき認知症・せん妄・うつの特徴と鑑別】認知症とうつ・せん妄の脳画像診断. [Mebio, **32** (6), (2015), 46-53]

古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

450) 【高齢者の緊急病態〜知っておくべき知識と対応〜】高齢者の肺炎、DIC. [月刊レジデント, **8** (6), (2015), 78-86]

冲永 壮治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

451) 認知症医療の現状と将来展望. [岩手県立病院医学会雑誌, **55** (1), (2015), 75-77]

荒井 啓行

452) 認知症診断におけるタウイメージング研究の最先端 東北大学におけるタウイメージング PET 画像 (Tau imaging with PET in Tohoku University). [Dementia Japan, **29** (3), (2015), 288-288]

古川 勝敏, 原田 龍二, 石木 愛子, 冨田 尚希, 古本 祥三, 岡村 信行, 田代 学, 谷内 一彦, 工藤 幸司, 荒井 啓行

453) 薬剤性認知障害 神経疾患領域で用いられる薬物に関連した薬剤性認知障害. [Dementia Japan, **29** (3), (2015), 304-304]

冨田 尚希, 古川 勝敏, 荒井 啓行

454) タウ PET プローブ [18F] THK-5351 の結合特異性の解析. [Dementia Japan, **29** (3), (2015), 339-339]

原田 龍一, 岡村 信行, 古本 祥三, 古川 勝敏, 石木 愛子, 岩田 錬, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

455) [18F] THK-5117 PET によるアルツハイマー病タウ病理像の経時的評価. [Dementia Japan, **29** (3), (2015), 386-386]

岡村 信行, 石木 愛子, 古川 勝敏, 原田 龍一, 冨田 尚希, 古本 祥三, 田代 学, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

456) 軽度認知障害、アルツハイマー病患者におけるタウ PET プローブ [18F] THK-5351 の臨床評価. [Dementia Japan, **29** (3), (2015), 386-386]

大宮 佳奈子, 岡村 信行, 原田 龍一, 古本 祥三, 古川 勝敏, 石木 愛子, 田代 学, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 工藤 幸司

457) 進行性核上性麻痺におけるタウ PET トレーサー [18F] THK-5351 画像. [Dementia Japan, **29** (3), (2015), 386-386]

石木 愛子, 原田 龍一, 冨田 尚希, 岡村 信行, 古川 勝敏, 工藤 幸司, 荒井 啓行

458) [18F] THK-5117 PET によるアルツハイマー病タウ病理像の縦断評価. [核医学, **52** (3), (2015), 260-260]

岡村 信行, 石木 愛子, 古川 勝敏, 原田 龍一, 平岡 宏太良, 田代 学, 荒井 啓行, 古本 祥三, 岩田 錬, 谷内 一彦, 工藤 幸司

459) わが国の高齢者医療をめぐる諸問題 認知症医療の現状と将来展望. [日本医師会雑誌, **144** (7), (2015), 1479-1480]

荒井 啓行

460) Cognitive Frailty と認知機能障害についての考察. [日本老年医学会雑誌, **52** (4), (2015), 441-441]

冨田 尚希, 藤本 博子, 石木 愛子, 小坂 陽一, 宇根 かおり, 冲永 壮治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

461) 高齢者の間接熱量測定法. [日本老年医学会雑誌, **52** (4), (2015), 441-441]

藤本 博子, 小坂 陽一, 大類 孝, 荒井 啓行

462) 認知症合併 2 型糖尿病患者への薬物療法の介護支援. [日本老年医学会雑誌, **52** (4), (2015), 441-441]

宇根 かおり, 石木 愛子, 冨田 尚希, 小坂 陽一, 冲永 壮治, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

463) 入院中に補聴器を異食した認知症患者の 1 例　ボタン電池誤飲の考察. [日本老年医学会雑誌, **52** (4), (2015), 441-442]

石木 愛子, 冨田 尚希, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 古川 勝敏, 冲永 壮治, 大類 孝, 荒井 啓行

464) 第一世代 TKI 耐性症例に afatinib が有効であった肺腺癌の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **52** (4), (2015), 442-443]

冲永 壮治, 石木 愛子, 宇根 かおり, 小坂 陽一, 冨田 尚希, 古川 勝敏, 大類 孝, 荒井 啓行

465) アルツハイマー病のタウ蛋白病理をモニタリングするための新規 PET プローブ [18F] THK-5351 の臨床評価. [臨床薬理, **46** (Suppl.), (2015), S139-S139]

岡村 信行, 古川 勝敏, 石木 愛子, 原田 龍一, 古本 祥三, 田代 学, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 谷内 一彦

466) 東日本大震災後の認知症患者の状況. [臨床神経学, **55** (Suppl.), (2015), S39-S39]

石木 愛子, 冨田 尚希, 宇根 かおり, 冲永 壮治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

467) 【認知症予防と治療の進歩】早期診断.［総合リハビリテーション, **44**（1）,（2016）, 21-28］

古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

468) 軽度認知障害、アルツハイマー病患者における [18F] THK-5351PET 画像の評価. ［核医学, **53**（1）,（2016）, 509-509］

岡村 信行, 平岡 宏太良, 田代 学, 古本 祥三, 岩田 錬, 谷内 一彦, 石木 愛子, 古川 勝敏, 原田 龍一, 工藤 幸司, 荒井 啓行

469) 【認知症と類縁疾患-最新の研究動向-】根治治療 (療法) 薬 (Disease-modifying therapy) の開発状況 アルツハイマー病新薬開発の動向.［日本臨床, **74**（3）,（2016）, 411-416］

荒井 啓行, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 石木 愛子, 岡村 信行, 工藤 幸司

470) 【認知症と類縁疾患-最新の研究動向-】広域災害時の認知症医療 東日本大震災の経験.［日本臨床, **74**（3）,（2016）, 519-522］

古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 冲永 壯治, 荒井 啓行

471) 【認知症〜病態と治療〜】認知症高齢者への薬物治療とその留意点.［医薬ジャーナル, **52**（3）,（2016）, 881-883］

荒井 啓行, 冲永 壯治, 冨田 尚希

472) アルツハイマー病患者 iPS 細胞を駆使した診断法開発と多施設前向き調査. ［大和証券ヘルス財団研究業績集,（39）,（2016）, 117-122］

城谷 圭朗, 大槻 純男, 橋本 康弘, 荒井 啓行, 古川 勝敏, 浦上 克哉, 谷口 美也子, 松尾 和哉

473) 【認知症】疫学 認知症の自然歴 発症前 Alzheimer 病の概念をめぐって. ［最新医学, **71**（3 月増刊）,（2016）, 494-501］

荒井 啓行, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 石木 愛子, 宮澤 イザベル

474) 【アルツハイマー病 UPDATE】臨床 MCI の概念と変遷.［医学のあゆみ, **257**（5）,（2016）, 429-435］

冨田 尚希, 荒井 啓行

475) 当院の老年医療 病院全体で取り組む高齢者総合的機能評価の仕組みづくり.［日本老年医学会雑誌, **53**（2）,（2016）, 171-172］

冨田 尚希, 石木 愛子, 冲永 壯治, 荒井 啓行

476) 認知症の分子イメージング開発の進歩.［日本老年医学会雑誌, **53**（Suppl.）,（2016）, 12-12］

工藤 幸司, 岡村 信行, 原田 龍一, 古本 祥三, 石木 愛子, 古川 勝敏, 荒井 啓行

477) 老年医学実習が医学生の高齢者に対する姿勢に与える影響.［日本老年医学会雑誌, **53**（Suppl.）,（2016）, 114-114］

石木 愛子, 宮澤 イザベル, 冨田 尚希, 古川 勝敏, 冲永 壯治, 荒井 啓行

478) 高齢者総合的機能評価におけるアドヒアランス評価方法の特徴についての検討.［日本老年医学会雑誌, **53**（Suppl.）,（2016）, 118-119］

冨田 尚希, 石木 愛子, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

479) 高齢入院患者における薬物有害作用の危険因子の包括的検討 (第 2 報).［日本老年医学会雑誌, **53**（Suppl.）,（2016）, 120-120］

小島 太郎, 松井 敏史, 神崎 恒一, 冨田 尚希, 荒井 啓行, 竹屋 泰, 樂木 宏実, 鈴木 裕介, 葛谷 雅文, 秋下 雅弘

480) 【超高齢社会における適正薬物療法の特質〜ガイドラインの今日的役割と薬剤師の責務〜】認知症・周辺症状 (BPSD) の薬物療法.［医薬ジャーナル, **52**（6）,（2016）, 1443-1445］

荒井 啓行, 冨田 尚希

481) アルツハイマー病の診断バイオマーカーとしてのタウ PET イメージング　18F-THK5351 の開発と臨床応用.［日本神経精神薬理学会年会プログラム・抄録集, **46 回**,（2016）, 230-230］

谷内 一彦, 原田 龍一, 田代 学, 古本 祥三, 工藤 幸司, 荒井 啓行, 岡村 信行

482) 【超高齢化時代の呼吸器診療】認知症患者の呼吸器病診療.［THE LUNG-perspectives, **24**（3）,（2016）, 265-268］

冲永 壯治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

483) 老化促進マウスの認知機能低下に対する黄連解毒湯の改善効果. [和漢医薬学会学術大会要旨集, **33 回**, (2016), 93-93]

吉田 淳, 藤原 博典, 星野 遥, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 松本 欣三

484) 【認知症診断におけるタウイメージング研究の最先端】認知症診断における分子イメージング 東北大学における Tau-PET を中心に. [Dementia Japan, **30** (3), (2016), 310-316]

古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 岡村 信行, 工藤 幸司, 荒井 啓行

485) 神経疾患の克服に向けた神経免疫からの新たな挑戦 アルツハイマー病の克服　早期診断と疾患修飾薬開発. [神経免疫学, **21** (1), (2016), 81-81]

荒井 啓行

486) 【病態バイオマーカーの"いま"】精神・神経疾患 アルツハイマー病 アルツハイマー病と脳脊髄液アミロイドβタンパク質. [生体の科学, **67** (5), (2016), 490-491]

荒井 啓行

487) 診断・治療に苦慮した亜急性髄膜脳炎の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **53** (4), (2016), 442-442]

冨田 尚希, 石木 愛子, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 荒井 啓行

488) S.equisimilis による敗血症となった担癌高齢者の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **53** (4), (2016), 442-443]

冲永 壯治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 宮澤 イザベル, 古川 勝敏, 荒井 啓行

489) 東日本大震災被災地在住高齢者の認知・身体機能の現状と介護予防. [日本老年医学会雑誌, **53** (4), (2016), 443-443]

石木 愛子, 冨田 尚希, 古川 勝敏, 冲永 壯治, 荒井 啓行

490) フランスにおける死を迎える場所・終末期の疫学調査. [日本老年医学会雑誌, **53** (4), (2016), 443-444]

宮澤 イザベル, 古川 勝敏, 冲永 壯治, 冨田 尚希, 石木 愛子, 荒井 啓行

491) 後期高齢者の重症大動脈弁狭窄症に対する新しい経カテーテル大動脈弁留置術　フレイルの認識と呼吸・運動機能管理の重要性. [日本老年医学会雑誌, **53** (4), (2016), 444-444]

竹内 雅史, 松本 泰治, 森 芳信, 川本 俊輔, 熊谷 紀一郎, 古川 勝敏, 荒井 啓行, 上月 正博, 齋木 佳克, 下川 宏明

492) 18F-THK5351 PET による大脳皮質基底核症候群患者のタウ凝集体の画像化. [パーキンソン病・運動障害疾患コングレスプログラム・抄録集, **10 回**, (2016), 83-83]

菊池 昭夫, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 江面 道典, 馬場 徹, 小林 潤平, 吉田 隼, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

493) [18F] THK-5351 を用いた Posterior Cortical Atrophy 症例におけるタウ分布像. [Dementia Japan, **30** (4), (2016), 570-570]

石木 愛子, 原田 龍一, 冨田 尚希, 冲永 壯治, 古川 勝敏, 岡村 信行, 工藤 幸司, 荒井 啓行

494) 【薬剤誘発性認知症】抗アレルギー薬・呼吸器病薬によって誘発される認知症・認知障害. [医薬ジャーナル, **52** (11), (2016), 2511-2513]

冲永 壯治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 荒井 啓行

495) 高齢者における薬物療法のガイドライン 神経疾患:認知症・パーキンソン病. [医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, **47** (11), (2016), 792-796]

冨田 尚希, 荒井 啓行

496) 【高齢者の呼吸器疾患:現在のトピックと未来への展望】災害時における高齢者呼吸器疾患の病態と対策. [Geriatric Medicine, **54** (11), (2016), 1123-1128]

冲永 壯治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

497) 認知症における糖鎖バイオマーカー. [老年期認知症研究会誌, **21** (2), (2016), 17-19]

星 京香, 伊藤 浩美, 橋本 康弘, 吉原 章王, 宇川 義一, 宮嶋 雅一, 新井 一, 古川 勝敏, 荒井 啓行

498) 認知症克服のシナリオを考える. [老年期認知症研究会誌, **20** (6), (2017), 39-40]

荒井 啓行

499) 経カテーテル大動脈弁留置術に対する継続的なフレイルガイドのリハビリテーションは、術後回復レベルを予測し、在宅期の QOL とフレイルを改善する. [日本循環器学会学術集会抄録集, **81 回**, (2017), CP-236]

竹内 雅史, 松本 泰治, 川本 俊輔, 高橋 潤, 青木 竜男, 杉村 宏一郎, 宮田 敏, 上月 正博, 荒井 啓行, 齋木 佳克, 下川 宏明

500) 【認知症対応力のエッセンス】認知症に関する知っておきたい基礎知識! 発症メカニズムからみた認知症の理解. [薬局, **68** (5), (2017), 2208-2212]

沼崎 宗夫, 石木 愛子, 冨田 尚希, 冲永 壯治, 荒井 啓行

501) 【老年医学 update-被災地の高齢者医療】災害時における高齢者の救済 東日本大震災の時系列と今後の課題. [日本老年医学会雑誌, **54** (2), (2017), 136-142]

冲永 壯治, 古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

502) 【薬剤性認知障害】神経疾患治療薬による薬剤性認知障害エビデンスのレビュー. [Dementia Japan, **31** (2), (2017), 194-201]

冨田 尚希, 荒井 啓行

503) 海外の老年医学　経験者が伝える診療 · 研究 · 教育 フランスにおける老年学及び老年医学の教育. [日本老年医学会雑誌, **54** (Suppl.), (2017), 121-121]

宮澤 イザベル, 古川 勝敏, 荒井 啓行

504) 東日本大震災被災地居住高齢者の健康状態および社会参画状況に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **54** (Suppl.), (2017), 173-173]

石木 愛子, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

505) プロブレムリストの記載方法に関する調査. [日本老年医学会雑誌, **54** (Suppl.), (2017), 181-181]

冨田 尚希, 石木 愛子, 冲永 壯治, 沼崎 宗夫, 荒井 啓行

506) 経カテーテル大動脈弁留置術患者に対するフレイル評価は、周術期せん妄と遠隔期のフレイル回復を予測する. [日本老年医学会雑誌, **54** (Suppl.), (2017), 189-189]

竹内 雅史, 松本 泰治, 冨田 尚希, 宮田 敏, 川本 俊輔, 上月 正博, 齋木 佳克, 荒井 啓行, 下川 宏明

507) 認知症を標的とした分子イメージングプローブ開発の現状. [老年精神医学雑誌, **28** (増刊 II), (2017), 84-85]

岡村 信行, 原田 龍一, 石木 愛子, 荒井 啓行

508) [18F] TKH-5351 のアルツハイマー病患者における画像病理相関解析. [核医学, **54** (Suppl.), (2017), S187-S187]

原田 龍一, 石木 愛子, 甲斐 英朗, 佐藤 直美, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 笹野 公伸, 北本 哲之, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 岡村 信行

509) 18F-THK5351 PET によるタウオパチーでの鑑別診断の検討. [核医学, **54** (Suppl.), (2017), S210-S210]

江面 道典, 菊池 昭夫, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

510) 腹腔鏡で診断しえた結核性腹膜炎の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **54** (4), (2017), 602-602]

冲永 壯治, 石木 愛子, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 荒井 啓行

511) 摂食量低下、微熱にて来院した多剤併用状態の 78 歳女性. [日本老年医学会雑誌, **54** (4), (2017), 602-603]

冨田 尚希, 石木 愛子, 冲永 壯治, 沼崎 宗夫, 荒井 啓行

512) 18F-THK5351 PET によるタウオパチーでの鑑別診断の検討. [パーキンソン病 · 運動障害疾患コングレスプログラム · 抄録集, **11 回**, (2017), 89-89]

江面 道典, 菊池 昭夫, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

513) 軽度認知障害とプレクリニカル AD の概念. [Dementia Japan, **31** (4), (2017), 486-486]

荒井 啓行

514) 小脳失調と認知機能障害が主症状であった進行性核上性麻痺 (PSP-C) の 1 例. [Dementia Japan, **31** (4), (2017), 593-593]

北村 佑樹, 戸恒 智子, 武藤 達士, 冨田 尚希, 石木 愛子, 國時 景子, 舘脇 康子, 中川 学, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 瀧 靖之, 荒井 啓行

515) 大脳皮質基底核症候群における 18F-THK5351 PET の経時的変化. [Dementia Japan, **31** (4), (2017), 594-594]

菊池 昭夫, 江面 道典, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

516) [18F] THK-5351 の off-target binding の解析　画像病理相関症例を含めて. [Dementia Japan, **31** (4), (2017), 607-607]

原田 龍一, 石木 愛子, 甲斐 英朗, 佐藤 直美, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 古本 祥三, 笹野 公伸, 工藤 幸司, 北本 哲之, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 岡村 信行

517) アルツハイマー病患者における [18F] THK-5351 集積の経時的変化. [Dementia Japan, **31** (4), (2017), 608-608]

石木 愛子, 原田 龍一, 冨田 尚希, 岡村 信行, 古川 勝敏, 工藤 幸司, 荒井 啓行

518) 難聴が診断の妨げとなった Logopenic 型失語を呈するアルツハイマー型認知症の一例. [Dementia Japan, **31** (4), (2017), 609-609]

國時 景子, 舘脇 康子, 戸恒 智子, 石木 愛子, 富田 尚希, 中川 学, 沼崎 宗夫, 沖永 壯治, 武藤 達士, 瀧 靖之, 荒井 啓行

519) 認知症の概念と疾患修飾薬開発. [神経治療学, **34** (6), (2017), S162-S162]

荒井 啓行

520) 【実施診療のための最新認知症学-検査 · 治療 · 予防 · 支援-】評価法と検査法 日常生活機能を診る検査法. [日本臨床, **76** (増刊 1 実施診療のための最新認知症学 検査 · 治療 · 予防 · 支援), (2018), 32-35]

石木 愛子, 植田 寿里, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

521) 【実施診療のための最新認知症学-検査 · 治療 · 予防 · 支援-】新たな視点 · 問題点 広域災害時の高齢者医療の課題 . [日本臨床, **76** (増刊 1 実施診療のための最新認知症学 検査 · 治療 · 予防 · 支援), (2018), 281-286]

冲永 壯治, 古川 勝敏, 石木 愛子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

522) 【実施診療のための最新認知症学-検査 · 治療 · 予防 · 支援-】アルツハイマー博士と最近の国際学会トピックス Dr.Alzheimer. [日本臨床, **76** (増刊 1 実施診療のための最新認知症学 検査 · 治療 · 予防 · 支援), (2018), 447-448]

荒井 啓行

523) 【高齢者医療ハンドブック-高齢者医療におけるダイバーシティへの対応】(第 II 章) 高齢者と老年症候群 もの忘れ. [内科, **121** (4), (2018), 625-628]

石木 愛子, 植田 寿里, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

524) 【A β非存在の認知機能障害とは?】 タウイメージングの現状と将来展望. [Dementia Japan, **32** (2), (2018), 196-203]

岡村 信行, 原田 龍一, 石木 愛子, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

525) 【A β非存在の認知機能障害とは?】タウイメージングの現状と将来展望. [Dementia Japan, **32** (2), (2018), 196-203]

岡村 信行, 原田 龍一, 石木 愛子, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

526) 東日本大震災被災地居住高齢者におけるフレイルの有症率とその経時的変化. [日本老年医学会雑誌, **55** (Suppl.), (2018), 118-118]

植田 寿里, 石木 愛子, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

527) 老年医学関連診療科を有さない医学部における老年医学臨床実習の実態調査. [日本老年医学会雑誌, **55** (Suppl.), (2018), 139-139]

石木 愛子, 植田 寿里, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

528) 手段的 ADL の評価を中心とした高齢者総合機能評価スクリーニング用自記式調査票の妥当性の検討. [日本老年医学会雑誌, **55** (Suppl.), (2018), 151-151]

冨田 尚希, 植田 寿里, 石木 愛子, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

529) 一般内科医における骨粗鬆症の診断能向上のために SQ 法と DXA 法の比較検討. [日本老年医学会雑誌, **55** (Suppl.), (2018), 160-160]

國時 景子, 舘脇 康子, 中川 学, 高野 由美, 戸恒 智子, 武藤 達士, 荒井 啓行, 瀧 靖之

530) 認知症の概念と疾患修飾薬開発. [神経治療学, **35** (3), (2018), 219-221]

荒井 啓行

531) 18F-THK5351PET を使用したタウオパチーにおける鑑別診断能の検討. [パーキンソン病・運動障害疾患コングレスプログラム・抄録集, **12 回**, (2018), 75-75]

江面 道典, 菊池 昭夫, 岡村 信行, 吉田 隼, 小林 潤平, 菅野 直人, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

532) 【老年医学 (下)-基礎・臨床研究の最新動向-】高齢者の精神疾患 認知症 アルツハイマー病の早期診断と新規治療薬開発の動向. [日本臨床, **76** (増刊 7 老年医学 (下)), (2018), 45-48]

荒井 啓行

533) 老化促進マウスの認知機能低下に対する黄連解毒湯及び三黄瀉心湯の改善効果. [和漢医薬学会学術大会要旨集, **35 回**, (2018), 150-150]

藤原 博典, 吉田 淳, 小濱 寛之, 大島 知佳子, 荒井 啓行, 工藤 幸司, 松本 欣三

534) 認知症の理解と克服に向けて. [Dementia Japan, **32** (3), (2018), 337-337]

荒井 啓行

535) 認知症診断におけるアミロイド PADRE および PiB の整合性の初期検討. [Dementia Japan, **32** (3), (2018), 470-470]

戸恒 智子, 舘脇 康子, 石木 愛子, 米田 哲也, 明石 敏昭, 永坂 竜男, 高野 由美, 荒井 啓行, 瀧 靖之

536) 慢性硬膜下血腫に対する漢方薬の有効性 再発と予後に関する検証. [Dementia Japan, **32** (3), (2018), 499-499]

山本 修三, 武藤 達士, 鶴谷 尚信, 渡部 憲明, 米谷 元祐, 荒井 啓行, 瀧 靖之, 安井 信之

537) 高齢者の総合評価に適した生活状況評価尺度の開発 インターネット調査による予備検討. [Dementia Japan, **32** (3), (2018), 512-512]

冨田 尚希, 植田 寿里, 石木 愛子, 大橋 由基, 尾崎 章子, 中尾 光之, 荒井 啓行

538) アルツハイマー型認知症に関わる脳領域の灰白質体積と骨密度の相関. [日本骨粗鬆症学会雑誌, **4** (Suppl.1), (2018), 391-391]

諸田 直哉, 舘脇 康子, 松平 泉, 高野 由美, 國時 景子, 戸恒 智子, 山本 修三, 武藤 達士, 荒井 啓行, 瀧 靖之

539) MCI の進行における性差と教育程度の関与. [Dementia Japan, **32** (3), (2018), 445-445]

岩田 淳, 岩坪 威, 井原 涼子, 鈴木 一詩, 松山 裕, 冨田 尚希, 荒井 啓行, 石井 賢二, 千田 道雄, 伊藤 健吾, 池内 健, 桑野 良三, 松田 博史

540) 【認知症トータルケア】神経画像検査、血液検査、髄液検査 髄液検査. [日本医師会雑誌, **147** (特別 2), (2018), S209-S210]

荒井 啓行

541) タウイメージング 18F-THK5351 PET の画像病理相関解析. [日本老年医学会雑誌, **55** (4), (2018), 700-701]

原田 龍一, 石木 愛子, 甲斐 英朗, 佐藤 直美, 古川 勝敏, 冨田 尚希, 谷内 一彦, 岡村 信行, 工藤 幸司, 荒井 啓行

542) 大脳皮質基底核症候群における 18F-THK5351 PET の経時的変化. [臨床神経学, **58** (Suppl.), (2018), S212-S212]

菊池 昭夫, 江面 道典, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 菅野 直人, 吉田 隼, 小林 潤平, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

543) 18F-THK5351 PET によるタウオパチーにおける鑑別診断の検討. [臨床神経学, **58** (Suppl.), (2018), S261-S261]

江面 道典, 菊池 昭夫, 岡村 信行, 吉田 隼, 小林 潤平, 菅野 直人, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

544) 認知症克服へのイノベーション. [日本老年医学会雑誌, **56** (Suppl.), (2019), 38-38]

荒井 啓行

545) 高齢者の重症大動脈弁狭窄症患者に対する経カテーテル大動脈弁置換術は脳血流量と認知機能を改善する. [日本老年医学会雑誌, **56** (Suppl.), (2019), 144-144]

土屋 聡, 松本 泰治, 鈴木 秀明, 竹内 雅史, 菊地 翼, 高橋 潤, 冨田 尚希, 瀧 靖之, 荒井 啓行, 下川 宏明

546) 高齢者の急性脳梗塞に対する積極的治癒の適応と予後に関する検討. [日本老年医学会雑誌, **56** (Suppl.), (2019), 153-153]

山本 修三, 武藤 達士, 鶴谷 尚信, 渡部 憲明, 米谷 元裕, 高野 由美, 冲永 壯治, 安井 信之, 荒井 啓行, 瀧 靖之

547) 高齢入院患者におけるベンゾジアゼピン系薬剤投与と骨折発生との関連. [日本老年医学会雑誌, **56** (Suppl.), (2019), 161-161]

新田 明美, 今井 志乃ぶ, 森脇 睦子, 冨田 尚希, 荒井 啓行

548) 高齢者の慢性硬膜下血腫に対する外科治療と予後 新定義案に基づいた年齢別検討. [日本老年医学会雑誌, **56** (Suppl.), (2019), 167-168]

山本 修三, 武藤 達士, 渡部 憲昭, 鶴谷 尚信, 高野 由美, 舘脇 康子, 米谷 元裕, 安井 信之, 荒井 啓行, 瀧 靖之

549) アルツハイマー型認知症に関わる脳領域の灰白質体積と骨密度の相関 Bone-brain crosstalk の画像医学的検証. [日本老年医学会雑誌, **56** (Suppl.), (2019), 170-170]

高野 由美, 舘脇 康子, 武藤 達士, 山本 修三, 諸田 直哉, 松平 泉, 小田桐 逸人, 冲永 壯治, 荒井 啓行, 瀧 靖之

550) 18F-THK5351 PET による進行性核上性麻痺とパーキンソン病の鑑別の検討. [パーキンソン病・運動障害疾患コングレスプログラム・抄録集, **13 回**, (2019), 129-129]

菊池 昭夫, 江面 道典, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 菅野 直人, 吉田 隼, 小林 潤平, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

551) 高齢女性の骨量減少と認知機能に関連した脳血流低下領域との関係 医用画像による骨-脳連関の視覚化. [日本骨粗鬆症学会雑誌, **5** (Suppl.1), (2019), 317-317]

高野 由美, 武藤 達士, 舘脇 康子, 山本 修三, 荒井 啓行, 瀧 靖之

552) 経カテーテル的大動脈弁置換術後に認知機能が改善した超高齢重症大動脈弁狭窄症の 1 例. [日本老年医学会雑誌, **56** (4), (2019), 547-548]

土屋 聡, 松本 泰治, 鈴木 秀明, 菊地 翼, 高橋 潤, 熊谷 紀一郎, 冨田 尚希, 瀧 靖之, 荒井 啓行, 下川 宏明

553) 軽度認知障害とプレクリニカル AD の概念. [Dementia Japan, **33** (4), (2019), 464-464]

荒井 啓行

554) アストログリオーシスを生体画像化する新規 PET プローブ [18F] SMBT-1 の開発. [Dementia Japan, **33** (4), (2019), 531-531]

岡村 信行, 原田 龍一, 江面 道典, 古本 祥三, 谷内 一彦, 荒井 啓行, 工藤 幸司

555) 高齢女性の骨量減少とアルツハイマー型認知症の脳血流低下領域との関係. [Dementia Japan, **33** (4), (2019), 553-553]

関 俊樹, 武藤 達士, 高野 由美, 山本 修三, 舘脇 康子, 荒井 啓行, 瀧 靖之

556) 18F-THK5351 PET による進行性核上性麻痺とパーキンソン病の鑑別の検討. [臨床神経学, **59** (Suppl.), (2019), S228-S228]

菊池 昭夫, 江面 道典, 岡村 信行, 長谷川 隆文, 石木 愛子, 原田 龍一, 菅野 直人, 吉田 隼, 小林 潤平, 荒井 啓行, 谷内 一彦, 古本 祥三, 田代 学, 工藤 幸司, 武田 篤, 青木 正志

557) アルツハイマー病の発症前診断、予防および先制医療構想. [日本栄養・食糧学会大会講演要旨集, **74 回**, (2020), 131-131]

荒井 啓行

558) 老年医学関連診療科を有さない医学部における老年医学臨床実習の実態調査. [日本老年医学会雑誌, **57** (Suppl.), (2020), 134-135]

石木 愛子, 冨田 尚希, 沼崎 宗夫, 冲永 壯治, 荒井 啓行

559) 【超高齢社会への対応】超高齢社会に対応するための老年医学教育 諸外国の現状と我が国との比較. [BIO Clinica, **35** (10), (2020), 927-931]

古川 勝敏, 宮澤 イザベル, 金子 英司, 石木 愛子, 荒井 啓行, 石川 崇広, 大西 丈二, 葛谷 雅文